fit3150/fit3250

プリンター装置

オンラインマニュアル

□プリンター編

製品を安全に使用していただくために

● 本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。弊社は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン(株)の登録商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

● VCCI 適合基準について

この装置は、クラスＢ機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って、正しい取り扱いをしてください。　　ＶＣＣＩ－Ｂ

● 本製品およびオプション品のハイセイフティ用途について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムに於ける運行制御、生命維持のための医療機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

● 事業系の使用済製品の引取りについてのお願い

この製品の所有者が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。

● 漏えい電流自主規制について

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950-1）の漏えい電流基準に適合しております。

● 電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

● コンピュータウィルスに関連する被害の免責について

コンピュータウィルスに感染することによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 長時間、または大量に印字するときの換気について

換気の悪い部屋で長時間使用するとき、または大量の印字を行うときは、適切な換気を行ってください。

● 騒音について

この製品は、印字中に騒音が発生しますので、事務所とは別室に設置することを推奨します。

© 2004-2022 富士通アイソテック株式会社

はじめに

このたびは、fit3150/fit3250 プリンターをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みいただき、プリンターが十分に機能を発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

2022 年 06 月

● 本文中の略語について

表：製品名称の表記

製品名称	本書での表記	
Windows® 11 Enterprise	Windows	11
Windows® 11 Education		
Windows® 11 Pro		
Windows® 11 Home		
Windows® 10 Enterprise（64 ビット版/32 ビット版）		10
Windows® 10 Education（64 ビット版/32 ビット版）		
Windows® 10 Pro（64 ビット版/32 ビット版）		
Windows® 10 Home（64 ビット版/32 ビット版）		
Windows® 8.1 Enterprise（64 ビット版/32 ビット版）		8.1
Windows® 8.1 Pro（64 ビット版/32 ビット版）		
Windows® 8.1（64 ビット版/32 ビット版）		
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter		2022
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2022 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter		2019
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter		2016
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter		2012 R2
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter		2012
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials		
Adobe® Reader	Adobe Reader	

メモ

● 警告表示マークについて

本書ではいろいろな絵表示をしています。これは製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

⚠警告	⚠注意
この記号は、取扱いを誤った場合、死亡または重症を負う事が有り得ること（潜在的な危険状態）を示しています。	この記号は、取扱いを誤った場合、軽傷を負うことがあり得ること（潜在的な危険状態）を示しています。また、正しく使用しない場合、当該製品自体または、その他の財産に、損害が生じる可能性があることのみを示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が示されています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを抜く）が示されています。
高温注意	高温による傷害の危険性について記述していることを示します。
発火注意	発火する危険性について記述していることを示します。
接触禁止	触れることによって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
分解禁止	機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。

絵記号の例とその意味	
	一般的な禁止事項を記述していることを示します。
	一般的な注意事項を記述していることを示します。

安全上のご注意

■ プリンター設置および移動時のご注意

⚠ 警告

同梱の電源コードセットは本製品以外の電気機器には使用しないでください。
添付の電源コード以外は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

プリンターの上にまたは近くに花びん・植木鉢・コップなどの水の入った容器、金属物を置かないでください。
感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所におかないでください。
感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流 100V、10A 未満のコンセントには差しこまないでください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。

接地付き電源コードと接地接続のあるコンセントを使用してください。
電源を接続する前に必ず以下のいずれかにアース接続してください。
・電源コンセントのアース線
・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
・接地工事（D 種（第 3 種））を行っている接地端子
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。
アース接続は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に行って下さい。
また、アース接続を外す場合は、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の原因となります。

オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、プリンター本体およびパソコン本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
感電・火災または故障の原因となります。

⚠ 注意

プリンターの開口部（通風孔など）をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンターの上に重いものを置かないでください。
また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
高温によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、プリンター内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

このプリンターは突入電流がありますので、無停電電源装置(UPS)に接続しないでください。故障の原因となることがあります。

矩形波が出力される機器に接続しないでください。
故障の原因となることがあります。

プリンターを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブル類を外してください。作業を行うときは、足元に十分注意して行ってください。
電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンターが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンターケーブルの抜き差しは、必ずパソコンとプリンターの電源を切ってから行ってください。
電源を切らずに行うと、パソコンやプリンターが故障する原因となることがあります。

■ プリンター使用時のご注意

⚠ 警告

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。
故障の修理は当社 プリンター相談窓口(プリンター編 『第５章 保守点検』「アフターサービス」参照)にご依頼ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。

プリンターに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください
感電・火災の原因となります。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。

プリンターの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。
プラグが変形し、火災の原因となります。

プリンター本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。
内部の点検、修理は当社 プリンター相談窓口(プリンター編 『第５章 保守点検』「アフターサービス」参照)にご依頼ください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンターをお客様自身で改造しないでください。
感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

⚠ 警告

万一、プリンターから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンター本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認して当社 プリンター相談窓口（プリンター編 『第５章 保守点検』「アフターサービス」参照）にご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

異物（水・金属片・液体など）がプリンターの内部に入った場合は、ただちにプリンター本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、当社 プリンター相談窓口（プリンター編 『第５章 保守点検』「アフターサービス」参照）にご連絡ください。
そのまま使用すると感電・火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

プリンターを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンター本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、当社 プリンター相談窓口（プリンター編 『第５章 保守点検』「アフターサービス」参照）にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンターの清掃および保守、故障の処理を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源スイッチを切らずにプリンターの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。

移動中に落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となることがあります。

プリンターが動作しているとき、給紙口や排紙口に髪やネクタイなどが巻き込まれないように注意してください。
けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線して、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンターは布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電源コードを束ねて使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

長期間プリンターを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となることがあります。

近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
入れたままにしておくと、プリンターを破壊し、お客様の財産に損害を及ぼす原因となることがあります。

使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。
やけど・けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

プリンターが動作しているとき、給紙口や排紙口に手を触れないでください。
けがの原因となることがあります。

プリンターケーブルコネクターや印字ヘッドの金属部には触らないでください。
けがやプリンターの故障の原因となることがあります。

印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れないでください。
やけど・けがの原因となることがあります。

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクターから外れることがありますので注意してください。

用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットを適正状態で取り扱ってください。

リボンカセットは、純正品の使用をお奨めします。
純正品は製品とともに開発し、安全性が得られるように設計しています。

プリンターの内部やローラー部に繊維クズがたまっている場合は、定期的に清掃してください。

リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。
リボンがロックして回転できなくなります。

リボンがたるんだまま印字を開始すると、リボンが絡まったり、リボンの巻取りがロックすることがあります。

使用済のリボンカセットは、不燃物として地方自治体の条例または規則に従って処理してください。

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。
リボン交換時は温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドをリボン交換位置に移動してください。

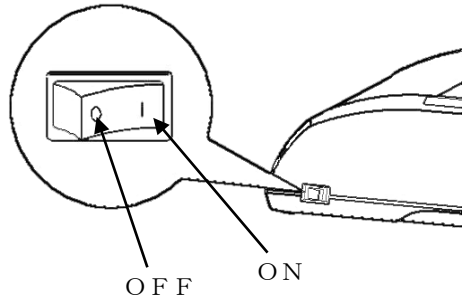
プリンターを廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理ください。

■ 装置上のマークの説明

本製品には、注意ラベル，警告ラベルが貼ってあります。
内容をご覧になり、安全にお使いください。
注意ラベル，警告ラベルは、絶対に剥がしたり、汚したりしないでください。

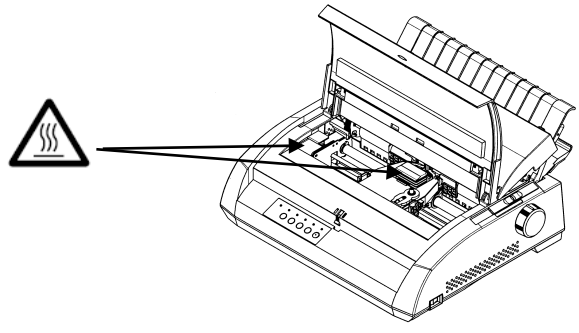
・電源スイッチ

プリンターの電源をＯＮ(印字可能状態)／ＯＦＦ(印字不可能状態)にします。



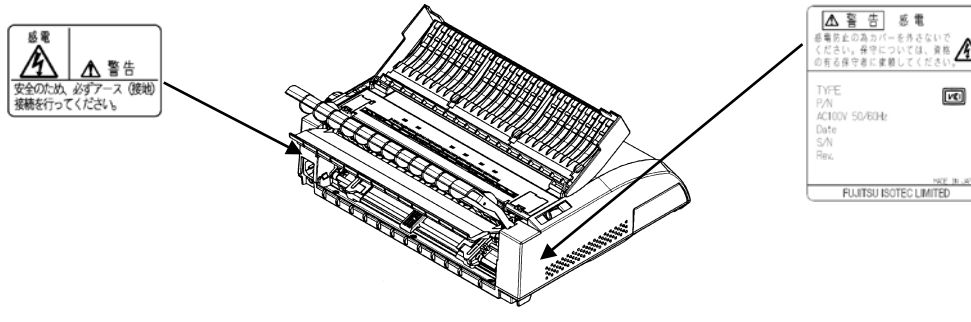
・印字ヘッド／駆動モーター

使用中や印字した直後は、印字ヘッドやプリンター内部が高温になります。
温度が下がるまで印字ヘッドやプリンター内部に触れないでください。
けがや、やけどの原因となることがあります。



・警告表示

安全のため、カバーを外さないでください。
また、必ずアース(接地)接続を行ってください。けがややけど、感電の原因となることがあります。



マニュアルの構成

本プリンターのマニュアルの構成を以下に示します。

目次		内容
プリンター編		
第1章	お使いになる前に	お使いになる前に知っておいていただきたいこと、設置のしかた、リボンカセットの取付けかた、電源の投入／切断について説明しています。
第2章	プリンターの機能とその使いかた	操作パネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンターのもつ機能と、その使いかたについて説明しています。
第3章	用紙のセット	連続帳票用紙、単票用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、印字開始位置の調整のしかたを説明しています。
第4章	用紙について	このプリンターで使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明しています。
第5章	保守と点検	リボンカセットの交換や、用紙づまりなどトラブルの対処のしかた、テスト印字のしかた、およびアフターサービスなどについて説明しています。
第6章	オプション	このプリンターのオプションの取り付け／取り外しをはじめ、基本的な使いかたについて説明しています。
付録	プリンターの概略仕様	プリンターの仕様、コマンド一覧表および文字コード一覧表など、プリンターを使用する上で補助的に必要になることがらについて説明しています。
ソフトウェア編		
第1章	ソフトウェアの概要	プリンターに添付されているソフトウェアの基本的なことがらやインストール方法について説明しています。
第2章	プリンタードライバーの設定	プリンタードライバーのインストールと設定方法について説明しています。
第3章	fit ステータスモニター	fit ステータスモニターについて説明しています。
第4章	fit リモートパネル	fit リモートパネルについて説明しています。
付録	fit ステータスモニター状態表示一覧	fit ステータスモニター状態表示一覧表を記載しています。

オンラインマニュアルの使いかた

オンラインマニュアルは、Adobe Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

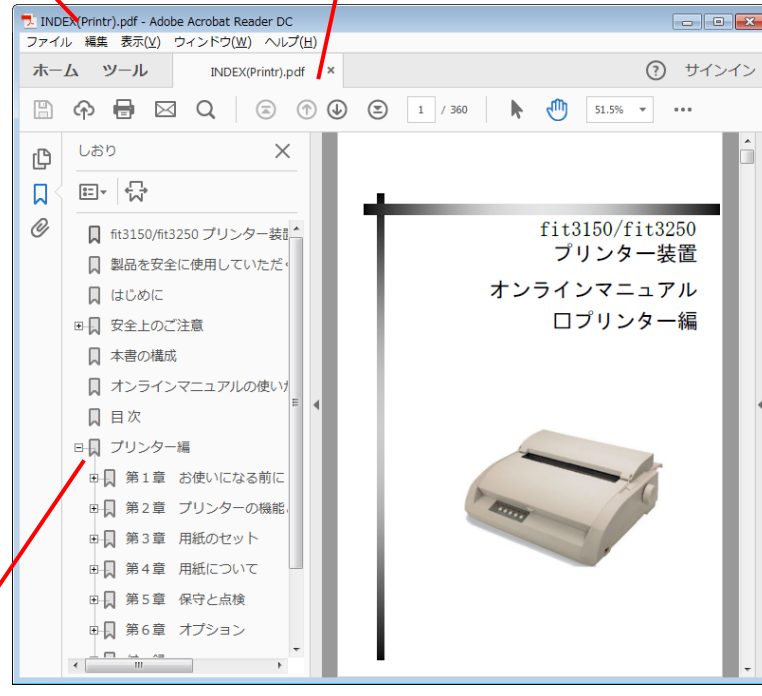
1 添付の CD-ROM をパソコンの CD または DVD ドライブにセットする

2 エクスプローラーで CD-ROM の「MANUAL」フォルダーにある PDF ファイルをダブルクリックする

プリンター編をお読みになるときは「INDEX(PRINTER).PDF」、ソフトウェア編をお読みになるときは「INDEX(SOFTWARE).PDF」をダブルクリックします。Adobe Reader が起動し、オンラインマニュアルが表示されます。

メニューバー
プルダウンメニューから印字やヘルプの表示などを行うことができます。

ツールバー
↓をクリックすると、次のページを表示します。また、拡大や検索などの操作を行うことができます。



しおり
見出しをクリックすると、そのページを表示します。
[+] が表示されている場合、これをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

目　次

製品を安全に使用していただくために
はじめに ･･ i
安全上のご注意･･･ v
　プリンター設置および移動時のご注意･････････････････････････････ v
　プリンター使用時のご注意 ･･････････････････････････････････････ vii
　装置上のマークの説明 ･･ xi
マニュアルの構成･･ xii
オンラインマニュアルの使いかた ･･････････････････････････････････ xiii

プリンター編 ･･･ 1

第１章　お使いになる前に･･･ 3

主な特長 ･･･ 4
製品の内容 ･･･ 5
使用上のお願い･･･ 6
　設置場所について･･･ 6
　電源について･･･ 6
　使用方法について･･･ 7
　パソコンのBIOS設定について（対象：FMVシリーズおよび各社DOS/V互換機）･ 7
各部の名称とはたらき･･ 8
　各部の名称･･･ 8
　各部のはたらき･･･ 9
プリンターを設置する･･ 10
　設置手順 ･･･ 10
　輸送用固定材の取り外し ･･･ 11
　カバーの取扱いについて ･･･ 12
　パソコンとの接続･･･ 13
　電源コードの接続･･･ 16
リボンカセットを取り付ける ･･･････････････････････････････････････ 17
電源の投入と切断･･ 20
　電源を入れる･･･ 20
　電源を切る･･･ 21

第２章　プリンターの機能とその使いかた･･････････････････････････ 23

操作パネルの機能･･ 24
　ランプ ･･･ 24
　スイッチ ･･･ 25
機能設定を変える･･ 28
　機能設定の変えかた･･ 28
　機能設定の種類･･ 31
行間ズレを直す･･･ 38
用紙の吸入量を調整する･･･ 40
　カット位置の補正方法 ･･･ 41
自動検出機能･･ 42
エラー表示機能･･･ 43

第３章　用紙のセット ･･････ **47**

用紙をセットする ･･････ 48
連続帳票用紙をセットする ･･････ 48
単票用紙をセットする ･･････ 55
用紙のセット（カットシートフィーダー搭載時） ･･････ 58
自動給紙印字の用紙のセット ･･････ 58
手挿入印字の用紙のセット ･･････ 62
カットシートフィーダー搭載状態で連続帳票をご使用の場合 ･･････ 64
用紙厚を調整する ･･････ 67
印字開始位置について ･･････ 69
印字開始位置（行方向）を微調整する ･･････ 69

第４章　用紙について ･･････ **71**

連続帳票用紙 ･･････ 72
単票用紙 ･･････ 79
カットシートフィーダー（オプション）で使用できる用紙 ･･････ 82
とじ穴の開けかた ･･････ 85
はがきを使用するとき ･･････ 85
プレプリント用紙を使用するとき ･･････ 86
取扱い上のご注意 ･･････ 88

第５章　保守と点検 ･･････ **91**

リボンカセットを交換する ･･････ 93
リボンカセットの種類 ･･････ 93
交換のしかた ･･････ 93
サブカセットの交換のしかた ･･････ 94
用紙づまりのとき ･･････ 96
連続帳票用紙がつまったとき ･･････ 96
単票用紙がつまったとき ･･････ 98
カットシートフィーダーご使用での紙づまりの取り除き方 ･･････ 99
用紙がカットシートフィーダー内に見えている場合 ･･････ 99
内部で紙づまりを起こした場合 ･･････ 99
プリンターがうまく動かないとき ･･････ 100
電源投入時の不具合 ･･････ 100
単票用紙吸入時の不具合 ･･････ 101
連帳用紙吸入時の不具合 ･･････ 102
印字中の問題点 ･･････ 103
印字結果の問題点 ･･････ 104
印字位置の問題点 ･･････ 105
印字位置がページによってズレる ･･････ 105
カットシートフィーダー使用時の不具合 ･･････ 106
エラー表示と対処方法 ･･････ 108
テスト印字をする ･･････ 109
清掃のしかた ･･････ 111
プリンターを輸送するとき ･･････ 112
プリンタードライバーの入手方法 ･･････ 113
消耗品の廃却について ･･････ 113
アフターサービス ･･････ 114

第６章　オプション ····· 115

オプションの概要 ····· 116
カットシートフィーダー使用上のご注意 ····· 117
カットシートフィーダーの搭載方法 ····· 118
カットシートフィーダー仕様 ····· 120
LANカードのご使用方法 ····· 121
LANカード搭載方法 ····· 122
LANカードの取り外し ····· 124

付 録 ····· 127

プリンターの概略仕様 ····· 128
外観図 ····· 131
標準外観図 ····· 131
カットシートフィーダー（オプション）取付け時の外観図 ····· 132
テスト印字サンプル ····· 133
ESC/Pモード ····· 133
FMモード ····· 134
インターフェイス仕様 ····· 135
パラレルインターフェイス ····· 135
USBインターフェイス ····· 142
ESC/Pモードの制限事項 ····· 143
初期状態 ····· 144
ESC/Pエミュレーションモード ····· 144
FMエミュレーションモード ····· 147
コマンド一覧表 ····· 149
ESC/Pモードコマンド一覧表 ····· 150
FMモードコマンド一覧表 ····· 155
バーコード指定コマンド ····· 163
バーコードスペース幅微調整コマンド ····· 170
文字コード一覧表 ····· 171
ESC/Pモード文字コード一覧表 ····· 171
FMモード文字コード一覧表 ····· 173
非漢字一覧表 ····· 174
JIS-90第一水準漢字一覧表 ····· 179
JIS-90第二水準漢字一覧表 ····· 182
ご注意 ····· 185

索 引 ····· 187

プリンター編

第 1 章

お使いになる前に

この章では、プリンターの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置のしかた、リボンカセットの取付け、電源の投入／切断について説明します。

主な特長 …… 4
製品の内容 …… 5
使用上のお願い …… 6
　設置場所について …… 6
　電源について …… 6
　使用方法について …… 7
　パソコンのBIOS設定について
　（対象：FMVシリーズおよび各社DOS/V互換機） ・ 7
各部の名称とはたらき …… 8
　各部の名称 …… 8
　各部のはたらき …… 9
プリンターを設置する …… 10
　設置手順 …… 10
　輸送用固定材の取り外し …… 11
　カバーの取扱いについて …… 12
　パソコンとの接続 …… 13
　電源コードの接続 …… 16
リボンカセットを取り付ける …… 17
電源の投入と切断 …… 20
　電源を入れる …… 20
　電源を切る …… 21

主な特長

◆ 優れた印字品質

・ ピン径 0.2mm の 24 ピン印字ヘッドは、日本語の表現に適した見やすく優れた印字品質を実現します。

◆ 印字処理時間の短縮

・ 同一行内に漢字、ANK が混在したときは、自動的に速度を切り替えて高速度で印字します。
・ 自動的に正逆方向の最短距離を判別して印字します。
・ 印字中に新しいデータを受信するダブルバッファー方式を採用し、印字処理時間の短縮をはかっています。
・ ドットの間引き印字(高速印字モード)により、さらに高速度で印字できます。

◆ 専用 Windows プリンタードライバー添付

・ Windows 8.1 以降の Windows オペレーティングシステムに対応した専用プリンタードライバー（ESC/P モード用）を添付しています。
・ 用紙サイズ選択の他に用紙給紙口の切り替え、印字品質の切り替えがプリンタードライバーで設定可能です。

◆ ユーティリティーソフトの添付

・ Windows 8.1 以降の Windows オペレーティングシステムに対応した専用ユーティリティーソフトを添付しています。
・ 専用ユーティリティーソフトによりプリンターの状態監視、セットアップの設定変更が可能です。

◆ 多彩な印字機能

・ JIS 第一水準および第二水準漢字を印字できます。
・ 漢字、ANK の標準文字のほかに拡大文字、縮小文字なども印字できます。
・ グラフィック印字が可能です。

◆ 優れた操作性

・ 用紙の自動吸入機能（オートローディング）で単票用紙を簡単にセットできます。
・ 連続帳票用紙をスイッチ操作で後退させられるので、連続帳票用紙をセットしたまま、単票用紙に印字できます。

◆ 省資源対応

・ 待機時 fit3150:10W 以下/fit3250:28W 以下の省エネルギー設計です。

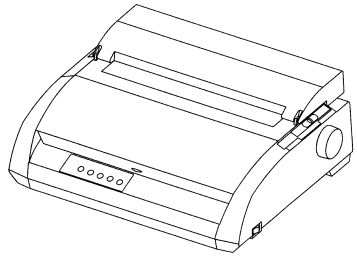
◆ 複写紙対応のカットシートフィーダー（fit3250 オプション）

・ fit3250 オプションのカットシートフィーダーはプリンターの後に搭載可能で、最大 3P までの複写紙が使用できます。

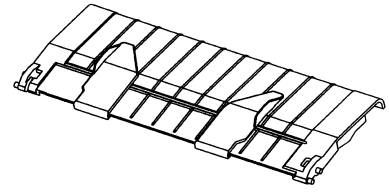
製品の内容

お使いになる前に、以下の物が揃っていることを確認してください。

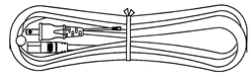
なお、プリンターが入っていた箱は、プリンターの保管・輸送の際に必要になりますので捨てないでください。



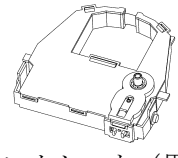
プリンター本体



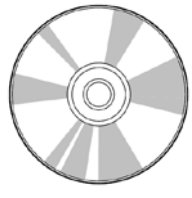
リアカバー



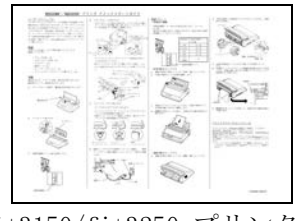
電源コード（1 本）



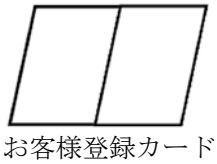
リボンカセット（黒、1 個）



fit3150/fit3250 プリンター
セットアップディスク



fit3150/fit3250 プリンター
クイックスタートガイド



お客様登録カード

お願い

・添付の『**お客様登録カード**』に必要事項をご記入の上、必ずご返送ください。ご返送くださったお客様に**「保証書」を送付**いたします。詳しくは、プリンター編『第５章 保守と点検』「アフターサービス」(114 ページ)をご参照ください。
・本プリンターにプリンターケーブルは含まれていません。プリンターケーブルは、別途用意してください。
・保証書は大切に保管してください。

使用上のお願い

このプリンターを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いします。不明な点については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■　設置場所について

⚠注意

- 長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。
  温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。
  - ・周囲温度：5℃～35℃
  - ・周囲湿度：30％～80％（結露しないこと）
- 水平で安定した平面に設置してください。
- 通風口をふさがないでください。
  振動のある場所には設置しないでください。
- 落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。
- ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所は避けてください。
- 磁石はもちろん、テレビやスピーカーなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。

⚠注意

プリンターを設置するときには、用紙や、リボンカセットの交換などが容易にできるようなスペースを確保して下さい。
本プリンターの外形寸法については、付録の外観図を参考にして下さい。

■　電源について

・次の電圧、周波数の範囲の電源を利用してください。
- ・電源電圧：AC100V±10％
- ・電源周波数：50～60Hz +2%, -4%

⚠警告

万一、発煙、異臭、異常音などがある場合には、電源を切ってください。
感電や火災のおそれがあります。

■ 使用方法について

⚠注意

- プリンターの上に物を置かないでください。
- 長時間プリンターを使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 万が一、近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。　入れたままにしておきますと、機器を破壊し、お客様の財産に損害をおよぼす可能性があります。
- 用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。
  印字ヘッドやプラテンが傷みます。

⚠注意

印字ヘッドは高温になります。温度が下がるまで触らないでください。
火傷、けがのおそれがあります。

⚠注意

- プリンターケーブルコネクター、印字ヘッドの金属部には触らないでください。
- 印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、電源を切ったりしないでください。

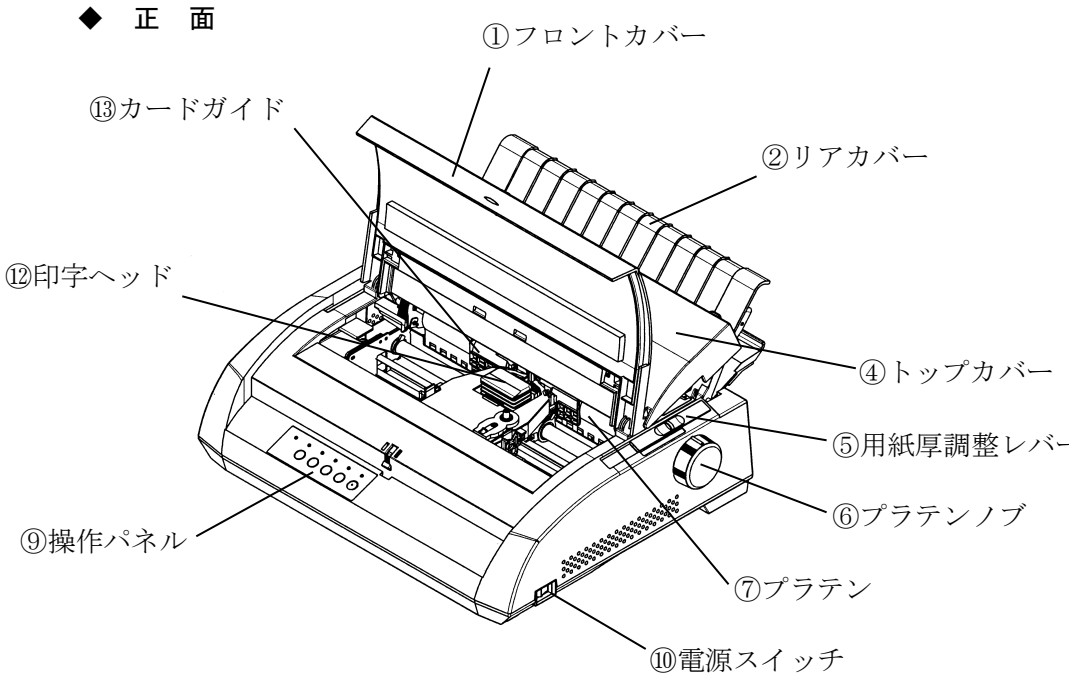
■ パソコンの BIOS 設定について（対象：FMV シリーズおよび各社 DOS/V 互換機）

本プリンターを接続するパソコンのパラレルインターフェイスのポート設定は、必ず「Bidirectional（双方向）」にしてご使用ください。確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを参照してください。

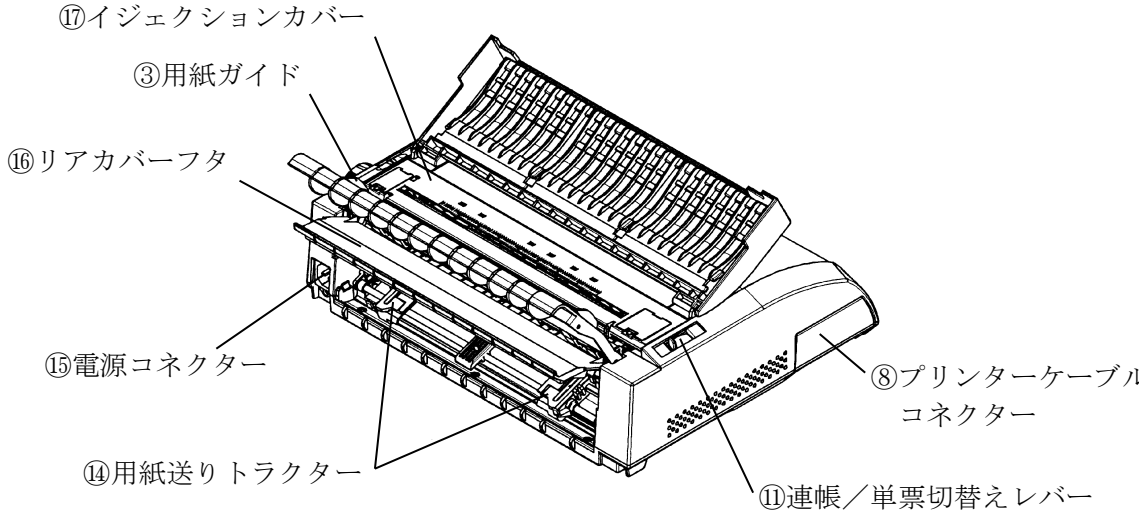
各部の名称とはたらき

■　各部の名称

◆　正　面



◆　背　面



■　各部のはたらき

各部の名称	は た ら き
①フロントカバー	印字ヘッドをホコリやチリから守ります。 印字動作中にフロントカバーを開けると、印字動作が一時停止します。（詳細については、『第 2 章　自動検出機能』（42 ページ）のカバーオープン検出を参照。）
②リアカバー	単票用紙の送りを支えます。
③用紙ガイド	印字する用紙の幅に合わせてセットします。
⑤用紙厚調整レバー	使用する用紙の厚さおよび枚数に応じて印字ヘッドとプラテンの間隔を変えます。
⑥プラテンノブ	プラテンをまわすノブです。
⑦プラテン	用紙を支えたり、送ったりします。
⑨操作パネル	プリンターの状態を示すランプ、プリンターを操作するための各種スイッチがあります。（詳細については、『第 2 章　プリンターの機能とその使いかた』の「操作パネルの機能（24 ページ）」を参照。）
⑩電源スイッチ	「｜」側を押すと電源が入り、「○」側を押すと電源が切れます。
⑪連帳／単票切替えレバー	連続帳票用紙か単票用紙かを選択します。
⑫印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
⑬カードガイド	用紙を送るときの案内板です。また、カードガイド上のリブは、行方向の印字位置を合わせるための目安です。
⑭用紙送りトラクター	連続帳票用紙をプリンター内部へ送ります。
⑯リアカバーフタ	印字音および動作音を抑えます。 連続帳票用紙を使うときは、下に閉じて使います。
⑰イジェクションカバー	用紙の送りを支え、用紙の排出をガイドします。刻印されている目盛りは、印字できる範囲を表しています。

お願い

・印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
・印字中は、フロントカバーを開けないでください。

プリンターを設置する

■ 設置手順

プリンターは下記の手順を確認しながら設置してください。

1 製品が全てそろっていることを確認する

梱包されている製品は「製品の内容」（5ページ）を参照してください。

2 カバー部品を固定しているテーピングを外す

3 フロントカバーを開けて輸送用固定材を外す

輸送用固定材の取り外しについては「輸送用固定材の取り外し」（11ページ）を参照してください。

4 リアカバーを取り付ける

リアカバーの取り付けについては「リアカバーの取り付け・取り外し」（12ページ）を参照してください。

5 電源コードを接続する

電源コードの接続については「電源コードの接続」（16ページ）を参照してください。

6 リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けについては「リボンカセットを取り付ける」（17ページ）を参照してください。

7 必要に応じて機能設定を変更する

機能設定の変更方法については「第２章 プリンターの機能とその使いかた」（23 ページ）を参照してください。

8 パソコンと接続する

プリンターケーブル（別売り）を準備します。パソコンとの接続については「パソコンとの接続」（13ページ）を参照してください。

9 プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーのインストールについては『ソフトウェア編』を参照してください。

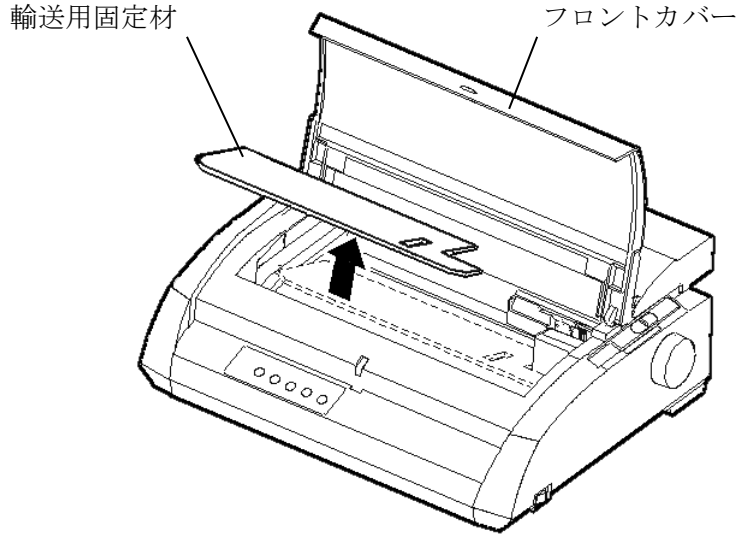
■　輸送用固定材の取り外し

輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンターを使用する前に、必ず取り外してください。

お願い

取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンターを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

フロントカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を上に抜き取ります。

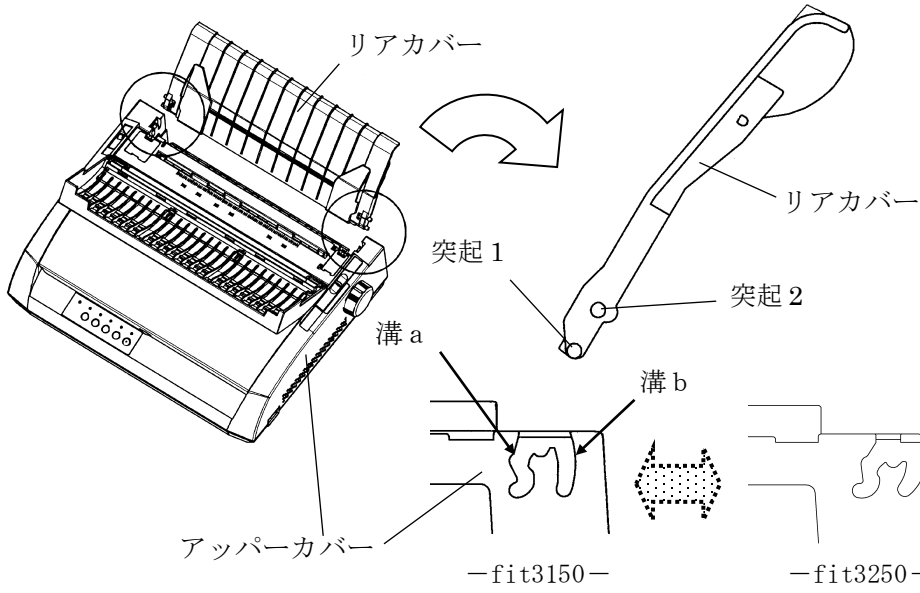


■　カバーの取扱いについて

◆　リアカバーの取り付け・取り外し

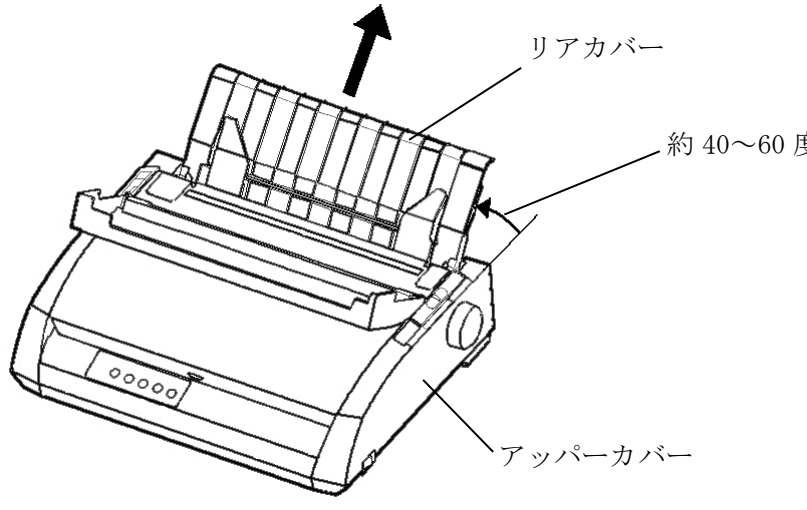
【取り付け方】

1）リアカバーを約 60 度に傾けた状態で、リアカバーの突起１をアッパーカバーの溝 a に入れます。
2）リアカバーの突起 2 がアッパーカバーの溝 b に完全に落ちるまで、軽く押し込みます。



【取外し方】

1）リアカバーを手前側におこします。
2）矢印の方向に外します。



■ パソコンとの接続

このプリンターはパラレルインターフェイスおよび USB インターフェイスを備えています。プリンターケーブルは接続するパソコンによって異なります。別途用意してください。

⚠警告	感電	プリンターケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。 感電の原因となります。

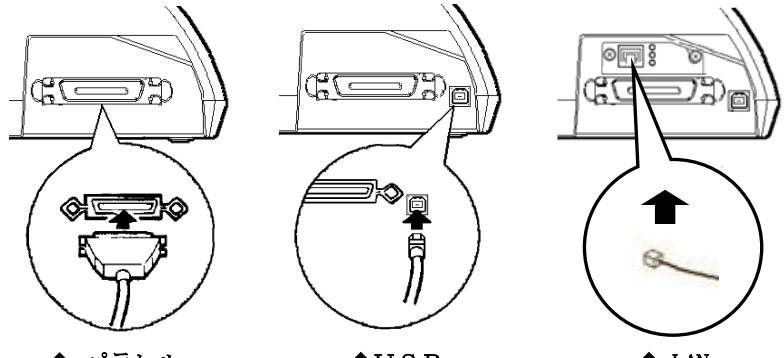
⚠注意	感電	プリンターケーブルの接続は間違いがないようにしてください。 誤った接続状態で使用すると、プリンター本体、およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。

パソコンとの接続は、次の手順で行います。

1　プリンターとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2　プリンター左側のシャッターを開いて、プリンターケーブルの一方をプリンター側面のプリンターケーブルコネクターに差し込ます。



◆ パラレル　インターフェイス　　◆ＵＳＢ　インターフェイス　　◆ LAN　インターフェイス

3　ケーブルのもう一方をパソコンに接続する

接続の方法は、お使いになるパソコンのマニュアルをご覧ください。

注意

- USB インターフェイスで接続した場合、パラレルインターフェイスとの同時接続はできません。
- USB インターフェイスは全ての USB 対応機器との接続を保証するものではありません。
- パソコンとプリンターの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- 印字中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- 本プリンターと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクター、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプターにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクターに接続してください。上記以外の USB コネクターに接続すると、正常に動作しない場合があります。

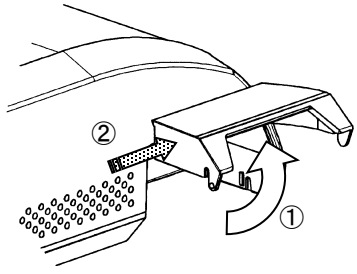
ガイド

- USB2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。
- USB ケーブルは本製品には添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。
- オプションの LAN カード（PR-LN1）を取り付けることにより、100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境でのプリンター共有が可能になります。LAN カードの取り付け方法については、LAN カード添付のオンラインマニュアルを参照してください。
- LAN カード搭載時は、パラレルインターフェイスおよび USB インターフェイスとの同時接続はできません。

◆　シャッターの取り外し・取り付け

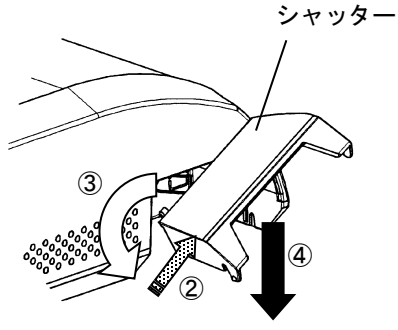
シャッターが不要な場合は、以下の手順で取り外すことが出来ます。

【取り外し方】



① シャッターを開きます。

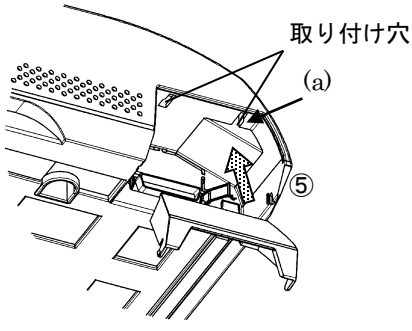
② シャッターの後側を軽く手前側へ押します。

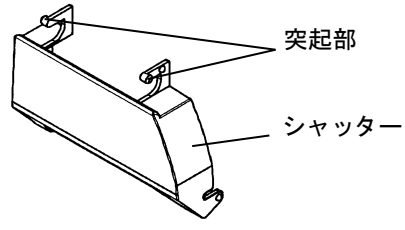


③ ②の状態を保持しながら下に回します。

④ シャッターを外します。

【取り付け方】





⑤ シャッターを傾けて片側の突起部から装置の取り付け穴（a）側に入れ、取り外し時の逆の順序で取り付けてください。

⚠注意

シャッターの後側を押す際に、強く押し過ぎないように注意してください。
シャッターの突起部分が破損する場合があります。

■　電源コードの接続

⚠警告

感電

接地付き電源コードと接地接続のあるコンセントを使用してください。
添付の電源コード以外は使用しないでください。
プラグから出ている緑/黄色のしま模様のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。
・銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの
・接地工事（D 種（第 3 種））を行なっている接地端子
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。
必ずアース接続を行って下さい。アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。

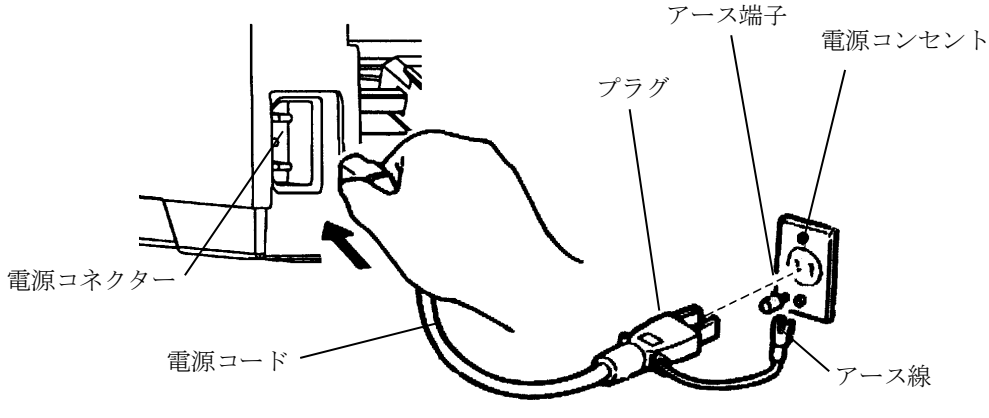
電源コードの接続は、次の手順で行います。

1　プリンターとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2　プリンター背面の電源コネクターに電源コードを接続する

電源コードのプラグを電源コンセントへ接続し、電源コードプラグのアース線を、電源コンセントのアース端子に接続します。



お願い

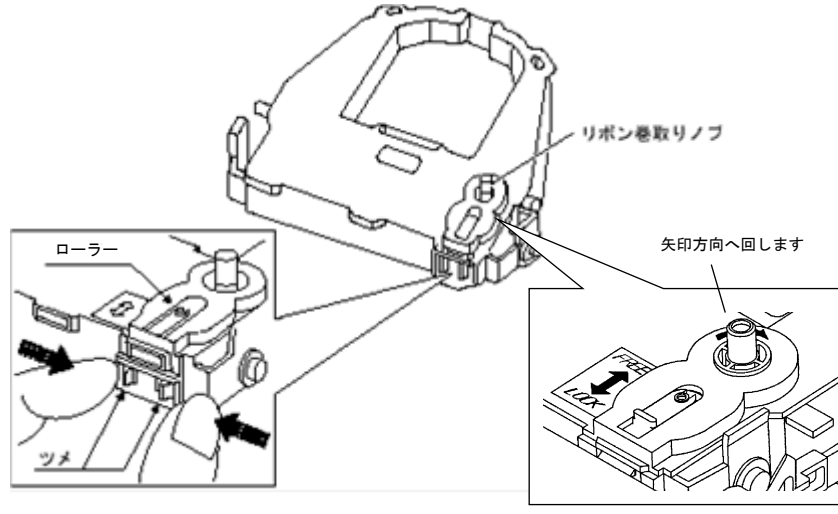
電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。

リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けは、次の手順で行います。

1　以下の手順でローラーのロックを外し、リボン巻取りノブを時計回りに回してリボンのたるみをとる

リボンカセット側面にロックしてある２個のグレーのツメを内側に押し外し、ローラーを「FREE」側にします。

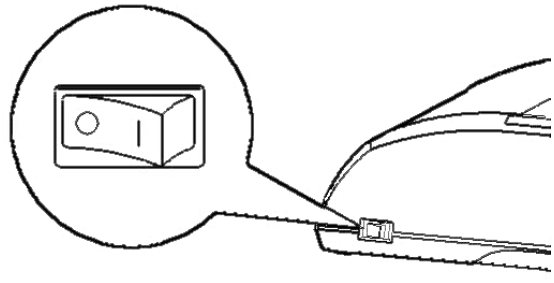


お願い

リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。

2　電源が切れていることを確認する

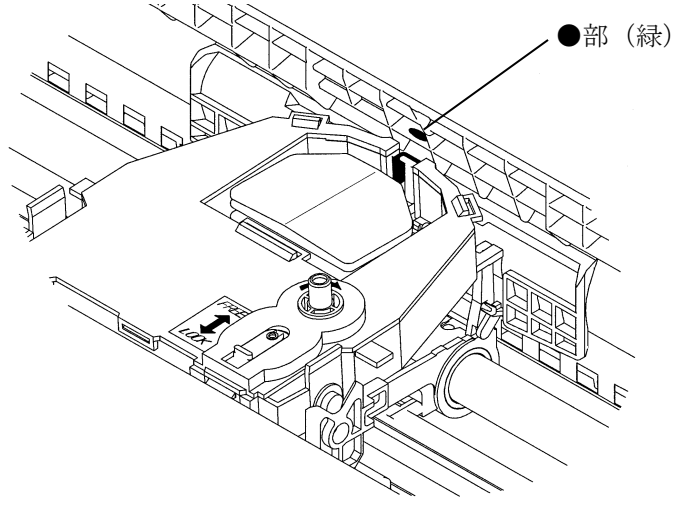
電源スイッチが（○側）に倒れた状態です。



3 用紙厚調整レバーを“D”の位置にセットする

4 フロントカバーを開ける

5 印字ヘッドをプリンターのイジェクションカバーの●部（緑）に移動する

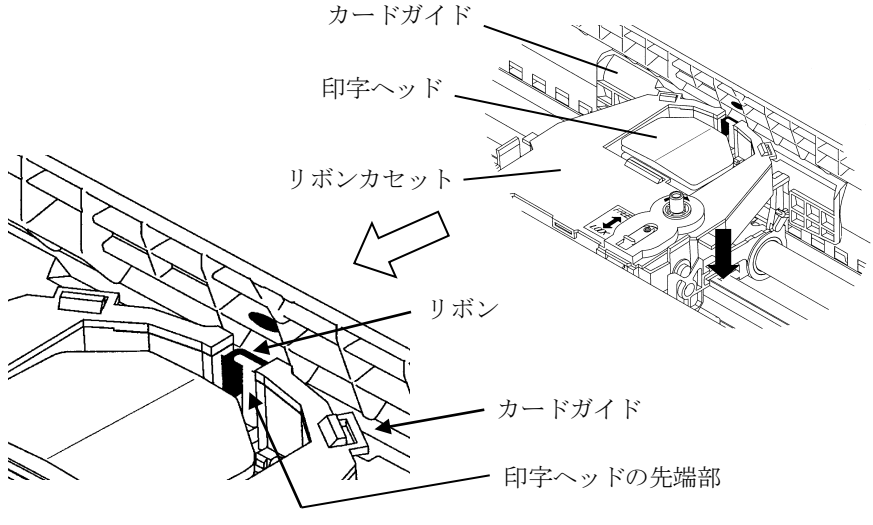


⚠注意

使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。
温度が下がるまで触らないでください。

6 印字ヘッドとカードガイドの間にリボンを通し、リボンカセットを静かに押し込む

（リボン巻取りノブが上になるようにセットする）



7 リボン巻取りノブを計回りに回して、リボンのたるみを取る

8 リボンカセットの取付け完了後、使用する用紙の厚さ、枚数に合わせて用紙厚調整レバーをセットする

用紙厚調整レバーについては「第３章 用紙のセット」（47 ページ）を参照してください。

電源の投入と切断

プリンターの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

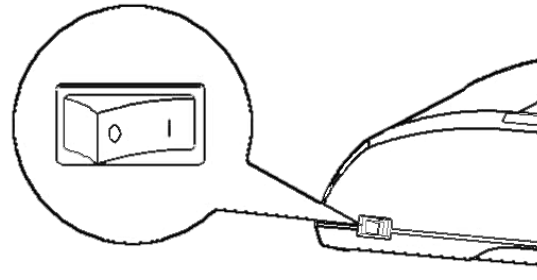
■　電源を入れる

お願い

購入後初めてプリンターに電源を入れるときは、次の点を確認してください。
- 輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取り外してあること
- 電源コンセントの電源電圧が 100V、電源周波数が 50 または 60Hz であること

フロントカバーが閉じていることを確認して、プリンターの側面にある電源スイッチの（｜）側を押します。

電源スイッチ　（｜）側



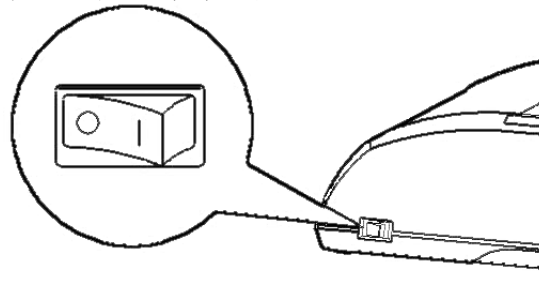
■　電源を切る

お願い

- 電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜いて電源を切ると、プリンター内の回路を傷めたりする場合があります。
- 印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れる場合は、2 秒以上待ってください。
  間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

「電源ランプ」が点灯しているときに、電源スイッチの（ ○ ）側を押します。

電源スイッチ（○）側



第 2 章

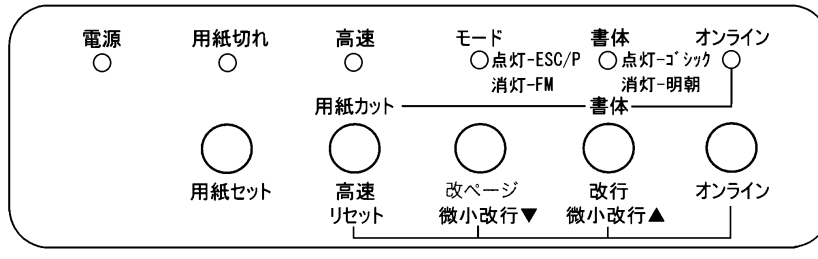
プリンターの機能とその使いかた

この章では、操作パネルの機能やその使いかたについて説明します。

操作パネルの機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
　　ランプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
　　スイッチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
機能設定を変える ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
　　機能設定の変えかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
　　機能設定の種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
行間ズレを直す ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
用紙の吸入量を調整する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
　　カット位置の補正方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
自動検出機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
エラー表示機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

操作パネルの機能

操作パネルには、プリンターの状態を示すランプとプリンターを操作するためのスイッチが付いています。



■　ランプ

ランプの機能は、下表のとおりです。

ランプ名称	色	機　　能
電源	緑	電源が入ると点灯します。
用紙切れ	橙	用紙がなくなると点灯します。アラームやエラー発生時に点滅します。
高速	緑	高速印字モードで点灯します。
モード	緑	ESC/P モードのとき点灯します。 FM モードのとき消灯します。
書体	緑	漢字書体の状態を表示します。 ゴシック体設定時に点灯、 明朝体設定時に消灯します。
オンライン	緑	オンライン状態で点灯、オフライン状態で消灯します。

■ スイッチ

スイッチの機能は、下表のとおりです。

スイッチ名称	機　　能
オンライン	・オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。 ・オンライン状態のときは、「オンライン」ランプが点灯します。 本文中では、**オンライン** と表記します。
改行／書体	本スイッチはオンライン時とオフライン時で機能が異なります。 〔オンライン状態のとき：書体〕 ・ 全角漢字、及び半角漢字の書体を切替えます。 ・ 「書体」ランプが消灯している時に本スイッチを押下すると、ゴシック体選択状態となります。「書体」ランプが点灯します。 ・ 「書体」ランプが点灯している時に本スイッチを押下すると、明朝体選択状態となります。「書体」ランプが消灯します。 ・ 漢字書体は、セットアップモード、または書体切替えコマンドでも切替え可能です。 ・ データ受信中、または印字動作中は、本スイッチは無効です。 〔オフライン状態のとき：改行〕 ・ 1 回押すたびに、1／6 インチずつ改行します。 ・ 押し続けると、連続して改行を行います。 本文中では、**改行** と表記します。
改ページ	〔オンライン状態のとき〕 本スイッチは無効です。 〔オフライン状態のとき〕 【連帳モード時、単票モード（カットシードフィーダー未搭載）時】 ・ 用紙を 1 ページ分送ります。 【単票モード（カットシードフィーダー搭載）時】 ・ カットシートフィーダーにセットされた単票用紙を吸入します。 ・ 用紙が吸入された状態で、本スイッチを押すと用紙を排出してから、カットシートフィーダーから次の用紙の吸入を行います。 本文中では、**改ページ** と表記します。

スイッチ名称	機　　能
用紙カット／高速	本スイッチはオンライン時とオフライン時で機能が異なります。 〔オンライン状態のとき：用紙カット〕 連帳モードのとき 印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、カット位置まで用紙を送ります。 もう一度押すと、用紙が元の位置に戻ります。 単票モードのとき このスイッチは無効です。 〔オフライン状態のとき：高速〕 高速印字モードと通常印字モードを切り替えます。 高速印字モードのときは、「高速」ランプが点灯します。 （注）　高速印字モードは、通常印字モードに比べて文字構成の密度が粗くなります。用途や目的に応じて使い分けてください。 本文中では、**高速** と表記します。
用紙セット	〔オンライン状態のとき〕 本スイッチは無効です。 〔オフライン状態のとき〕 連帳モードのとき ・ 用紙なし状態のときは、用紙を印字開始位置まで送ります。 ・ 用紙あり状態のときは、用紙が退避位置まで後退します。 単票モードのとき 【カットシードフィーダー未搭載時】 ・ 用紙なし状態のときは、リアカバーにセットした用紙を印字開始位置まで送ります。 ・ 用紙あり状態のときは、用紙の排出動作をします。 【カットシードフィーダー搭載時】 ・ 用紙なし状態のときは、カットシードフィーダーからの用紙の吸入を行います。 ・ 用紙あり状態のときは、用紙の排出動作をします。 本文中では、**用紙セット** と表記します。

◆　2 個のスイッチを使って操作するとき（微小改行）

次のスイッチの組合せで、微小改行等の操作を行うことができます。

名　　称	スイッチ	機　　能
▲微小正改行	オンライン ＋ 改行	〔オフライン状態のとき〕 ・ オンライン を押しながら、改行 を押すと、1 回押すたびに 1／180 インチ単位で正方向に微小改行します。 ・ 押し続けると、連続して微小正改行します。
▼微小逆改行	オンライン ＋ 改ページ	〔オフライン状態のとき〕 ・ オンライン を押しながら、改ページ を押すと、1 回押すたびに 1／180 インチ単位で逆方向に微小改行します。 ・ 押し続けると、連続して微小逆改行します。
リセット	オンライン ＋ 高速	〔オフライン状態のとき〕 ・ オンライン を押しながら、高速 を押すとブザーが鳴り、リセット動作を行い未印字データが消去されます。
用紙の吸入量の調整	オンライン ＋ 用紙セット	〔オフライン状態のとき〕 ・ オンライン を押しながら、用紙セット を押すと用紙の吸入量を調整できる状態になります。 ・ 用紙の吸入量を調整する方法は「用紙の吸入量を調整する」（40ページ）を参照してください。

◆　スイッチを押しながら電源を入れるとき

名　　称	スイッチ	機　　能
機能設定の変更	用紙セット	用紙セット スイッチを押しながら電源を入れると機能設定が変更できる状態になります。
行間ズレを直す	高速 ＋ 改ページ	高速 スイッチと 改ページ スイッチ押しながら電源を入れると、行間ズレを直すための調整パターンを印字します。 「行間ズレを直す」（38ページ）を参照してください。
テスト印字をする	改行	改行 スイッチを押しながら電源を入れるとテストパターンを印字します。 「テスト印字をする」（109 ページ）を参照してください。

機能設定を変える

ここでは、プリンターの各機能の設定変更の内容と、設定の変えかたについて説明します。

■　機能設定の変えかた

機能設定の変更を行う場合は、まずトップカバーを開いてメニュー印字が見えるようにしてください。

機能設定の変更は、次の手順で行います。

1　トップカバーを開いてプリンターにＡ４タテの用紙をセットする

用紙のセットのしかたは「第３章　用紙のセット」（47 ページ）を参照してください。

2　電源を切る

（電源スイッチが（○）側に倒れた状態になります。）

3　機能設定を変更できる状態にする

用紙セット スイッチを押しながら電源を入れます。
以下のメニューを印字し、プリンターの機能設定が変更できる状態になります。

セットアップ開始			
設定	終了	設定一覧	初期化

※印字ヘッドの位置が選択する項目を示します。

メニューの内容は次のとおりです。

メニュー名	内　容
設定	プリンターの機能設定を変更します。
終了	プリンターの機能設定を終了します。
設定一覧	現在の設定内容を印字します。
初期化	現在の設定内容を初期設定に戻します。

4 メニューを選択する

改ページ スイッチを押して、選択する箇所に印字ヘッドを移動させます。

改行 スイッチを押すと選択した項目を実行します。

「設定」を選択したとき	：	機能設定を変更できる状態になります。 → *5* へ
「設定一覧」を選択したとき	：	設定一覧を印字します。
「初期化」を選択したとき	：	設定を初期化後機能設定の変更を終了します。

5 設定内容を変更する

メニューで〔設定〕を変更すると、設定項目の大項目メニューが印字されます。（下図）

装置機能設定　余白量設定　ESC/P 設定　補正量設定　その他の設定

設定変更したい大項目を選択し、「改行」スイッチを押下すると、最初の設定項目を印字し、現在設定されている設定値にアンダーラインを付加して印字します。

- 設定値数が 6 個以上の場合、設定値は縮小文字で印字されます。
- 印字ヘッドは、アンダーラインを付加した機能の位置に停止します。
- 改ページ スイッチを押すと、選択する箇所に印字ヘッドを移動します。
- 改行 スイッチを押すと、選択した内容が設定され、次の設定内容が印字されます。
- 高速 スイッチを押すと、選択した内容が設定され、一つ前の設定内容が印字されます。
- オンライン スイッチを押すと、大項目メニューに戻ります。

ホストインタフェース		
自動	ＦＭ	ＡＴ
自動	ＦＭ	ＡＴ
モード設定		
自動	ＦＭ（消灯）	ＥＳＣ／Ｐ（点灯）

6　初期メニューに戻る

オンラインスイッチを押すと *3* と同じメニューを印字します。

設定	終了	設定一覧	初期化

7　機能設定の変更を終了する

改ページ スイッチを押し、印字ヘッド を「終了」の箇所に移動して、改行 スイッチを押すと機能設定の変更が終了します。

注2）機能設定の変更中に「用紙切れ」状態になったとき、機能設定を継続するには以下のようにして下さい。

単票動作時 ：次の用紙をセットすると自動的に印字開始位置まで吸入され、機能設定を継続できます。

連帳動作時 ：用紙送りトラクターに連続帳票用紙をセットして、用紙セットスイッチを押すと用紙を印字開始位置まで吸入し、機能設定を継続できます。

注3）機能設定を変更中に電源が切れた場合には、設定した内容は保証されません。

■　機能設定の種類

表中の初期設定とは、ご購入時にすでに設定してある値をいいます。
○印のついている設定項目が初期設定です。

◆　設定項目

【装置機能設定】

<table>
<tr><th>機能名</th><th>設定内容</th><th>初期値</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">インタフェースタイプ</td><td>自動</td><td>○</td><td rowspan="3">使用するインターフェイスを設定します。
USB インターフェイスが未搭載（セントロのみ）の場合は、本項目は印字されません。</td></tr>
<tr><td>セントロ</td><td></td></tr>
<tr><td>ＵＳＢ</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">ホストインタフェース</td><td>ＡＴ</td><td>○</td><td rowspan="3">パラレルインターフェイス(セントロニクスインターフェイス)使用時にプリンターが接続されているホストを設定します。
「自動」の場合はホストに接続したときに自動的に切り替わります。</td></tr>
<tr><td>ＦＭ</td><td></td></tr>
<tr><td>自動</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">モード設定</td><td>自動</td><td></td><td rowspan="3">電源投入直後のエミュレーションモードを設定します。
「自動」に設定すると、『ホストインタフェース』の設定内容により次のようにモードが決まります。
(注2)
<table><tr><th>ホストインタフェース</th><th>モード設定</th></tr><tr><td>ＦＭ</td><td>ＦＭ</td></tr><tr><td>ＡＴ</td><td>ＥＳＣ／Ｐ</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>ＦＭ
（消灯）</td><td></td></tr>
<tr><td>ＥＳＣ／Ｐ
（点灯）</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="5">オートローディング</td><td>無効</td><td></td><td rowspan="5">単票用紙がセットされてから用紙の吸入が開始されるまでの時間を設定します。
「無効」を選択した場合は、用紙を吸入しません。</td></tr>
<tr><td>0.5 秒</td><td></td></tr>
<tr><td>1.0 秒</td><td>○</td></tr>
<tr><td>1.5 秒</td><td></td></tr>
<tr><td>2.0 秒</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">単票用紙無し検出</td><td>検出する</td><td>○</td><td rowspan="2">単票モード時の単票用紙無しを検出する／しないを設定します。</td></tr>
<tr><td>検出しない</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">印字方向</td><td>両方向</td><td>○</td><td rowspan="2">電源投入時の印字方向を設定します。</td></tr>
<tr><td>片方向</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">漢字書体</td><td>明朝体</td><td>○</td><td rowspan="2">電源投入時の全角漢字および半角漢字の書体を設定します。</td></tr>
<tr><td>ゴシック体</td><td></td></tr>
</table>

機能名	設定内容	初期値	内　容
ブザー	鳴動する	○	ブザーの鳴動する／しないを設定します。「鳴動しない」を選択すると、一切鳴らなくなります。
	鳴動しない		
セントロ受信バッファ	有り	○	『インタフェースタイプ』設定において、「セントロ」を選択した場合の、受信バッファーの有無を設定します。
	無し		

注 1)「自動」識別されたときも含まれます。

注 2) FM OASYS を使用する場合は、装置機能設定を以下の設定にしてください。

・「インタフェースタイプ」　→ ｾﾝﾄﾛ

・「ホストインタフェース」　→ FM

・「セントロ受信バッファ」　→ 無し

注 3)『セントロ受信バッファ』の設定について

『セントロ受信バッファ』の有無およびサイズは、『インタフェースタイプ』の設定により、以下のようになります。

『インタフェースタイプ』			『セントロ受信バッファ』の有無	受信バッファ―のサイズ
搭載インターフェイス	パラレル（セントロ）	USB		
自動	●	●	有り	16KB
	●	●	有り	16KB
	●		有り	『受信バッファサイズ』に従う
セントロ			『セントロ受信バッファ』に従う	16KB
ＵＳＢ			有り	16KB
ＬＡＮ			『セントロ受信バッファ』に従う	16KB

【余白量設定】

機能名	設定内容	初期値	内　容
上端余白量指定	ドライバ指定優先	○	用紙吸入時の上端余白量の指定方法を設定します。 「ドライバ指定優先」を選択した場合は、プリンタードライバーから指定された上端余白に従います。 「セットアップ優先」を選択した場合は、機能設定の【余白量設定】で指定した上端余白量に従います。
	セットアップ優先		
単票上端余白量 ＥＰ	4.2mm		ESC/P モードにおける、単票手差し挿入口およびカットシートフィーダーから吸入した用紙の上端から第一行印字文字の上端までの量で設定します。
	8.5mm	○	
	22.0mm		
連帳上端余白量 ＥＰ	4.2mm		ESC/P モードにおける、トラクターから吸入した用紙の上端から第一行印字文字の上端までの量で設定します。
	8.5mm	○	
	22.0mm		
単票上端余白量 ＦＭ	4.2mm		FM モードにおける、単票手差し挿入口およびカットシートフィーダーから吸入した用紙の上端から第一行印字文字の上端までの量で設定します。
	9.1mm		
	14.3mm		
	22.0mm	○	
連帳上端余白量 ＦＭ	4.2mm		FM モードにおける、トラクターから吸入した用紙の上端から第一行印字文字の上端までの量で設定します。
	22.0mm	○	
連帳下端余白量	8.5mm	○	連帳用紙の用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します
	80mm		

【ＥＳＣ／Ｐ設定】

機能名	設定内容	初期値	内　容
ＬＡＮ接続	有効	○	LAN カード(オプション)による LAN 接続の有効／無効を設定します。 本項目は、fit3250 プリンターで、LAN カード搭載時のみ表示されます。
	無効		
連帳ページ長	11 インチ	○	連帳用紙のページ長を設定します。 連帳用紙のみの有効な値です。 プリンタードライバーを使って印字した場合、連帳ページ長は、プリンタードライバーからの指定値で動作します。
	12 インチ		
連帳ミシン目スキップ	0 インチ	○	連帳用紙のミシン目を挟んでスキップする量を設定します。
	1 インチ		
文字品位	ＬＱ	○	ANK 文字の文字品位を設定します。
	ＤＲＡＦＴ		

機能名	設定内容	初期値	内　容
縮小文字	標準印字	○	印字文字の大きさを設定します。
	縮小印字		
コードテーブル	カタカナ	○	ANK コード表を設定します。
	拡張グラフィックス		
ＡＮＫ書体	クーリエ	○	ANK 文字の書体を設定します。
	サンセリフ		
	プレステージ		
	ＯＣＲ－Ａ		
	ＯＣＲ－Ｂ		
国際文字	日本	○	国際文字の出力種類を設定します。
	アメリカ		
文字間	１０ＣＰＩ	○	ANK 文字の文字ピッチの大きさを設定します。
	１２ＣＰＩ		
行間	６ＬＰＩ	○	改行ピッチの大きさを設定します。
	８ＬＰＩ		
ＣＲコード	ＣＲ	○	CR コードの機能を、印字指令とするか、印字改行指令とするかを設定します。 「＊ＡＦＸＴ」を選択した時の CR コードの機能は、電源投入,*INIT 受信時の*AUTO FEED XT 信号の状態により決定されます。 *AFXT の設定は、『インタフェースタイプ』が「自動」または「セントロ」に設定されている時に有効となります。 『インタフェースタイプ』が「ＵＳＢ」に設定されている時に*AFXT に設定すると、CR コードは「CR」となります。
	ＣＲ＋ＬＦ		
	＊ＡＦＸＴ		
オートティアオフ	有効		連帳用紙のオートティアオフの有効／無効を設定します。 オートティアオフとは、印字が終了し、または印字データを印字し終了するごとに自動的に用紙カット位置まで用紙を送る機能です。
	無効	○	
ＳＬＣＴＩＮ	有効	○	SLCT IN 信号の有効／無効を設定します。
	無効		
ＤＣ１/ＤＣ３	有効		DC1/DC3 コマンドの有効／無効を設定します。
	無効	○	
ゼロフォント字体	スラッシュ無し	○	ANK コードの 0（ゼロ）の字体を「0」とするか「Ø」とするかを設定します。 クーリエフォントに対してのみ有効となります。
	スラッシュ有り		

【補正量設定】

補正量設定では、用紙のたわみにより生じる、累積改行ズレを補正する機能設定です。本設定により単票手差し、連帳用紙について補正量を設定することができます。

機能名	設定内容	初期値	内　容
単票（手差し）改行補正量	-1.5mm		単票（手差し）用紙に対する累積改行補正量(注５)を設定します。（約 254mm 改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は+方向の補正を行います）
	-1.0mm		
	-0.5mm		
	0mm	○	
	+0.5mm		
	+1.0mm		
	+1.5mm		
	ｸﾞﾗﾌｨｯｸ		
ＣＳＦ改行補正量	-1.5mm		カットシートフィーダー用紙に対する累積改行補正量(注５)を設定します。本項目は fit3250 プリンターでのみ設定可能です。
	-1.0mm		
	-0.5mm		
	0mm	○	
	+0.5mm		
	+1.0mm		
	+1.5mm		
	ｸﾞﾗﾌｨｯｸ		
連帳改行補正量	-2.0mm		連帳用紙の用紙吸入後の初期の累積改行補正量(注５)を設定します。（１ページ目に対してその後のページの印字ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は+方向の補正を行います）
	-1.5mm		
	-1.0mm		
	-0.5mm		
	0mm	○	
	+0.5mm		
	+1.0mm		
	+1.5mm		
	ｸﾞﾗﾌｨｯｸ		
連帳改行補正量（最終頁）	-1.5mm		連帳用紙の最終ページに対する累積改行補正量(注５)を設定します。（最終ページの下端から約 80mm の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は+方向の補正を行います）
	-1.0mm		
	-0.5mm		
	0mm	○	
	+0.5mm		
	+1.0mm		
	+1.5mm		
	ｸﾞﾗﾌｨｯｸ		

注 4) 補正結果は使用する用紙の種類により変わる場合があります。

【その他の設定】

機能名	設定内容	初期値	内　容
単票自動オンライン	有効	○	単票用紙吸入後、自動的にオンラインとするかを設定します。 用紙の自動吸入、スイッチによる吸入ともに行います。
	無効		
連帳自動オンライン	有効	○	連帳用紙吸入後、自動的にオンラインとするかを設定します。
	無効		
用紙外印字防止	有効	○	用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。
	無効		
逆改行抑制制御	有効	○	逆改行抑制制御を行うかどうかを設定します。 縦倍文字やマルチパス文字など、１回の印字起動により複数パスとなる文字を印字する際に生じる逆改行を、極力少なくする制御です。「有効」設定時は不要な逆改行が無くなります。
	無効		
連帳改行時 リボン保護制御	有効		連帳改行時に印字ヘッドが用紙送り穴位置に停止した場合、用紙送り穴位置を避けて改行し、リボンを保護するか／しないかを設定します。
	無効	○	
用紙カット 引き戻し制御	精度優先		用紙カット引き戻し時の動作方法を設定します。 「速度優先」設定時は、用紙送り出しを行った分だけ引き戻しを行い、元の位置（ページ先頭位置）に戻ります。 「精度優先」設定時は、用紙後退により用紙無しを検出した場合（用紙が切り取られた場合）に用紙再吸入動作を行います。
	速度優先	○	
スキップ印字	有効	○	1 行中の印字データ間に一定量の空白部分がある場合に、空白部分をスキップ（変速動作）するかどうかを設定します。 ただし、空白の前後にある印字データの印字速度が異なる場合（ＬＱ文字＋空白＋ＣＱ文字　等）は、本設定に関わらず、空白部分での変速動作を行います。
	無効		
エラー監視機能	有効	○	ニブルモード要求により、ステータス情報を送信バッファーにセットするかどうかを設定します。 本設定は、ESC/P エミュレーションに対してのみ有効です。
	無効		

メモ

行間ズレを直す

縦罫線などを正逆両方向で印字するときに生じる行間ズレを直します。標準印字圧と高複写モードの２つの印字圧について、通常印字、高速印字およびドラフト印字の各々のモードで行間ズレを直すことができます。
行間ズレは、次の手順で直します。

1　10インチ幅以上の連続用紙またはA4タテの単票用紙をセットする（fit3250プリンターでは15インチ幅以下またはA4タテの単票用紙となります）

用紙のセットのしかたは「第３章 用紙のセット」（47ページ）を参照してください

2　高速 スイッチと 改ページ スイッチを押しながら、電源を入れる

イメージ印字速度で調整用パターンを印字します。
矢印（←と→）は、印字ヘッドの移動方向を示します。

3　調整用パターンの印字が始まったら、調整を行う

・ 印字ヘッドの移動方向と同じ方向に印字結果を移動させるとき
　改行 スイッチを押します。
　押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに約0.06mmずつ矢印と同じ方向に印字結果が移動します。

・ 印字ヘッドの移動方向と逆の方向に印字結果を移動させるとき
　改ページ スイッチを押します。
　押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに約0.06mmずつ矢印と逆の方向に印字結果が移動します。

・ 印字モードを切り替えるとき
　調整パターン印字中に 高速 スイッチを押します。
　高速 スイッチを押すたびに、通常印字モード（ＬＱ速度）→高速印字モード（ＣＱ速度）→ドラフト印字モード（ＤＱ速度）の順に切り替わります。

・ 印字モードにより、「高速」ランプと「オンライン」ランプの状態が次のようになります。

ランプ＼モード	標準印字	高速印字	ドラフト印字
「高速」	消灯	点灯	点灯
「オンライン」	消灯	消灯	点灯

・ **用紙セット** スイッチを行端で押下すると「書体」ランプが点滅し、高複写モードでの正常印字ずれ補正となります。
高複写モードでも通常印字、高速印字およびドラフト印字のそれぞれについて調整を行ってください。
（fit3250 プリンターでカットシートフィーダー搭載時の単票モード時は、カットシートフィーダーから自動的に用紙を吸入して印字を行います。）

・ 本モードでの調整パターンは、以下のように印字されます。
印字圧モード（標準印字圧／高複写印字圧），印字速度（標準／高速／ドラフト）の状態が、調整パターン（｜）の前に印字されます。

```
標準印字圧／LQ 速度
→｜              ｜              ｜              ｜              ｜
←｜              ｜              ｜              ｜              ｜
                                 ・
                                 ・
                                 ・
```

印字圧モード／印字速度	タイトル印字
標準印字圧／通常印字	標準印字圧／LQ 速度
標準印字圧／高速印字	標準印字圧／CQ 速度
標準印字圧／ドラフト印字	標準印字圧／DQ 速度
高複写／通常印字	高印字圧／LQ 速度
高複写／高速印字	高印字圧／CQ 速度
高複写／ドラフト印字	高印字圧／DQ 速度

4 調整が終わったら、オンライン スイッチを押す

調整した内容がプリンターに記憶され、調整パターンの印字が終了し、オンライン状態になります。

注） オンライン スイッチを押さないと、調整した内容がプリンターに登録されず電源を切ると元の状態に戻ります。
調整は、通常印字速度、高速印字速度、ドラフト印字速度の順で行ってください。

用紙の吸入量を調整する

用紙の自動吸入（オートロード）時の用紙吸入位置を、行方向に微調整します。工場出荷時に、用紙の吸入量（印字開始位置）は初期設定値(8.5㎜)に調整されていますが、ずれている場合は、この機能で調整してください。連続帳票用紙、単票用紙それぞれの吸入量を調整できます。用紙の吸入量は、次の手順で調整します。

1　プリンターに用紙をセットする

用紙のセットのしかたは「第３章 用紙のセット」（47 ページ）を参照してください

2　オフライン状態で オンライン スイッチを押しながら、用紙セット スイッチを押す

プリンターの用紙吸入量を調整できる状態になります。

3　用紙の吸入位置を調整する

上端余白を大きくしたいとき 改行 スイッチを押します。
一回の操作で、１／180 インチ（約 0.14ｍｍ）補正します。
上端余白を小さくしたいとき 改ページ スイッチを押します。
一回の操作で、1／180 インチ（約 0.14ｍｍ）補正します。
本モード中に 高速 スイッチを押すと、⋈ を１行印字します。
吸入量を確認するときに使用してください。

4　調整が終わったら、オンラインスイッチを押す

調整した内容がプリンターに記憶され、オンライン状態になります。

注）オンライン スイッチを押さないと、調整した内容がプリンターに登録されず、電源を切ると元の状態に戻ります。
調整は、単票時の補正、連帳時の補正があります。『連帳／単票切替えレバー』にて状態を切替え、それぞれの補正を行います。

5　用紙をセットして、用紙吸入量が適切かどうか確認する

■ カット位置の補正方法

カット位置に用紙を送り出したときに、プリンターの用紙カッタ位置と用紙のミシン目がずれている場合は次の手順で位置を補正できます。
連帳用紙の送り出し量をそれぞれ補正できます。
約９ｍｍの補正が可能です。

1 **オンライン状態で 用紙カットスイッチを押し用紙をカット位置に送る**

2 **用紙送り出し後もスイッチを押したまま、改行または改ページスイッチを押しカット位置を合わせる**

3 **用紙カッタ位置に用紙のミシン目が合ったら用紙カットスイッチを離す**

新たな用紙カットの送り出し量として設定されます。

・ 正方向（用紙を送り出す方向）に補正するとき
　改行スイッチを押します。
　1 回スイッチを押すごとに用紙を正方向に 1/180 インチ補正されます。

・ 逆方向（用紙を戻す方向）に補正するとき
　改ページスイッチを押します。
　1 回スイッチを押すごとに用紙を正方向に 1/180 インチ補正されます。

注）用紙カットスイッチを離した時点で送り出し量が設定されますので途中でスイッチを離した場合は手順 1 から やり直してください。

自動検出機能

このプリンターには、以下の自動検出機能があります。

◆　用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して、「用紙切れ」ランプが点灯し、ブザーが鳴ってオフライン状態になります。

◆　カバーオープン検出

トップカバーが開いた（カバーオープン）ことを検出し、動作を一時中断させる機能です。
オンラインアイドル中にカバーオープンを検出した場合、ブザーを鳴動し、オフライン状態に移行します。
印字動作の途中でカバーオープンを検出した場合、その印字動作は中断されます。
カバーオープン検出中（アイドル中、印字動作中共に）は、全てのスイッチ操作が無効となります。

◆　用紙左右端検出

印字ヘッドを左から右に移動しながら、TOF センサーで用紙の左右端を検出して、印字領域を制御する機能です。
本機能は、機能設定【その他の設定】で『用紙外印字防止：有効』に設定されている時のみ行います。

◆　印字ヘッド昇温検出

印字ヘッドの過熱状態を検出すると、1 行を 3 回に分けて印字し、印字ヘッドの劣化を防止します。

◆　ヘビーデューティーパターン検出

高密度の印字(50%以上)を行うと、1 行を 3 回に分けて印字します。

◆　異常電流検出

プリンター内で異常電流が流れたときは、プリンター保護のために自動的に電流を切断します。この状態で電源スイッチを“ON”にしても、約 1 分間は電源が投入出来ません。数分後、電源を再投入してください。

エラー表示機能

このプリンターには、操作パネルの各ランプの点滅でアラーム内容を識別する機能があります。

エラー発生時に点滅するランプによりアラーム内容を識別できます。

対処方法については第５章 保守と点検のプリンターがうまく動かないときの「用紙切れ」ランプが点滅するとき（100 ページ）を参照してください。

◆　プリンターアラーム

下記アラームが発生した場合、オペレータ・パネルの LED ランプ点滅により、アラームを通知します。

ランプ／アラーム名	用紙切れ	高速	モード	書体	オンライン	発　生　条　件
LES アラーム	(b)		(b)			スペースイニシャル動作実行中に LES 検出ができませんでした
オーバーロードアラーム	(a)	(a)		(a)		印字中に過負荷となり 3 分割印字となったが電源電圧が復旧しませんでした
低電圧アラーム	(b)	(b)		(b)		印字中以外に電源電圧が所定のレベルより低下しました
過電圧アラーム	(a)	(a)				電源電圧が所定のレベルよりも高くなりました
ROM/RAM アラーム	(a)	(a)	(a)	(a)		以下のエラーが発生しました ・サムチェックエラー ・リード/ライトエラー ・CG-ROM 未搭載

注1）(a) (b)は、ランプ点滅の周期パターンを表します。
空白は、消灯を表します。
LED ランプ点滅周期は、以下の通りです。

	長点灯数	短点灯数	点滅周期 1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
(a)	0	2	▬		▬						▬		▬					
(b)	0	3	▬		▬		▬				▬		▬		▬			
160ms（点滅間隔） 1280ms（周期）			↔															

注2）▬ はランプ点灯を表します。　上記の周期で、点滅を繰り返します。

◆　プリンターエラー

下記エラーが発生した場合、オペレータ・パネルの LED ランプ点滅により、エラーを通知します。

ランプ／エラー名	用紙切れ	高速	モード	書体	オンライン	発　生　条　件
連帳／単票切り換えレバーエラー	－	（c）	－	－		用紙が吸入されている状態で、連帳／単票切り換えレバーを切り換えました
排出ジャムエラー	－	－	－	（c）		用紙の排出に失敗しました
吸入ジャムエラー	○	－	－	－		用紙の吸入に失敗しました

注3）(c)は、ランプ点滅の周期パターンを表します。
“○”は点灯、空白は消灯、“－”は状態変化無しを表します。
LED ランプ点滅周期は、以下の通りです。

	長点灯数	短点灯数	点滅周期 1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
（c）	0	1	▬		▬		▬		▬		▬		▬		▬		▬	
160ms（点滅間隔） 1280ms（周期）			↔															

注4）▬ はランプ点灯を表します。　上記の周期で、点滅を繰り返します。

⚠注意

使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。
温度が下がるまで触らないでください。

第 3 章

用紙のセット

この章では、用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、印字開始位置、行間ズレの直しかた、および用紙吸入量の調整方法について説明します。

用紙をセットする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
連続帳票用紙をセットする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
単票用紙をセットする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
用紙のセット（カットシートフィーダー搭載時） ・・ 58
自動給紙印字の用紙のセット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
手挿入印字の用紙のセット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
カットシートフィーダー搭載状態で
連続帳票をご使用の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
用紙厚を調整する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
印字開始位置について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
印字開始位置（行方向）を微調整する・・・・・・・・・・・ 69

用紙をセットする

このプリンターでは、連続帳票用紙および単票用紙が使用できます。

■　連続帳票用紙をセットする

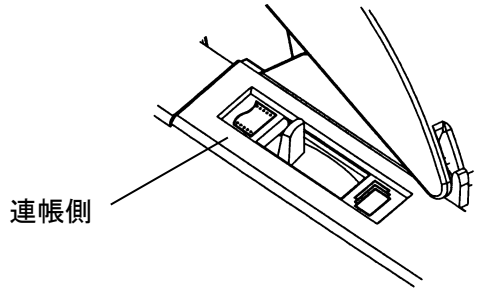
連続帳票用紙に印字する場合はリアカバーを取り付けてください。
リアカバーを取り付けない状態で印字すると、排出した用紙が用紙送りトラクターに巻き込まれて紙づまりを発生する場合があります。

連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

1　プリンターの電源を入れる

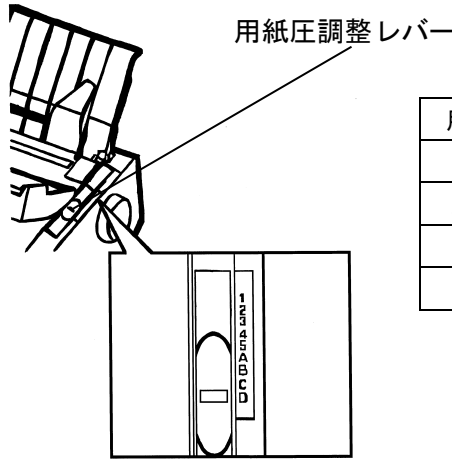
電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

2　連帳／単票切替えレバーを「連帳」側にセットする



3　使用する用紙の厚さ、枚数に合わせて用紙厚調整レバーをセットする

下表を目安にレバーを目盛に合わせます。（詳細は、55ページ参照）



用紙枚数	用紙厚調整レバーの目盛
１枚	①　～　②
２～３枚	②　～　③
４枚	③　～　④
５枚	④　～　⑤

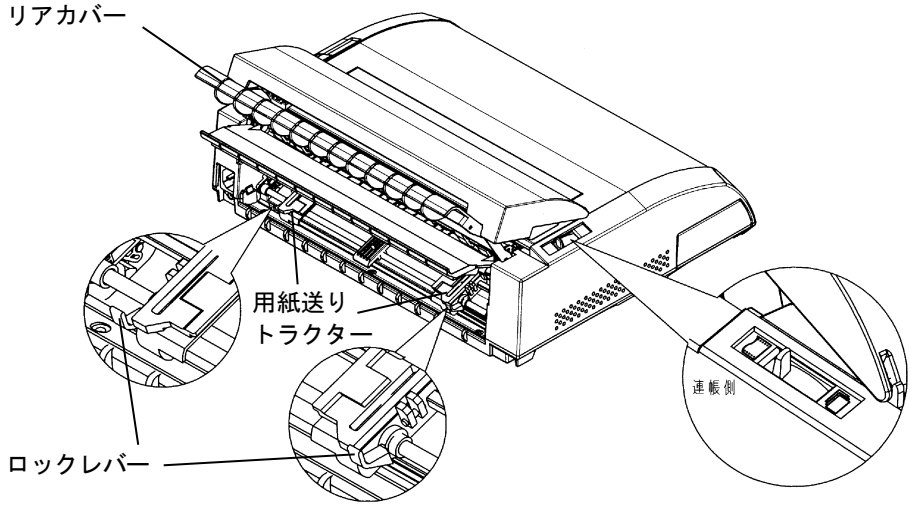
注意

一般的注意

用紙厚調整レバーは、正しく設定してください。
用紙の厚みに対して、レバーが正しくセットされていないと、きれいに印字できないことがあります。
印字の周囲が汚れるときは目盛りを大きめに、印字がカスレるときは目盛りを小さめに設定してください。

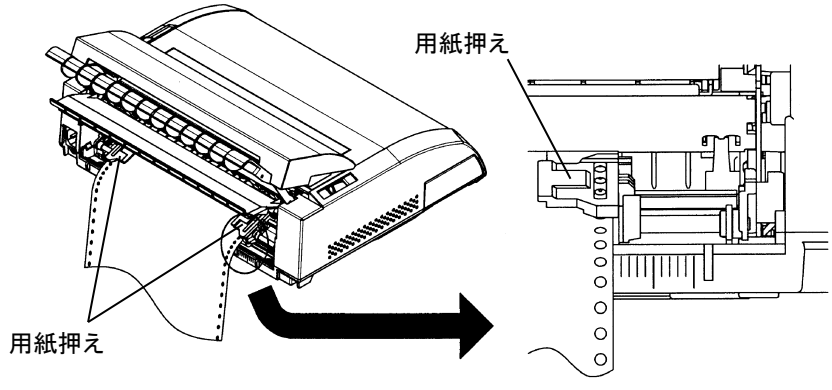
4　用紙送りトラクターのロックを外し、用紙押さえを開く

リアカバーを開け、用紙送りトラクターのロックレバーをプリンターに向かって押し上げてロックを解除し、トラクターが左右に移動できるようにします。次に用紙押えを開き、用紙をセットできる状態にします。



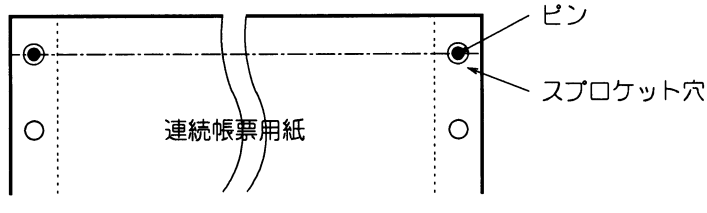
5　用紙送りトラクターに連続帳票用紙をセットする

用紙送りトラクターのピンに連続帳票用紙の送り穴を通し、用紙押えを閉じます。
右側の用紙送りトラクターを下図に示す位置にすると、左端余白（用紙左端からの余白）が最小値（約 11.4mm）となりますので目安にして下さい（プリンタードライバーを使用して印字する場合はこの位置に合わせます）。
用紙幅が５インチ以下の用紙をセットする場合は、必ずトラクター位置をこの位置に合わせて用紙をセットしてください。
左側の用紙送りトラクターを用紙が軽く張るくらいに位置を調整します。

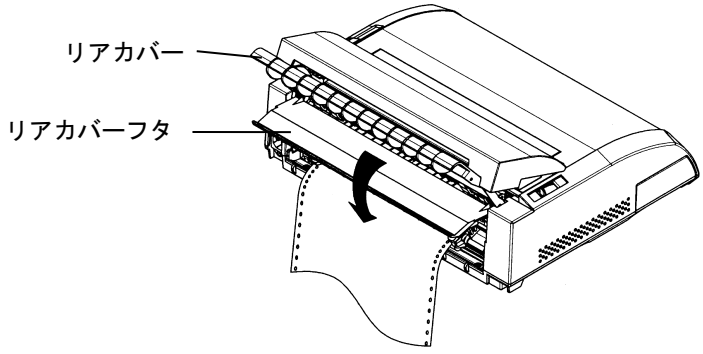


注意

用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
用紙を用紙送りトラクターにセットするとき、用紙を張りすぎないようにトラクターの幅を調整してください。
（用紙送りトラクターのピンと用紙のスプロケット穴の中心が一致するようにします。）



6　リアカバーから、リアカバーフタを外して倒す



注意

一般的注意

連帳用紙をセット後は、用紙の巻き込み防止のためリアカバーフタは閉めてください。

7　連続帳票用紙を印字開始位置まで送る

1)　プリンターをオフライン状態にします。
　　（「オンライン」ランプが消灯した状態です。）

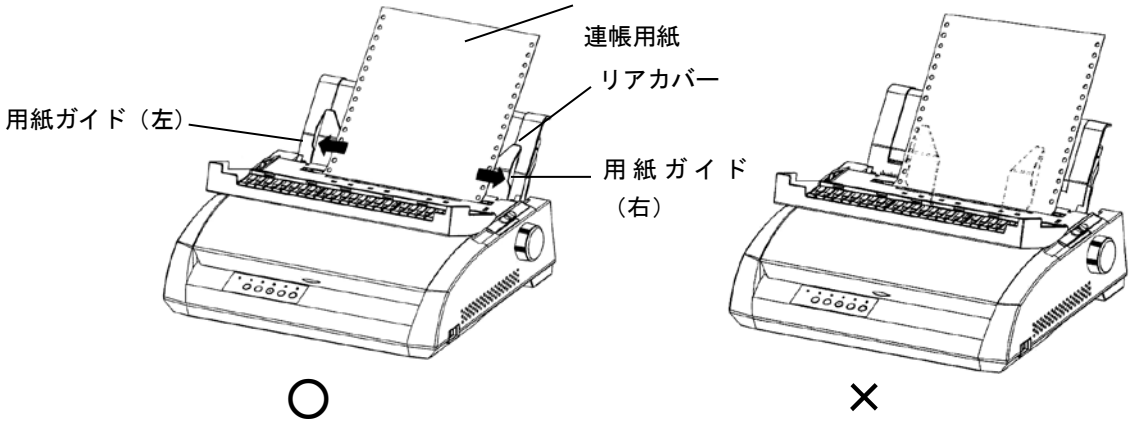
2)　用紙セットスイッチを押して、用紙を印字開始位置まで送ります。

印字開始位置の微調整については、69ページを参照してください。

注意

一般的注意

連帳用紙を使用するときは、左右の用紙ガイドが紙に触れないようにしてください。
用紙ガイドは用紙の端から離した位置に移動してください。



注意

一般的注意

連帳用紙を吸入後は、微小改行にて用紙を送るなどして、プラテンノブを手回しで回さないで下さい。

8 オンラインスイッチを押して、オンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送る

（注）用紙を排出するには、次の方法があります。

- 印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして用紙カットスイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。
- オフライン状態にして改ページスイッチを押します。
  1 回押すたびに、1 ページ分の用紙が送られます。

ガイド

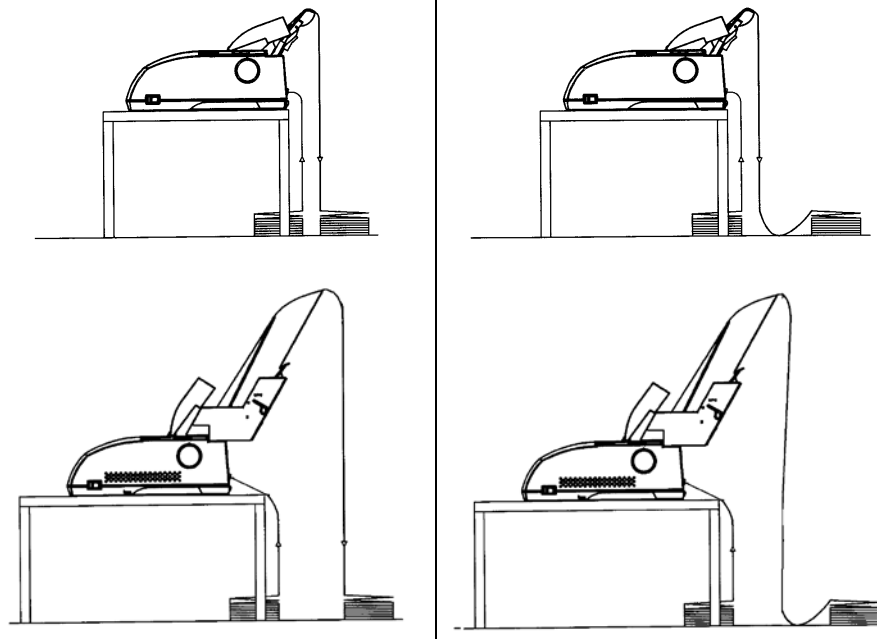
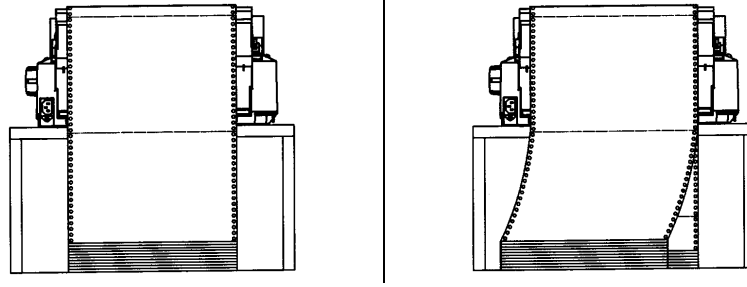
・印字中はトップカバーを閉めてください。

◆　連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙の流れが机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので改行ズレ、斜行印字などが発生することがあります。用紙の配置に注意してください。

お願い

リアカバーを水平に倒した状態で使用すると、改行の乱れなどの原因となります。必ずリアカバーを立てた状態で使用してください。

	○	×
プリンター側面		
	カットシートフィーダー取り付け時は、補助脚が台にのるようにします。	
プリンター背面		
	プリンターの用紙出口と用紙の置く位置のズレをなくしてください。	

◆　連続帳票用紙の後退動作

連続帳票用紙の後退動作を連続して行うと、トラクターから用紙が外れる場合がありますので、注意して下さい。

◆　印字済みの用紙について

印字済みの用紙が印字ヘッド付近に残っている状態で次の用紙をセットすると、正しく用紙をセットしない場合があります。
印字済みの用紙を取り除いてから用紙をセットしてください。

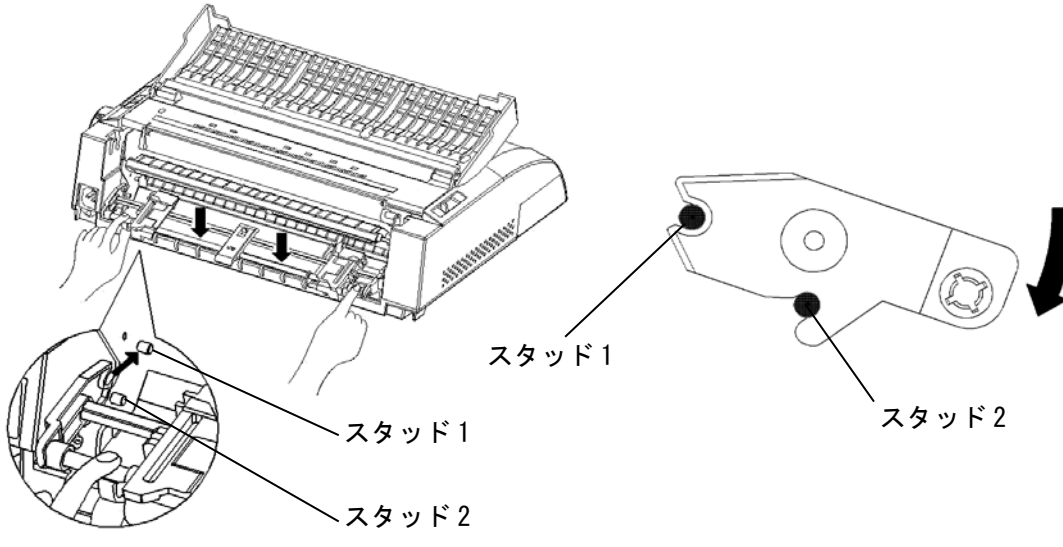
◆　複写用紙について

複写用紙を印字するときは、リアカバーを立てて印字してください。
リアカバーを水平にして印字すると、1 枚目（オリジナル）と 2 枚目以降（複写）の印字位置がズレることがあります。

◆　トラクターユニットの取り付け

トラクターユニットが外れた場合は、以下の手順で取り付けてください。

1．プリンターの電源を切る。
2．リアカバー、防音カバーを開きます。
3．トラクターユニットの溝をスタッド１に合わせて入れ、そのまま下に下ろしてスタッド２にはめ込みます。

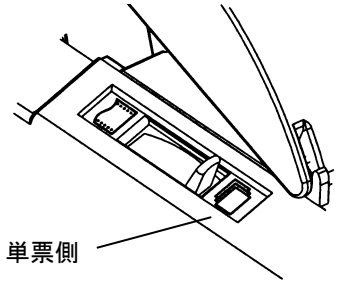


■　単票用紙をセットする

単票用紙は、連続帳票用紙をセットしたままでもセットできます。
単票用紙は１枚ずつセットしてください。

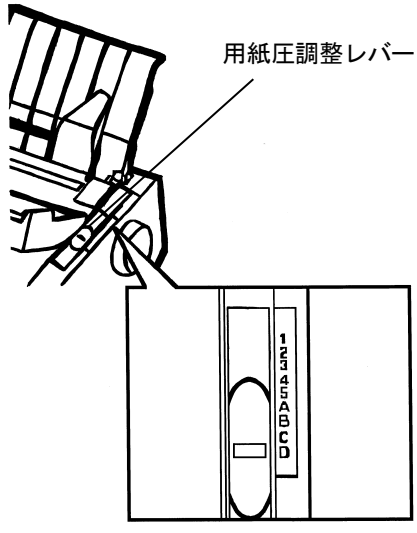
単票用紙のセットは、次の手順で行います。

1　連帳／単票切替えレバーを「単票」側にセットする



2　使用する用紙の厚さ、枚数に合わせて用紙厚調整レバーをセットする

下表を目安にレバーを目盛に合わせます。（詳細は、55ページ参照）



用紙枚数	用紙厚調整レバーの目盛
１枚	①　～　②
２～３枚	②　～　③
４枚	③　～　④
５枚	④　～　⑤
はがき	⑤　※

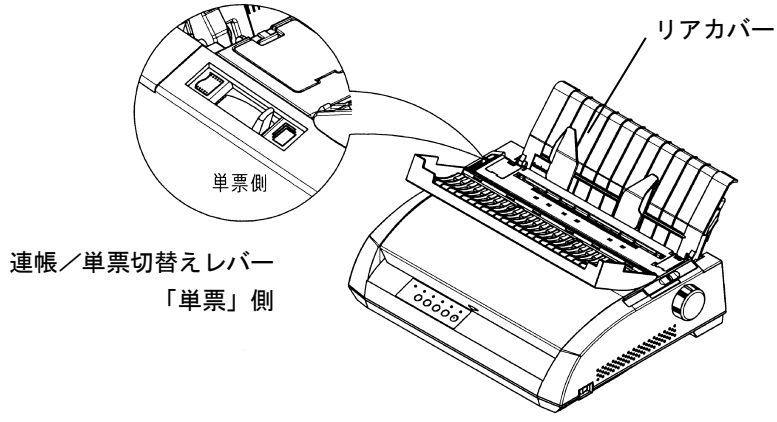
※　行間ズレ(縦棒のつなぎの左右ズレ)が大きい場合には、用紙厚調整レバーの目盛りをAまたはBに設定してください。

⚠注意

一般的注意

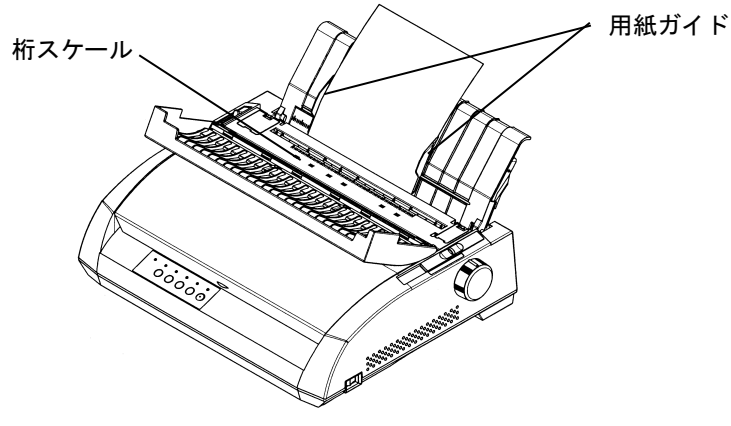
用紙厚調整レバーは、正しく設定してください。
用紙の厚みに対して、レバーが正しくセットされていないと、きれいに印字できないことがあります。
印字の周囲が汚れるときは目盛りを大きめに、印字がカスレるときは目盛りを小さめに設定してください。

3　リアカバーを立てる



4　用紙ガイドの位置を調整し単票用紙をセットする

左側の用紙ガイドを突き当たるまで右側に寄せた位置にすると、左端余白（用紙左端からの余白）が最小値（約 4～6mm）となりますので左端余白量の目安にして下さい（プリンタードライバーを使用して印字する場合はこの位置に合わせます）。　用紙幅が５インチ以下の用紙をセットする場合は、必ず用紙ガイドをこの位置に合わせて用紙をセットしてください。
リアカバーに刻印されている目盛りは、1/10 インチ（約 2.54mm）刻みです。用紙の目安にしてください。
右側の用紙ガイドを、用紙の幅に合わせて移動します。
用紙ガイドに沿って、印字する面を下に向け、用紙をまっすぐに入れます。



注意

・複写用紙をのりづけした単票用紙は、のりづけ部分からプリンターに挿入します。
・はがきを使用するときは、『プリンター編』「第４章　用紙について」の「はがきを使用するとき」(85 ページ)を参照してください。

5　以下の手順で、単票用紙を印字開始位置に送る

オートローディングを「有効」（31 ページ参照）に設定しているときは、自動的に印字開始位置まで送られます。

1）プリンターをオフライン状態にします。
（「オンライン」ランプが消灯した状態です。）

2）用紙セットスイッチを押し、用紙を印字開始位置まで送ります。

印字開始位置の微調整については、69ページを参照してください。
送られた用紙がまっすぐセットされなかったときは、用紙セットスイッチを押していったん単票用紙を排出し、再度セットしてください。

6　オンラインスイッチを押して、オンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送る

注）用紙を排出するには、オフライン状態にして用紙セットスイッチを押します。

ガイド

- トップカバーを外す場合は、垂直に立ててから上へ持ち上げてください。また、トップカバーを取り付ける場合は、取り外しと逆の手順で行ってください。
- 印字中はトップカバーを閉じてください。

用紙のセット（カットシートフィーダー搭載時）

fit3250 プリンターでは、オプションのカットシートフィーダーを搭載することによりセットした単票用紙を一枚ずつプリンターへ送り出し、印字した用紙をスタッカーへ排出することができます。
カットシートフィーダーを使用して印字を行う場合には、カットシートフィーダーにセットした単票用紙を自動的に送って連続的に印字を行う場合（自動給紙印字）と，手挿入口から手動で用紙を一枚ずつセットして印字を行う場合の二通りがあります。

■　自動給紙印字の用紙のセット

単票用紙をセットして自動的に紙送りを行い印字する場合は，次の手順で行います。

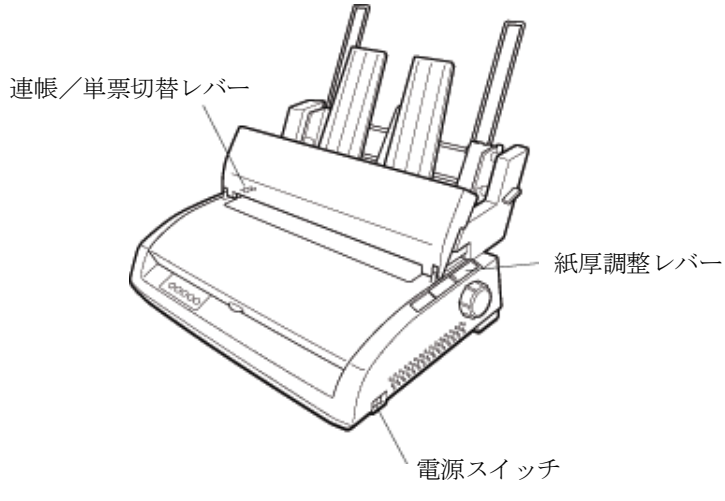
1　プリンター装置の電源を ON にする

（この時セットされている用紙は排出されます。）

2　プリンターの連帳／単票切替レバーを「単票」側にセットする

3　紙厚調整レバーをセットする用紙の紙厚に合わせてセットする

紙厚調整レバーのセット位置は67ページを参照してください。



4　リリースレバーを“開”の位置にする

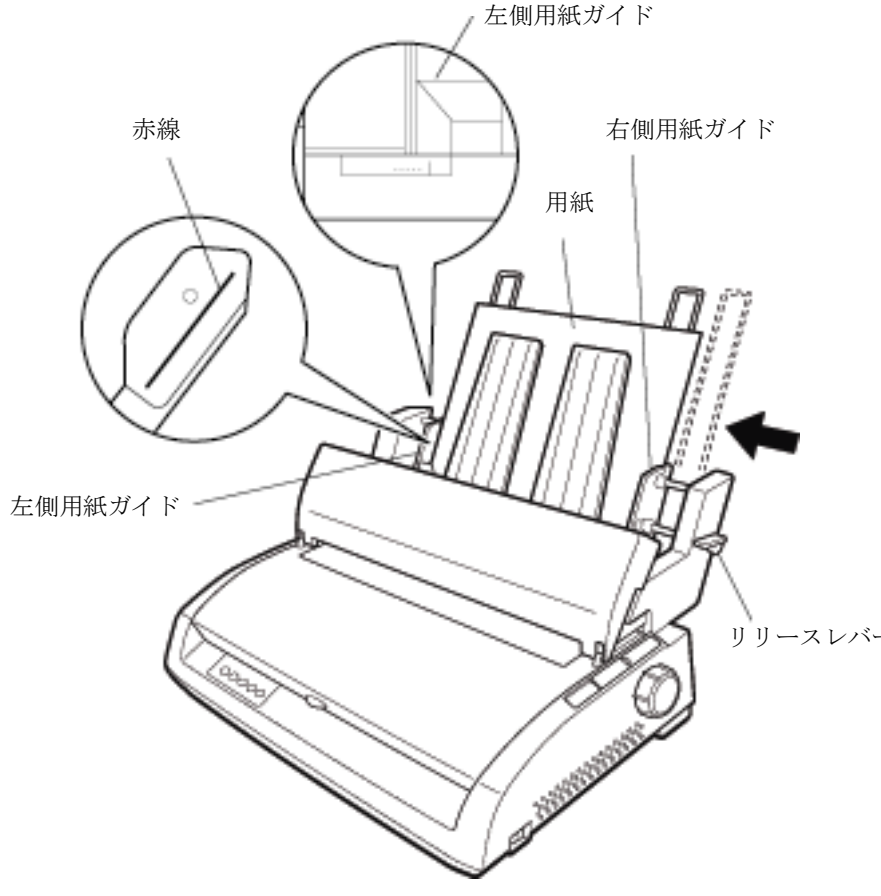
5　左側用紙ガイドの位置を決める

左側の用紙ガイドをスケールの“・”マークの最右端に合わせると、左端余白（用紙左端からの余白）が最小値（5.08mm）となりますので目安にして下さい（プリンタードライバーを使用して印字する場合はこの位置に合わせます)。B4 横等の幅広用紙を使用する場合は、用紙の大きさに応じて移動します。

注）左側用紙ガイドを … マークを越えて移動すると正常動作ができない場合があります。
はがきは，左側用紙ガイドを▼マークの位置でご使用ください。

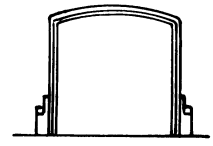
6　用紙を揃えて左右の用紙ガイドの上に載せてセットする

（一度にセットできる用紙の量は左側用紙ガイドの赤線までです。）

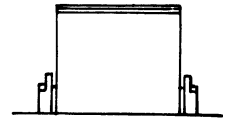


7 用紙セット後，左右の用紙ガイドと用紙の側面が軽く触れる程度に右側用紙ガイドを合わせ、左右の用紙ガイドのロックレバーを奥に倒してロックする

注）用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は，右側用紙ガイドを左へ動かして隙間をなくしてください。なお，ガイドを用紙に強く押し付けると吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。



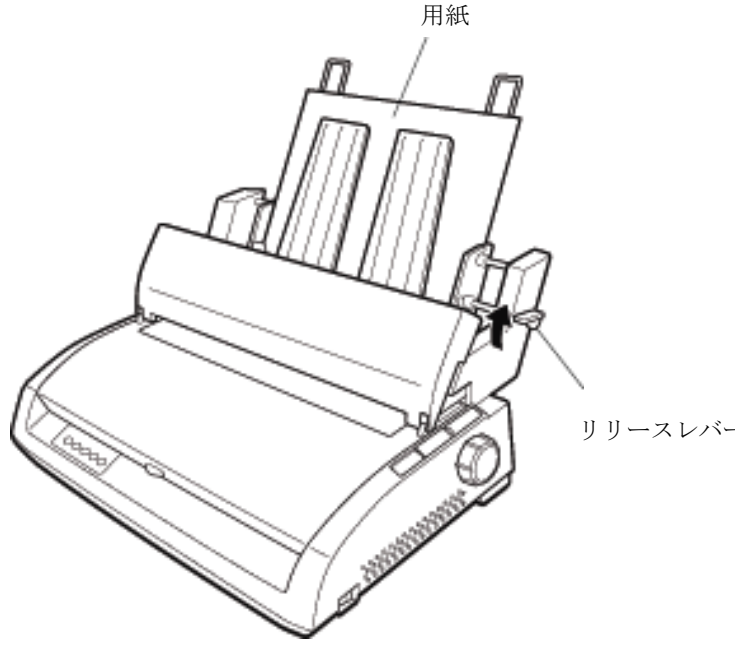
× 強く押し付けた場合



○ 軽く合わせた場合

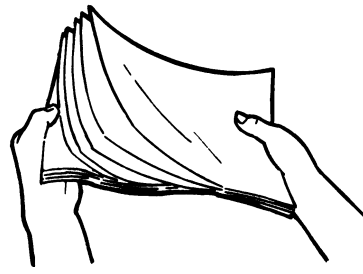
8 リリースレバーを矢印の方向へ回す

単票用紙をセットするときは“閉”，はがきをセットするときは，“ハガキ”の位置にリリースレバーを合わせます。



9　用紙および用紙のセット時のご注意

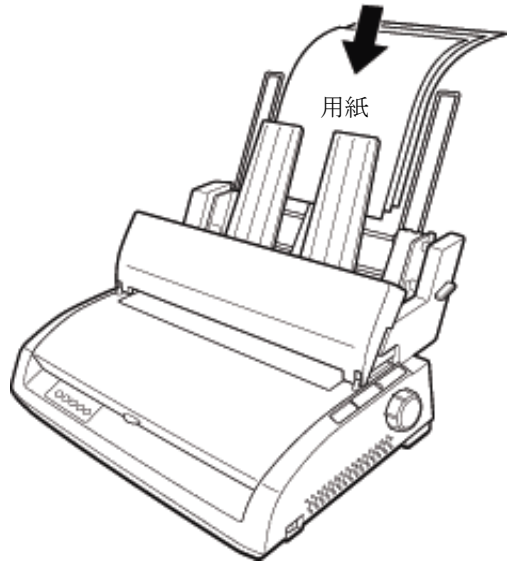
・ 用紙は，直射日光の当たらない場所に保管してください。また，用紙は立て掛けないで水平に保管したものをご使用ください。
・ 乾燥し過ぎた場所，また湿った場所に保管した用紙は，吸入不良を起こし易いので，湿度には十分ご注意ください。
・ セットする場合は，図のように用紙さばきを行った後，机に上などで用紙の上下，左右をきれいに揃えた上でセットしてください。



用紙のさばき方

用紙の揃え方

・ 用紙はカール方向を合わせてセットしてください。
用紙は，湿度などの影響でカールしていることがありますので，補充および別梱包の用紙を合わせてセットする場合，カール方向を合わせてセットしてください
（背中合わせにするとダブルフィードを起こす場合があります）。また，少しカールのある場合は，カール方向を下図のようにセットしてください。
・ 用紙は同一種類のものをセットしてください。
銘柄の異なるもの，連量（紙厚）の異なるものを混在させてセットしないでください。



■　手挿入印字の用紙のセット

1　プリンター装置の電源を ON にする

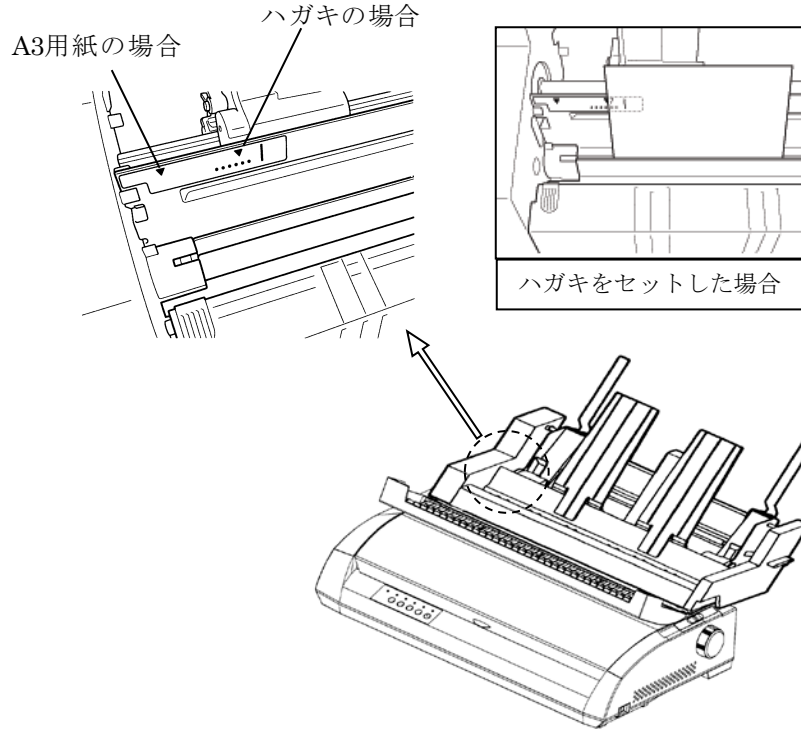
2　紙厚調整レバーをセットする用紙の紙厚に合わせてセットする

3　連帳／単票切替レバーを「単票」側にセットする

4　用紙の左側をスケールの“・”マークの最右端に合わせて手挿入口から挿入する

A3 用紙を横長方向で使用する場合は，左側の▼マークに合わせます。
用紙は左右を平行に，軽く突き当たる所まで挿入してください。

注）用紙の左側は，… マークの範囲内で使用してください。
右端の“・”マークが左端余白の最小(5.08㎜)となる位置の目安です。
プリンタードライバー使用時はこの位置に用紙をセットして下さい。
用紙の左側が … マークの範囲外で使用しますと，正常動作ができない場合があります。はがきは，右側の▼マークの位置で使用してください。



5 操作パネルの「オンライン」スイッチを押下し，「オフライン」状態に切り替える

6 「用紙セット」スイッチを押す

（単票用紙が自動的に印字開始位置まで吸入されます。）

7 操作パネル上の「オンライン」スイッチを押して「オンライン」状態に切り替える

◆ 手挿入用紙のご使用時の注意点

カットシートフィーダーを搭載した状態で、手挿入の複数ページ印字を行う場合、２ページ目以降はカットシートフィーダーから用紙を吸入します。
手挿入で複数ページを印字する場合は、カットシートフィーダーを外してから印字してください。

■ カットシートフィーダー搭載状態で連続帳票をご使用の場合

このカットシートフィーダーをプリンター装置に搭載した状態で、連続帳票を使用できます（連続帳票をプリンターへセットする方法については、48ページを参照してください）。

1 プリンター装置の電源を ON にする

2 操作パネルの「オンライン」スイッチを押し，プリンター装置を「オフライン」状態（オンラインランプが消えた状態）に切り替える

3 使用する帳票の厚さ，枚数に応じて紙厚調整レバーをセットする

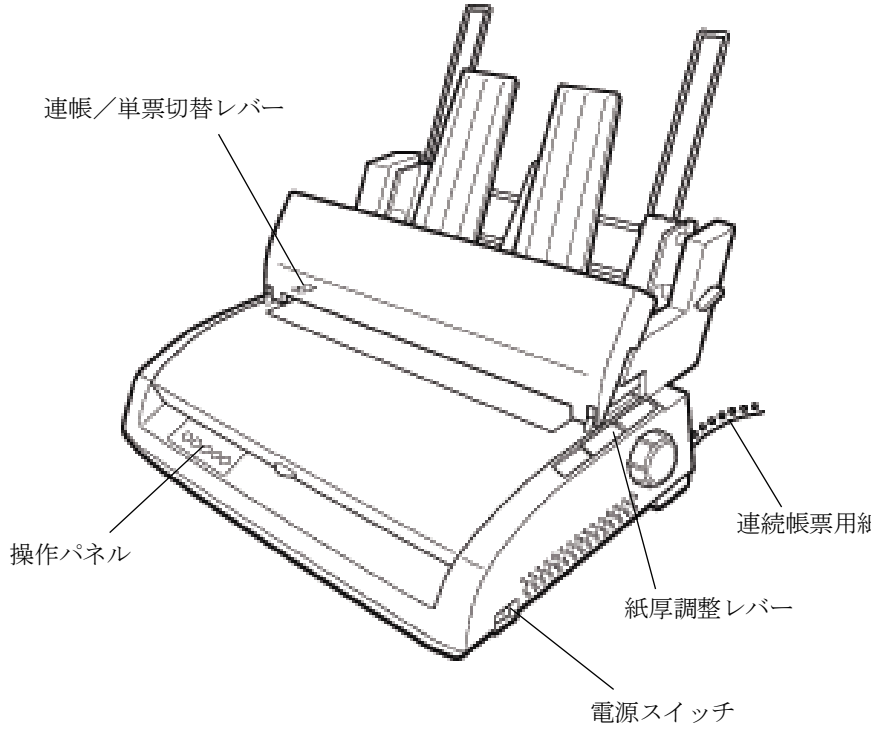
（紙厚調整レバーのセット位置は，67ページを参照してください。）

4 連帳／単票切替レバーを「連帳」側にセットする

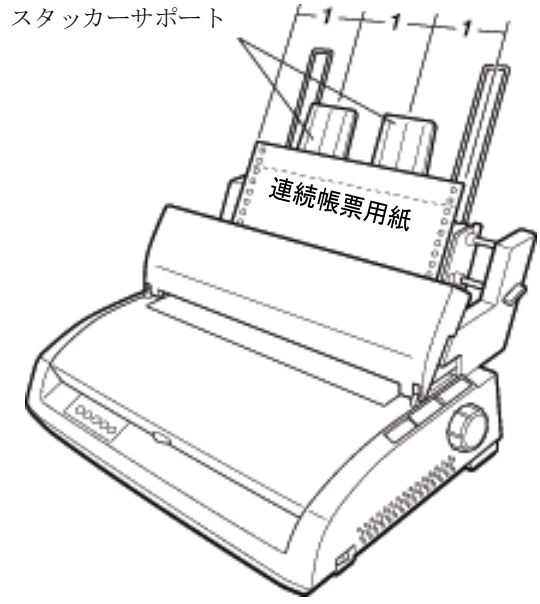
5 操作パネルの「用紙セット」スイッチを押す

（連続帳票用紙は印字開始位置まで送られます。）

6 操作パネルの「オンライン」スイッチを押して「オンライン」状態に切り替える



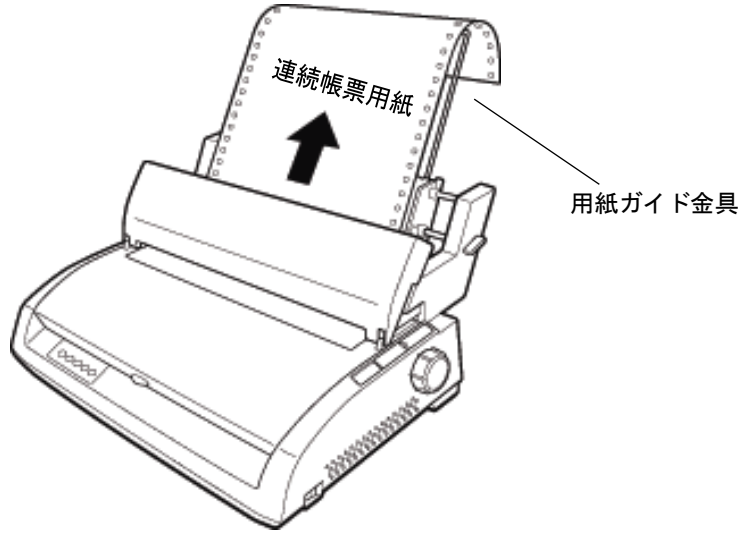
7　スタッカーサポートを下図の位置（割合比）に動かす



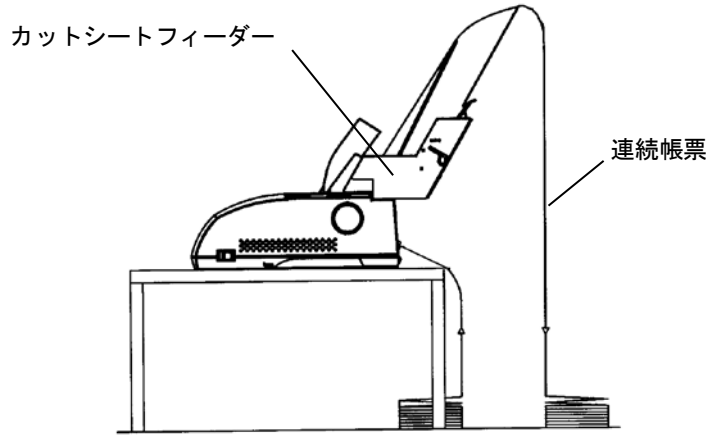
◆　**連続帳票のご使用時の注意点**

カットシートフィーダーを搭載した状態で連続帳票を使用の場合、次の点にご注意ください。

1　連続帳票が前面に倒れる場合がありますので連続帳票の繰り出しは最初のミシン目が用紙ガイド金具を乗り越える位置まで送り出す



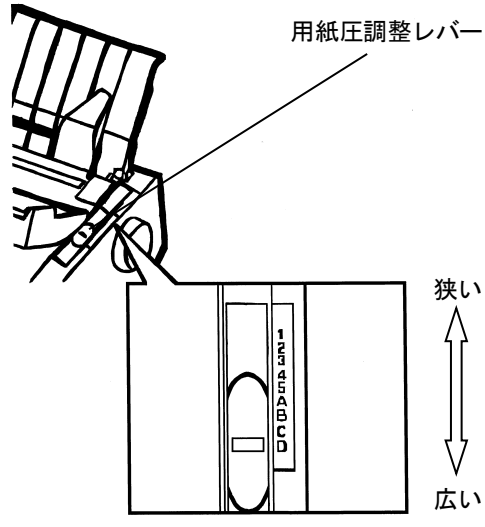
2　用紙の流れをスムーズにするため，プリンター装置と用紙の位置は下図のように置く



3　カットシートフィーダーのリリースレバーを“開”にする

用紙厚を調整する

適切な印字をするために、用紙の厚さや枚数に応じて印字ヘッドとプラテンの間隔を調整します。
用紙厚調整レバーが①の位置にあるとき、印字ヘッドとプラテンの間隔は、最も狭くなり、“D”の位置のとき最も広くなります。



用紙厚調整レバーの目盛	印字ヘッドとプラテンの間隔とセットできる用紙枚数　※1
①	1 枚
②	1～3 枚
③	2～4 枚
④	4～5 枚
⑤	5 枚、はがき 1 枚　※2
A～C	⑤以上の広さ ⑤では印字ヘッドとプラテンの間隔が狭いときに、A～C の順に用紙厚調整レバーをセットしてみてください。
D	印字ヘッドとプラテンの間隔が最も広くなります。 リボンカセットを交換するときや、用紙づまりを取り除くときに、用紙厚調整レバーをセットします。

※1 用紙とは、連続帳票用紙または単票用紙をさします。
※2 はがきは、郵便はがきとし、連量 160kg とします。
用紙のリボンによる汚れが気になる場合は、用紙厚調整レバーの目盛り位置をひと目盛り大きく設定してください。

⚠注意

使用する用紙に対して、用紙厚調整レバーのセットが適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットが広すぎるとき

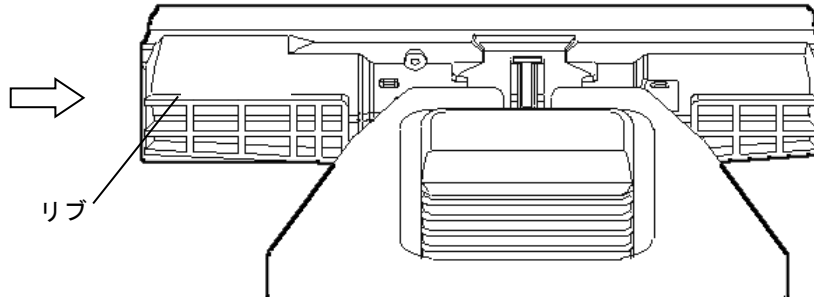
- 印字のかすれや、印字抜けが生じることがあります。

用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットが狭すぎるとき

- 印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
- 用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
- リボンによって用紙が汚れることがあります。
- 用紙の送りが悪くなることがあります。
- キャリアが正常に動かないことがあります。

印字開始位置について

必要に応じてセットした用紙の行方向の印字開始位置を変えます。
印字開始位置を調整するときは、カードガイドのリブ（ ⇨ ）が文字の中心を示しているので、これを目安にして用紙を合わせます。



■　印字開始位置（行方向）を微調整する

操作パネルのスイッチ操作で、行方向の印字位置を微調整できます。

1　プリンターをオフライン状態にする

（「オンライン」ランプ消灯。点灯しているときは、オンラインスイッチを押します。）

2　行方向の印字開始位置を微調整する

・正方向（用紙を送り出す方向）に微調整するとき

オンラインスイッチを押しながら、改行スイッチを押します。
正方向に 1/180 インチ改行します。
押し続けると、連続して正改行します。

・逆方向（用紙を戻す方向）に微調整するとき

オンラインスイッチを押しながら、改ページスイッチを押します。
逆方向に 1/180 インチ改行します。
押し続けると、連続して逆改行します。

⚠注意

一般的注意

用紙を引っ張ったり、プラテンノブを回しての微調整は行わないでください。
用紙の改行が乱れる原因となります。

第 4 章

用紙について

この章では、使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

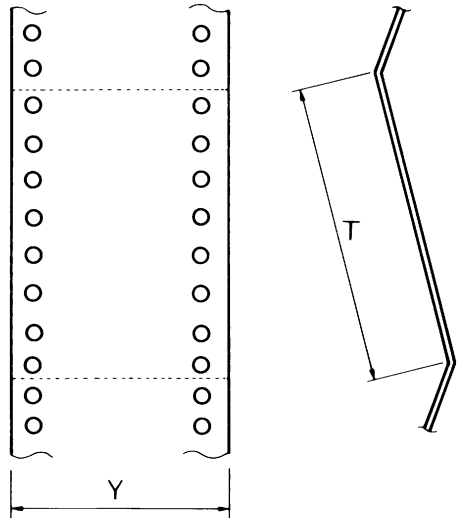
連続帳票用紙 …… 72
単票用紙 …… 79
カットシートフィーダー（オプション）で使用できる用紙 …… 82
とじ穴の開けかた …… 85
はがきを使用するとき …… 85
プレプリント用紙を使用するとき …… 86
取扱い上のご注意 …… 88

連続帳票用紙

このプリンターで使用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

◆ 用紙の寸法

連続帳票用紙の寸法を下図に示します。



記　号	寸　法	
	fit3150	fit3250
Y（用紙幅）	101.6 mm ～ 266.7 mm (4～10.5 インチ)	101.6 mm ～ 419.1 mm (4～16.5 インチ)
T（折り畳み長さ）	101.6 mm 以上 (4 インチ以上)	101.6 mm 以上 (4 インチ以上)

◆ 用紙の構成枚数

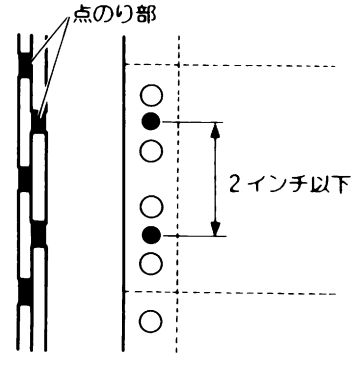
オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ（連量）の組合わせは、下表のとおりです。

用紙種類	枚数	連量（kg）	備　　考
一枚用紙	1P	45, 55, 70	
ノンカーボン紙	2P	34, 43, 55, (70)	（　）内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34, 43, (55, 70)	
	4P	34, (43, 55, 70)	
	5P	34, (43, 55)	
裏カーボン紙	2P	34, 45, 55, (70)	
	3P	34, 45, (55, 70)	
	4P	34, (45, 55, 70)	
	5P	34, (45, 55)	
中カーボン紙	2P	30, 40, 45, (55, 70)	
	3P	30, 40, (45, 55)	
	4P	30, 40, (45, 55)	
	5P	30, 40, (45, 55)	

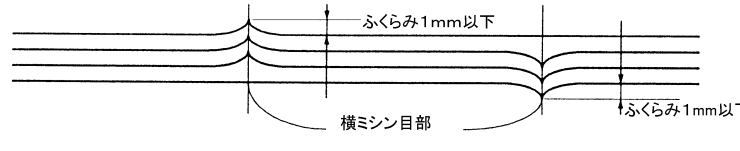
注 1) 連量とは、四六判(788×1091mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値です。
注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、用紙メーカーによって多少異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでください。なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。
注 3) 中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙を用紙 1 枚に相当するものとして数え、複写枚数は 5P までです。
中カーボン紙に使用するカーボン紙の厚さは、0.03mm 以下としてください。
注 4) 用紙の種類および保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。不具合が発生する用紙については、その度合いが容認できるものであるかどうか判断の上ご使用ください。
注 5) 全体の用紙厚さは、0.33mm 以下にしてください。
注 6) とじられた用紙の大きさは、各層とも互いに同一になるようにしてください。

◆　用紙のとじかた

連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「点のりとじ」にしてください。
片側しかとじてない用紙は正しく給紙されない場合がありますので使用しないでください（層間ズレ、改行ズレ、用紙ジャムの原因となります）。
のりづけ方法はいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのりづけする方法をおすすめします。

とじ方法	点のりとじ
説明図	
用紙枚数	５枚まで
備考	本プリンターに最も適したとじ方です。

注1）上記説明図では、帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのりづけしてください。
注 2）完成した用紙の折畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように 1mm 以下になるようにしてください。
連帳ミシン目に山折れ／谷折れ部のふくらみが大きい用紙は改行精度が乱れる場合がありますのであらかじめ確認のうえ使用してください。



注 3）用紙づまりや印字ズレの原因になるので、紙ホチキスとじは使用しないでください。
注 4）帳票のスプロケット穴の層間でのズレが 0.4mm 以下のものを使用してください。

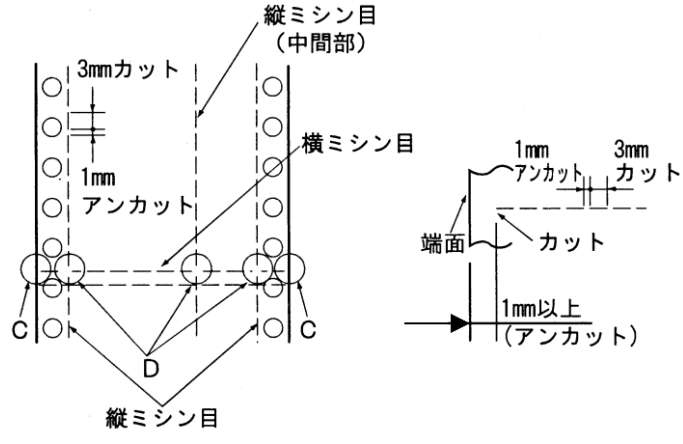
⚠注意

金属ホチキスとじは使用しないでください。
プリンターが故障する原因となります。

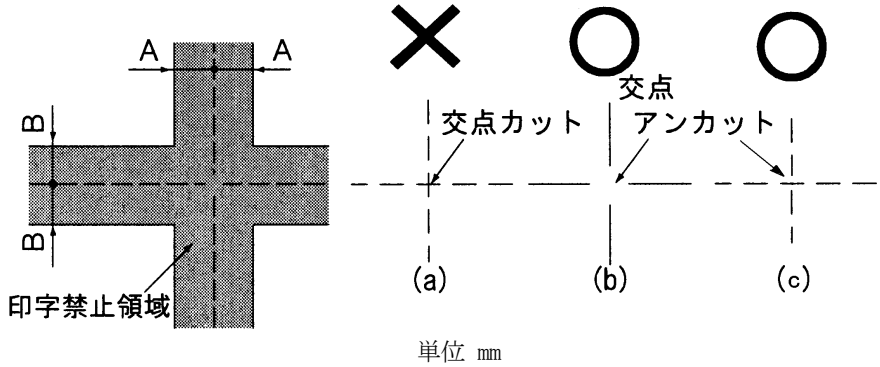
◆　ミシン目の入れ方

ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。
特に１枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると、使用中にミシン目から破けることがあります。
ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

・１枚用紙のミシン目（縦、横ミシン目共）のカット（切る部分）、アンカット（切らない部分）の比率は、約３：１にしてください。
・横ミシン目のアンカット寸法(両端部 C)は、1mm 以上にしてください。
・縦ミシン目と横ミシン目の交点部は、交点アンカット(b), (c)の方法にしてください。（(c)の方法を推奨します）交点カット(a)は行わないでください。
・複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。



注 1) ミシン目上に印字すると、用紙にキズがついたりプリンターの故障となることがありますので、下の図に示す斜線部には印字しないでください。

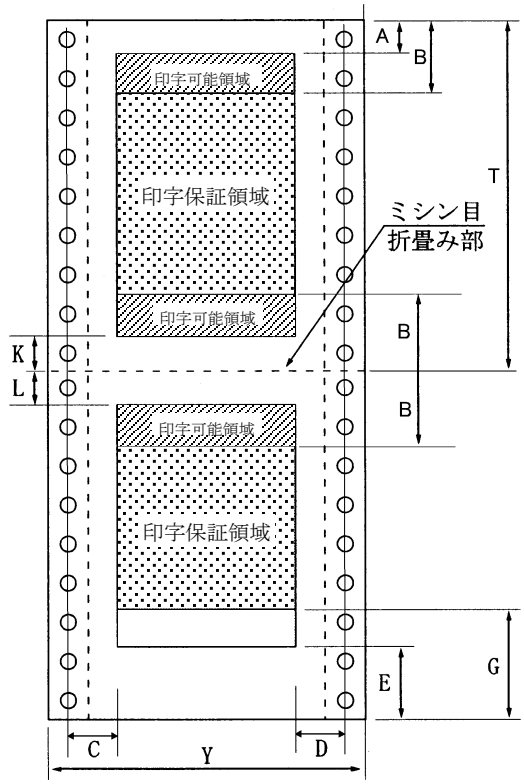


単位 mm

記号	A	B
寸法	３以上	３以上

◆ 印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



記号	項　目	寸　法	
		fit3150	fit3250
A	上端余白	4.2mm　注 1)	
B	印字品質低下領域	25.4mm　注 2)	
C	横打ち出し	注 3)	
D	最終印字	注 3)	
E	PE 検出	約 8.5mm または約 80mm　注 4)	
G	印字品質低下領域	約 80mm　注 5)	
K	下端余白	8.5mm 以上	
L	上端余白	8.5mm 以上	
T	用紙長さ	101.6mm 以上（4 インチ以上）	
Y	用紙幅	101.6～266.7mm (4～10.5 インチ)	101.6～419.1mm (4～16.5 インチ)

注 1) A 値の出荷時の値は、8.5mm に調整されています。第 2 章「機能設定を変える」(28 ページ)の機能設定で上端余白を変更できます。
注 2) 用紙上端およびミシン目の上下 1 インチの間は、改行が乱れることがあります。
注 3) C、D 値は、用紙幅と印字桁数に左右されますが、最小 5.08mm とします。
第 2 章「機能設定を変える」で『用紙外印字防止』の設定が”有効”に設定されている場合、約 14.0mm となります。
注 4) オーバーライド機能により、8.5mm まで印字可能です。
注 5) G の領域はトラクターから外れた領域です。改行が大きく乱れることがあります。

注意

G 値(80mm)～8.5mm の間は、用紙によっては改行できないものがあります。この場合は、機能設定の「連帳下端余白量（最終頁）」設定を 80mm に変更して、G 値以下の印字は行わないでください。

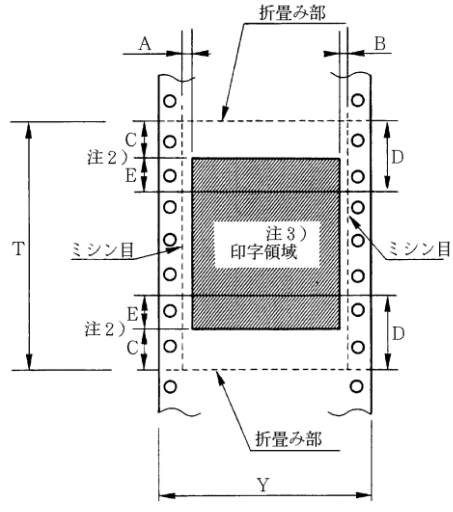
注意

複写紙の場合、用紙をプラテンロールに巻き付けて搬送する方式であるため、用紙の層間ズレが生じます。
層間ズレ量は、用紙の綴じ方や用紙の構成枚数及び厚さにより違いがでるため、ご使用される複写紙によっては用紙の自動吸入時の用紙吸入位置が初期設定位置に対してズレる場合があります。
その場合は、「用紙の吸入量を調整する」（40 ページ参照）にて位置を調整してご使用願います。

◆　はがき用紙

このプリンターでは連続帳票のはがき用紙を使用できます。

●　用紙サイズおよび印字領域



記号	項　目	寸　法	
		fit3150	fit3250
A	横打ち出し	5.08mm 以上(1/5 インチ)	
B	最終印字	5.08mm 以上(1/5 インチ)	
C	上下端余白　　注 1)	8.46mm 以上(1/3 インチ)	
D	印字品質低下領域	25.4mm(1 インチ)　注 2)	
E	印字可能領域	16.94mm(2/3 インチ)　注 2)	
Y	用紙幅	228.6～266.7mm (9～10.5 インチ)	228.6～330.2mm (9～13 インチ)
T	用紙長さ	203.2～355.6mm (8～14 インチ)	

注 1) C 値内では印字ユニットの横移動はさせないでください。
用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。
注 2) D、E 値内では、多少改行が乱れることがあります。
注 3) 印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から 5.08mm 以上離してください。ただし、折畳み部以外のミシン目は、カットおよびアンカット比を 2:1 にしてください。

◆　連量紙

135kg 以下とし、枚数は 1 枚のみとします。

◆　ミシン目の入れ方

一般連続帳票用紙と同様です。

単票用紙

このプリンターで使用できる単票用紙は、次のとおりです。
また、やむを得ず規格外の用紙を使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

◆ 用紙の寸法

	fit3150	fit3250
横幅	101.6～266.7mm	101.6～420.0mm
縦長さ	76～364mm	76～420mm

◆ 用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ(連量)の組合わせは、下表に示すとおりです。

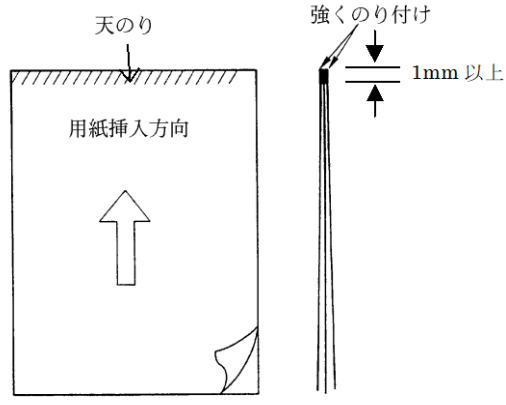
ただし、カットシートフィーダー（fit3250 プリンターオプション）では複写用紙は使用できません。カットシートフィーダーで使用できる用紙については、82ページの「カットシートフィーダー（オプション）で使用できる用紙」を参照してください。

用紙種類	枚数	連量（kg）（注 1）	備考
一枚用紙	1P	45,55,70	
ノンカーボン紙 (注 2)	2P 3P 4P 5P	34,43,55,(70) 34,43,(55,70) 34,(43,55,70) 34,(43,55)	（　）内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
裏カーボン紙 (注 2)	2P 3P 4P 5P	34,44,55,(70) 34,44,(55,70) 34,(44,55,70) 34,(45,55)	

注 1) 連量とは、四六判(788mm×1091mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。
注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、メーカーによって多少異なる場合がありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。
注 3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。
注 4) 全体の用紙厚は、0.33mm 以下にしてください。

◆　複写用紙のとじかた

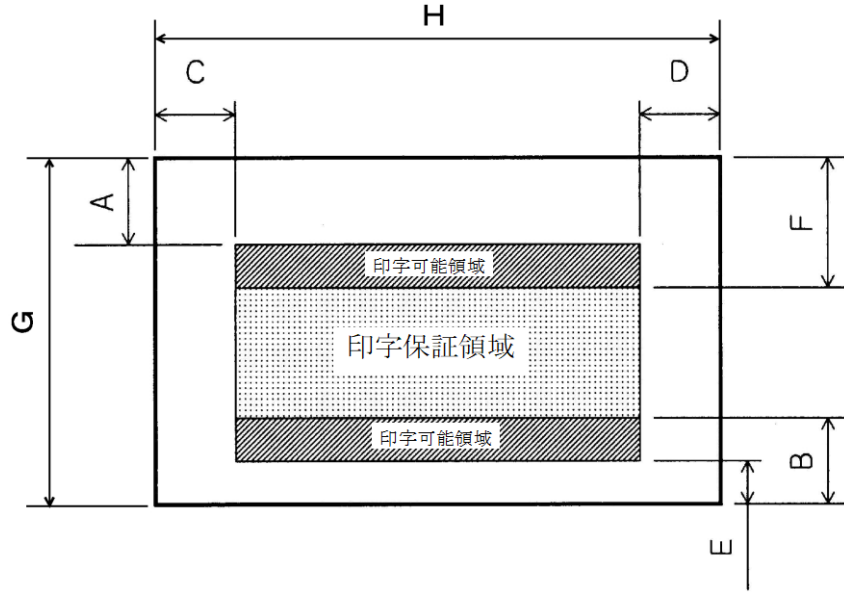
単票複写用紙は、用紙上端がのり付けされている用紙（天のりとじ用紙）を使用して下さい。横のりとじ用紙を使用すると、用紙吸入不足や斜行印字などが発生することがありますので、使用しないでください。また、のり付け部が波打っていたり、のりがはみ出していない用紙を使用してください。



注 1) のり付け部が極端に硬くなったり、波打ったりしないようにしてください。
注 2) のり付け部が簡単に外れてバラバラにならないようにしてください。
注 3) のりがはみ出さないようにしてください。

◆ 印字領域

単票用紙の印字領域を下図と下表に示します。



	A（mm）	B（mm）	C（mm）	D（mm）	E（mm）	F（mm）	G（mm）	H（mm）
	上端余白	下端余白	左端余白	右端余白	印字可能領域	印字可能領域	用紙長さ	用紙幅
fit3150	4.2 注 1)	約 40.0	5.08 注 3)	5.08 注 3)	4.2	25.4	76.0～364.0	101.6～266.7
fit3250							76.0～420.0	101.6～420.0

注1) 上端余白 A 値は、用紙上端から文字上端までの寸法です。
ただし、工場出荷時の上端余白量は 8.5mm に調整されています。
注2) 斜線部内に印字はできますが、送り精度を必要とするものは印字しないでください。
注3) D 値は、用紙幅と印字桁数に左右されますが、最小 5.08mm(1/5 インチ)とします。
注4) タック紙(ラベル紙)を使用した場合、用紙上端から 40mm 以下の範囲で逆改行動作をしますと改行が乱れますので、精度を必要とする場合は逆改行動作をさせないで下さい。

カットシートフィーダー（オプション）で使用できる用紙

fit3250 プリンターでは別売りのカットシートフィーダーを搭載することにより、セットした複数枚の単票用紙を自動でプリンターへ送りだすことができます。

品　名	型　名
カットシートフィーダー	FIT3200CSF

カットシートフィーダーで使用できる用紙は、自動給紙印字と手挿入印字の場合では条件が異なります。

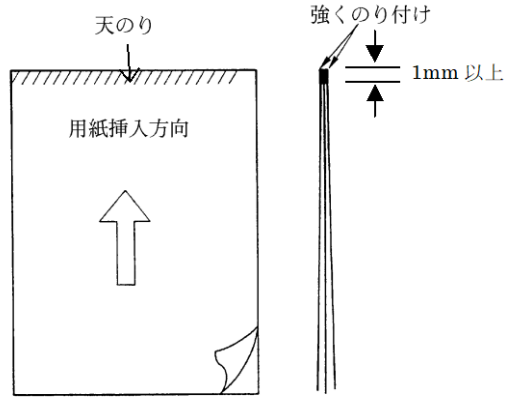
◆　使用できる用紙

	枚数	紙質	連量 (kg)	用紙幅 (mm)	用紙の長さ (mm)	使用できる用紙サイズ
自動給紙印字	1 枚もの	PPC 用紙 上質紙	55～70	182～364	182～364	B5 縦～B4 横
		郵便はがき（FIT3200CSF1 のみ） 幅：100mm　長さ：148mm			縦横サイズとも使用できます	
手挿入印字	1 枚もの	PPC 用紙 上質紙	55～70	182～420	182～420	B5～A3
		上質紙	40	182～257	182～364	B5～B4 横
		和紙	用紙厚 0.07～ 0.11	182～364	182～364	B5～B4
		郵便はがき 幅：100mm　長さ：148mm			縦横サイズとも使用できます	
	2～3 枚	ノンカーボン紙	34	182～364	182～364	B5～B4

注）用紙の吸入不良または印字ズレが生じる原因となりますので、次の用紙は使用しないでください。
- ミシン目および用紙のコーナーに丸みのついた用紙
- 罫線などの印字されている用紙(プレプリント用紙)

◆　複写用紙のとじかた

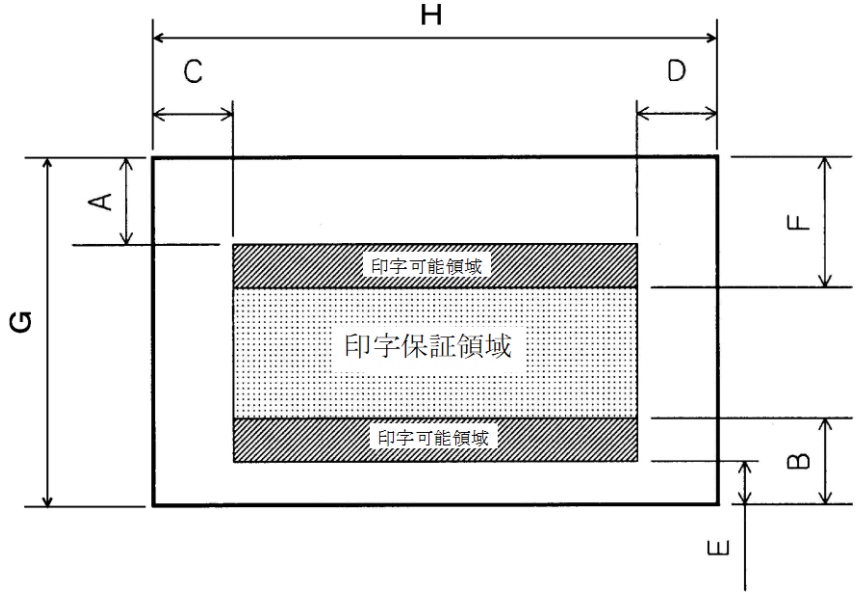
手挿入口から使用する複写用紙は、用紙の上端がのり付けされている用紙（天のりとじ用紙）を使用して下さい。



注 1) のり付け部が極端に硬くなったり、波打ったりしないようにしてください。
注 2) のり付け部が簡単に外れてバラバラにならないようにしてください。
注 3) のりがはみ出さないようにしてください。

◆ 印字領域

印字領域を下図と下表に示します。



	A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	E (mm)	F (mm)	G (mm)	H (mm)
	上端余白	下端余白	左端余白	右端余白	印字可能領域	印字可能領域	用紙長さ	用紙幅
自動給紙印字	4.2 注 1)	30.0 以下	約 8.9 注 3) 注 4)	約 8.9 以上 注 4)	4.2 以上	25.4	182.0～364.0	182.0～364.0
手挿入印字							182.0～420.0	182.0～420.0

注 1) 上端余白 A 値は、用紙上端から文字上端までの寸法です。
注 2) B と F に印字はできますが、送り精度を必要とするものは印字しないでください。
注 3) 左端余白 C 寸法は、用紙ガイドを▼印に合わせたときの基準値です。手挿入で A3 用紙を横長で使用するときは、左端余白 C 寸法が B5～B4 用紙とは異なります。
注 4) C と D の値は、手挿入で使用した場合は条件外です。

とじ穴の開けかた

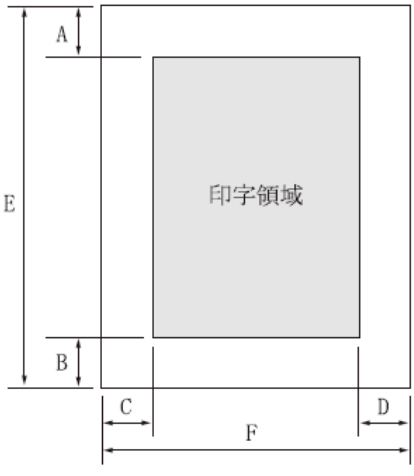
印字領域内にとじ穴をあけないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。

はがきを使用するとき

はがきを使用するときは、次の点に注意してください。

- はがきは、郵便はがき（公社製はがき）を指します。
- 用紙厚調整レバーを④または⑤にセットしてください。（67 ページ参照）
- はがきに印字する前に、はがきと同じサイズの用紙を使ってためし印字をし、印字がはがきからはみ出さないことを確認してください。
  市販のはがきは、用紙の種類によってはきれいに印字できないことがあります。
- 一度折り目をつけた往復はがきは使用しないでください。また、往復はがきを二つ折りにして印字することはできません。
- 往復はがきは、縦長に挿入してください。

◆　用紙サイズおよび印字領域



記号	項　目	寸法（mm）
A	上端余白	4.73 以上
B	下端余白	4.73 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100，148，200
F	用紙幅	100，148

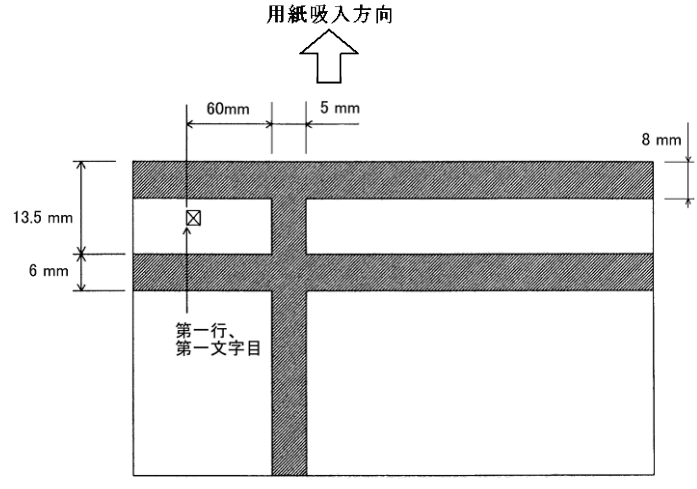
注）往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
　　私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

プレプリント用紙を使用するとき

あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

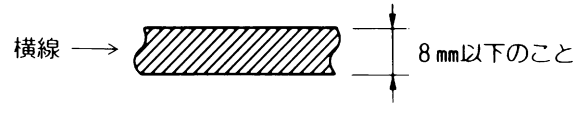
◆　光反射率 60%以下の色（例えば黒）を使用する場合

・ プレプリント用紙に光反射率 60%以下の色（例えば黒）を使用するときは、下図の斜線部内を避けてください。

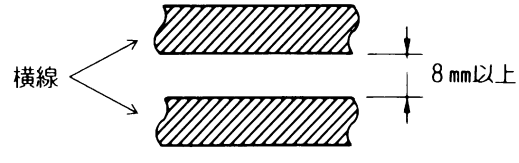


・ やむを得ず斜線部内に印字するときは、次のようにしてください。

(1)　斜線内に印字する横線の太さは、下図に示すように 8mm 以下にしてください。



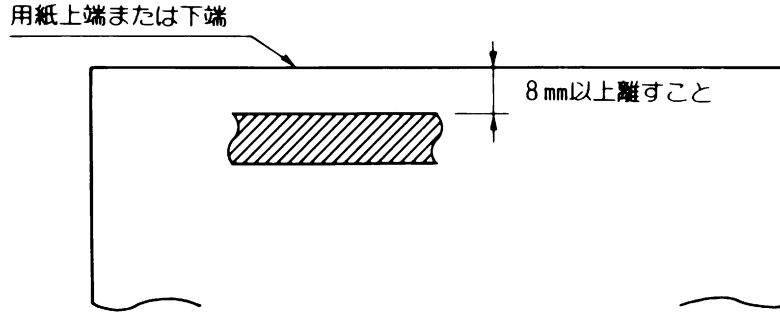
(2)　(1)の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを 8mm 以上あけてください。



注）　線の太さが 0.5mm 以下のときは、すきまが 4mm 以上でも可能です。

(3)　斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、斜線内に１本までとしてください。

・ 用紙の端面付近に印字するときは、下図に示すように用紙の端面から 8mm 以上離してください。



注）　線の太さが 0.5mm 以下のときは、すきまが 4mm 以上でも可能です。

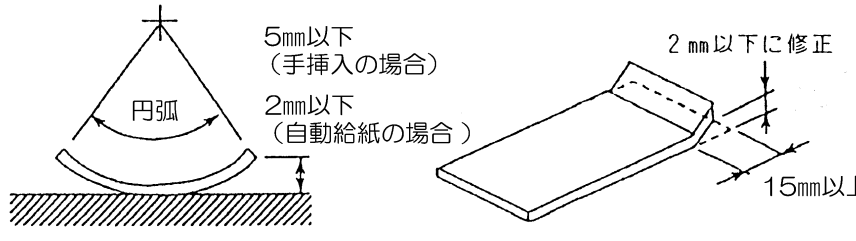
◆　罫線枠の幅

罫線枠のある用紙（プレプリント用紙）に印字する場合、罫線枠の幅が 6mm 以下の用紙は、用紙のたわみや吸入セット位置のズレなどによって、印字した文字が罫線枠上に重なったり、はみだしたりすることがありますので、事前に試し印字で印字位置を確認するようにしてください。
なお、罫線枠は上下左右に 2.5mm 程度の余裕をもたせることを推奨いたします。

取扱い上のご注意

◆ 用紙の保管、取扱いについて

- 用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。
- 湿気の多い所での保管は、絶対に避けてください。
- 排出された単票用紙を長時間放置したり、大量の単票用紙を排出した場合、用紙がカールする、用紙が崩れる、などにより次の排出が適切に行えなくなります。排出された用紙は、すみやかに取り除いてください。
- 用紙厚さに段差のある用紙や穴のあいている用紙は、印字カスレ、リボンによる用紙汚れや印字ヘッドピン折れの原因になりますので、十分に試し印字をしてください。
- 用紙の上端がカールしていたり、折れたりしている用紙は、装置内部で用紙走行不良を起こしやすいので、カール／上端折れがない用紙をご使用ください。



全面的に丸まったもの

◆　特殊用紙について

- この章に記述した仕様以外の用紙は、使用しないでください。用紙づまりなどのトラブルの原因となります。
- 再生紙の種類によってはリボンカセットの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに変更してください。

◆　使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、紙づまり、折れ、および印字ずれの原因となります。
最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

- ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙
- のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙
- 連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
- 複写紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙、または部分的に複写枚数が異なる紙
- とじ方法が線のりとじ、紙ホチキスとじの複写用紙

第 5 章

保守と点検

この章では、リボンカセットの交換、用紙づまりやプリンターがうまく動かないときの処置、テスト印字のしかた、清掃のしかた、輸送のしかた、およびアフターサービスについて説明します。

リボンカセットを交換する ····· 93
　　リボンカセットの種類 ····· 93
　　交換のしかた ····· 93
　　サブカセットの交換のしかた ····· 94
用紙づまりのとき ····· 96
　　連続帳票用紙がつまったとき ····· 96
　　単票用紙がつまったとき ····· 98
カットシートフィーダーご使用での
　紙づまりの取り除き方 ····· 99
　　用紙が給紙ホッパー内に見えている場合 ····· 99
　　内部で紙づまりを起こした場合 ····· 99
プリンターがうまく動かないとき ····· 100
　　電源投入時の不具合 ····· 100
　　単票用紙吸入時の不具合 ····· 101
　　連帳用紙吸入時の不具合 ····· 102
　　印字中の問題点 ····· 103
　　印字結果の問題点 ····· 104
　　印字位置の問題点 ····· 105
　　印字位置がページによってズレる ····· 105
　　カットシートフィーダー使用時の不具合 ····· 106
　　エラー表示と対処方法 ····· 108
テスト印字をする ····· 109
清掃のしかた ····· 111

プリンターを輸送するとき ····· 112
プリンタードライバーの入手方法 ····· 112
消耗品の廃却について ····· 113
アフターサービス ····· 114

リボンカセットを交換する

■　リボンカセットの種類

このプリンターで使用するリボンカセットは、下表のとおりです。

商　品　名	商品番号	備　考
リボンカセット SDM-11（黒）	0327110	黒色のリボンカセットです。
サブカセット SDM-11（黒）	0327120	詰め替え用黒リボンです。

上記製品のご購入については、プリンターをご購入頂いた販売店にお問い合わせください。

⚠注意

誤　飲　インクリボンをお子様が口に入れたりなめたりしないようにしてください。
健康を損なう原因となることがあります。

お願い

・リボンカセットは、指定の純正品の使用をお奨めします。
純正品は製品とともに開発し、製品の性能および品質を発揮する最適な仕様となっております。
・インクリボンがたるんだ状態で使用しないでください。
たるんだまま印字を開始すると、インクリボンがからまったり、巻きとりがロックすることがあります。
・使用済みのリボンカセットは、不燃物として地方自治体の条例または規則に従って処理してください。

■　交換のしかた

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

1　電源を切る

（電源スイッチが（○）側に倒れた状態になります。）

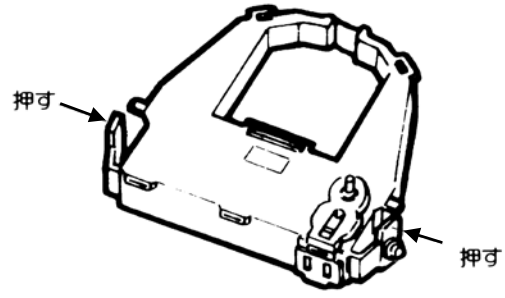
2　フロントカバーを開ける

3 印字ヘッドをイジェクションカバーの●部（緑）に移動する

⚠注意

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、中央に寄せてください。

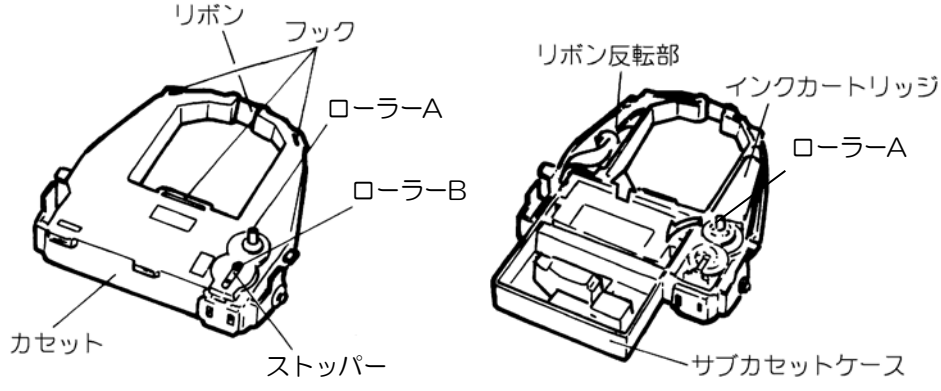
4 リボンカセットの両脇を押して、プリンターから取り外す



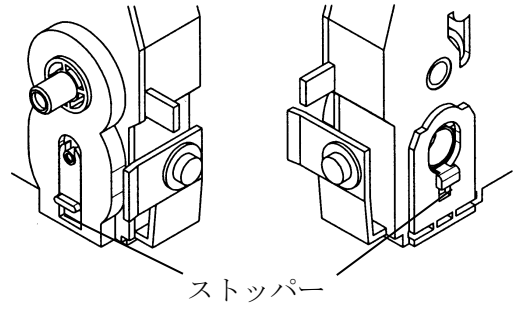
新しいリボンカセットの取付けは、17 ページの「リボンカセットを取付ける」を参照してください。

■ サブカセットの交換のしかた

サブカセットの交換は、次の手順で行います。



1 サブカセットの表と裏にあるストッパーを持って「LOCK」側に引き、ローラーB を離反させる



2 フタを固定している 3 つのフックを外してフタをあけ、使用済のリボンとインクカートリッジを取り出す

3 ローラーA を矢印の方向に傾けながら、新しいインクカートリッジを装着する

4 サブカセットケースを逆さにセットし、保護フィルムを静かに引き剥がす

5 リボン反転部で反時計方向にひねりながら、カセットに通す

6 「PUSH」部を押しながら、サブカセットケースをゆっくりと引き上げる

7 元の様にカセットフタを閉めてストッパーを解除する

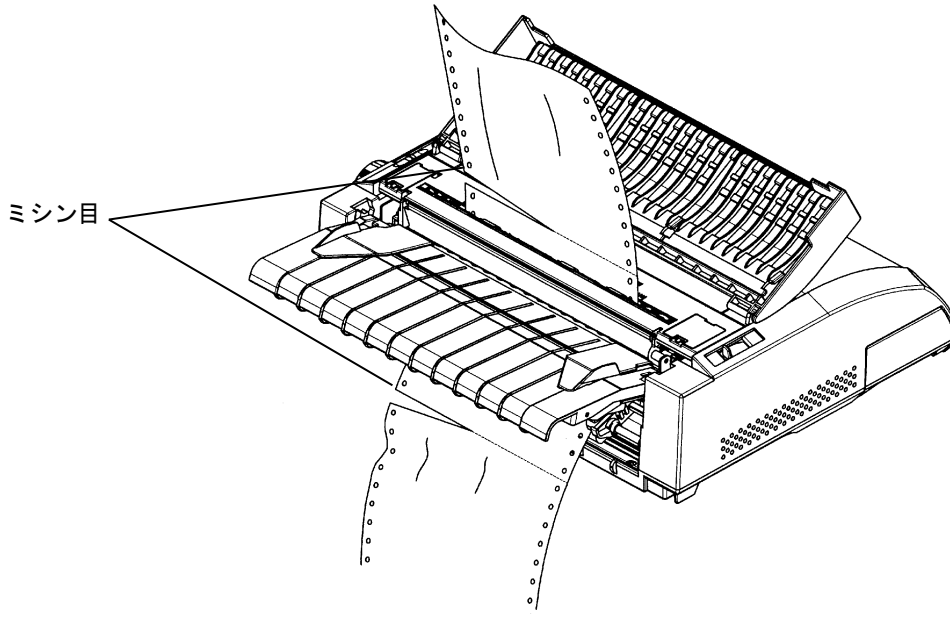
ローラーA を 2〜3 回転まわし、リボンがスムーズに送られることを確認してください。

8 使用済のリボンとインクカートリッジは、袋などに入れて廃却する

用紙づまりのとき

■ 連続帳票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、静かに取り除きます。
まず、はじめに取り出しやすいように連続帳票用紙をミシン目でカットします。



その後、用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 用紙の入口付近での用紙づまり

1 **オフライン状態にする**

（「オンライン」ランプが消灯している状態です。）

2 **用紙送りトラクターのロックレバーを解除して用紙押さえを開き、用紙を取り除く**

◆　印字ヘッドとプラテンの間での用紙づまり

微小改行（27 ページ参照）を行って、用紙を取り除きます。
それでも用紙が取り除けないときは、次の処置を行います。

1　プリンターの電源を切る

2　プラテンを逆方向に回して用紙を取り出す

◆　用紙の出口付近での用紙づまり

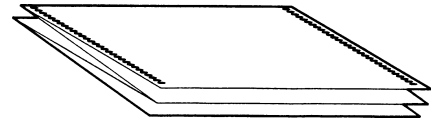
1　プリンターの電源を切る

2　用紙送りトラクターのロックレバーを解除し、用紙押さえを開く

3　用紙厚調整レバーを“D”の位置にセットする

4　用紙が取り出しやすいように印字ヘッドを動かし、用紙を取り除く

・ この方法で用紙が取り除けないときは、連続帳票用紙 4 枚を重ねたものを用紙送りトラクターにセットし、プラテンを正方向に回して用紙を取り除きます。
このとき、印字ヘッドが用紙の中央部にくることを確かめてから行ってください。



⚠注意

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。

■ 単票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、静かに取り除きます。

用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 用紙の入口・出口付近での用紙づまり

1 オフライン状態にする

（「オンライン」ランプが消灯している状態です。）

2 微小改行（27 ページ参照）を行って、用紙を取り除く

◆ 印字ヘッド付近での用紙づまり

1 プリンターの電源を切る

2 用紙厚調整レバーを“D”の位置にセットする

3 フロントカバーを開ける

4 印字ヘッドを、用紙が取り出しやすいように移動する

⚠注意

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。

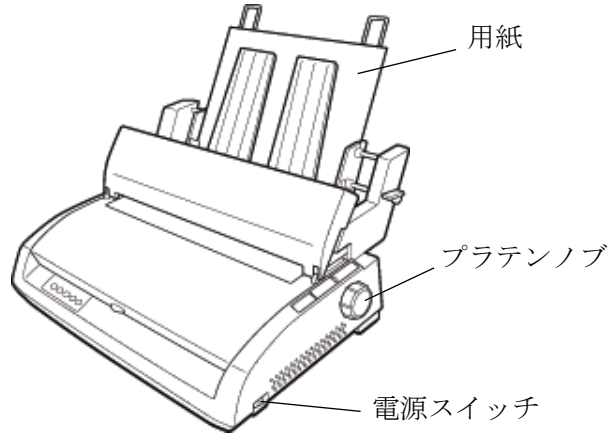
5 用紙を取り除く

カットシートフィーダー ご使用での紙づまりの取り除き方

■ 用紙がカットシートフィーダー内に見えている場合

1 プリンター装置の電源を「OFF」にする

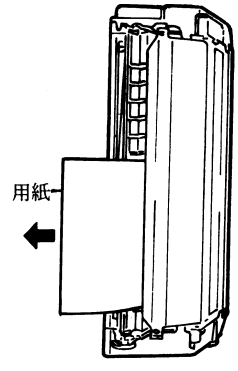
2 プラテンノブを回しながら用紙を上へ静かに引き抜く



■ 内部で紙づまりを起こした場合

1 プリンター装置の電源を「OFF」にし，カットシートフィーダーをプリンター装置から取り外す

2 カットシートフィーダーを立てて，用紙を静かに引き抜く



プリンターがうまく動かないとき

プリンターが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。
故障とお考えになる前に簡単な点検で解決する場合がありますので，下表の項目について確認してください。
処置を行っても機能が回復しない場合は、当社 プリンター相談窓口にご相談ください。

■　電源投入時の不具合

電源を投入すると、操作パネルのランプが点灯し、各部機構の位置決め動作と自己診断を行います。その際の異常動作に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
電源を投入後「電源」ランプが点灯せず、プリンターが動作しない。	電源コードの接続が正しくありません。	プリンターの電源を切り、電源コードの接続を確かめてください。（「電源コードの接続」16 ページ参照）
電源を投入後、いったん「電源」ランプが点灯するが消灯する。	電圧異常を検出し、電源が自動的に停止しました。	電源を切って、5 分間放置後、再度電源を投入し、再現する場合は、修理を依頼してください。
電源投入後「用紙切れ」ランプが点滅する。	用紙やリボンが印字ヘッドにひっかかっているため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作（イニシャル動作）が正常にできません。	電源を切って、印字ヘッドにひっかかっているものを取り除いてください。
	印字ヘッドを固定している輸送用固定材が取り外されていないため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作（イニシャル動作）が正常にできません。	電源を切って、輸送用固定材を取り外してください。 （「輸送用固定材の取外し」11 ページ参照）
	モーターやセンサー、回路の故障、その他を検出しました。	電源を切って、再度電源を投入し、再現する場合は、修理を依頼してください。
電源投入後「電源」ランプ以外が消灯。	フロントカバーが開いています。（カバーオープンを検出しました）	フロントカバーを閉じてください。 再現する場合は、修理を依頼してください。

■　単票用紙吸入時の不具合

単票用紙吸入がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	プリンターがオンライン状態です。	**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にしてください。
	連帳単票切替えレバーが「連帳」側になっています。	連帳単票切替えレバーを「単票」側にして下さい。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンターの状態が紙有り状態となっています。	**用紙セット**スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	機能設定で『オートローディング』が「無効」になっています。	**用紙セット**スイッチを押して吸入させるか、機能設定を変更してください。
	用紙検知部分で用紙に綴じ穴等の穴があいています。	**用紙セット**スイッチを押して吸入してください。
	連帳用紙が印字開始位置まで送られています。	連帳用紙を退避位置まで後退させてください。
吸入途中で用紙がつまる。	用紙厚調整レバーの設定が正しくありません。	用紙厚調整レバーを正しく設定して下さい。
	用紙の仕様が合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。（「第 4 章 用紙について」71 ページ参照）
	用紙の先端の折れ、曲がりがあります。	折れたり、曲がったりしている用紙は使用しないでください。
吸入後用紙切れランプが点灯したままである。	印字ヘッドの用紙センサーが用紙を検出できなくなりました。	用紙センサーを清掃してください。（「清掃のしかた」111 ページ参照）
	プレプリントによりセンサーが誤検出しています(プレプリントのない用紙は問題無い)。	プレプリントに関しては、「プレプリント用紙を使用するとき」(86 ページ)を参照してください。

■　連帳用紙吸入時の不具合

連帳用紙がうまく吸入できない場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	プリンターがオンライン状態であります。	オンラインスイッチを押してオフライン状態にしてください。
	連帳単票切替えレバーが「単票」側になっています。	連帳単票切替えレバーを「連帳」側にして下さい。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンターが紙有り状態となっています。	用紙セットスイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	単票用紙が印字開始位置まで送られています。	単票用紙を排出してください。
吸入途中で用紙づまりとなる。	左右のトラクター間で用紙が弛んでいます。	左右のトラクター間隔を軽く用紙が張る程度に調整してください。
	トラクターへ連帳用紙をセットするとき、左右で穴がズレています。	正しくセットし直してください。
	用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがあります。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
	用紙厚調整レバーの設定が正しくありません。	用紙厚調整レバーを正しく設定して下さい。
	用紙の仕様が合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。（「第 4 章　用紙について」71 ページ参照）
	印字済みの用紙が残っています。	印字済みの用紙を手で取り除いてください。

■　印字中の問題点

印字中の問題点に対する対処方法を説明します。

現象	原因	処置
印字が始まらない。	「オンライン」ランプが消えています。	オンラインスイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
オンライン状態であるのに、印字できない。	プリンターケーブルの接続に問題があります。	プリンターの電源を切り、プリンターとパソコンをつなぐプリンターケーブルの接続を確かめてください。（「パソコンとの接続」13 ページ参照）
印字音はするのに印字しない。	リボンカセットを取り付いていません。	リボンカセットを取り付けてください。（「リボンカセットを取付ける」17 ページ参照） リボンカセットが取り付けてあるのに印字しないときは、印字ヘッドとリボンガイドの間にリボンが入っているかどうかを確かめてください。
プリンター動作中に「用紙切れ」ランプが点滅し、プリンターが停止した。	印字ヘッドの左右動作に異常が発生しました。 〈要因〉 1. 段差のある用紙を使用している。 2. 紙厚設定が正しくない。 3. 用紙つまりが発生した。 4. リボンが印字ヘッドに引っかかった。	電源を切って、用紙仕様、紙厚設定を見直してください。
全く異なる印字結果が出力される。（不正な文字・記号が印字されたり、ブザーが鳴動するなど）	印字中にエラーが発生した場合、エラーを解除しないで、そのまま再印字を行ないました。	印字中にエラーが発生した場合、操作パネルで“リセット”を実行するかプリンターの電源を一旦 OFF してから次の印字を行ってください。
用紙が途中でスリップする。	排紙用ローラーとプラテンローラーに紙粉がついています。	電源を切って、排紙用ローラーとプラテンローラーを清掃してください。（「清掃のしかた」111ページ参照）

■　印字結果の問題点

印字結果の問題点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
リボン汚れが出る。	用紙厚調整レバーが正しくセットされていません。（適正値に対して狭くなっている。）	使用している用紙に合わせて正しくセットしてください。（「用紙厚を調整する」67 ページ参照）
	リボンカセットの交換時期が近づいています。リボン生地の波うちが激しくなっています。	新しいリボンカセットと交換してください。（「リボンカセットを交換する」93ページ参照）
縦棒のつなぎの左右方向にズレが大きい（行間ズレが大きい）。	用紙厚調整レバーが正しくセットされていない（適正値に対して狭くなっている）ため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっています。	使用している用紙に合わせて正しくセットしてください。（「用紙厚を調整する」67 ページ参照）
	行間ズレ調整が正しくありません。	「行間ズレを直す」（38 ページ）を参照し、行間ズレを直してください。
印字がうすい。	用紙厚調整レバーが正しくセットされていません。（適正値に対して広い）	使用している用紙に合わせて正しくセットしてください。（「用紙厚を調整する」67 ページ参照）（狭めに設定し直してください。）
	リボンカセットの交換時期が近づいています。リボン生地の印字跡部の黒さが薄くなっています。	新しいリボンカセットと交換してください。（「リボンカセットを交換する」93ページ参照）
	印字ヘッドの交換時期が近づいています。	印字ヘッドを交換してください。当社 プリンター相談窓口にご連絡ください。
印字を構成するドットが横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	印字ヘッドを交換する必要があります。当社 プリンター相談窓口にご連絡ください。
印字の下の部分が欠ける。	リボンカセットが正しく取り付けられていません。	印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。（「リボンカセットを取り付ける」17 ページ参照）
印字が所々でよじれたように欠ける（用紙を変えても発生する）。	リボンがたるんだり、よじれたりしています。	印字を中止して、リボンカセットを点検してください（リボンつまみを回してリボンのよじれが無いか確認します）。

■　印字位置の問題点

印字位置に問題点がある場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
印字開始位置が上、または下にズレる。	用紙のバラツキにより、印字位置がわずかにズレます。	印字開始位置を調整してください。（「印字開始位置について」69 ページ参照）
	プリンタードライバーでの余白の設定、プリンターの上端余白の設定がアプリケーションに適合していません。	アプリケーションに合わせて、プリンタードライバーの給紙方法、余白量設定、プリンターの機能設定を正しく設定してください。
	ソフトウェアによっては上端余白の設定を変更する必要が有ります。	アプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。
	用紙上端のプレプリント禁止領域にプレプリントがあります。	プレプリントを修正するか、吸入後用紙の位置合わせを行なって印字してください。

■　印字位置がページによってズレる

印字位置がページによってズレる場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
連続用紙の印字位置がページによってズレる。	用紙の仕様が合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。（「第 4 章　用紙について」71 ページ参照）
	連続用紙の置きかたが悪く、正しく搬送できません。	連続用紙は給紙口の下に置き、斜めになったり、途中に引っかかりのない様にしてください。また、箱からスムーズに引きだされない用紙は、箱から出して設置してください。（「連続帳票用紙の置きかた」53 ページ参照）
	用紙のページ長さと、ソフトウェアのページ長設定値が異なっています。	ソフトウェアのページ長指定に合う用紙を使用してください。
	用紙の特性により、吸入位置に対してわずかながら印字位置がずれる事があります。	機能設定の種類【補正量設定】（35 ページ参照）の値を変更してください。

■　カットシートフィーダー使用時の不具合

現象	原因	処置
カットシートフィーダーが動作しない。給紙ローラーが回転しない。	カットシートフィーダーがプリンター装置に正しくセットされていません。	カットシートフィーダーを正しくセットし直してください。
カットシートフィーダーに用紙が残っているのに用紙が吸入されない。	右と左の用紙ガイドで用紙をはさんでいます。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	用紙が厚すぎます。	仕様にあった用紙を使用してください。
	カットシートフィーダーにセットした用紙の枚数が多すぎます。	用紙の枚数を単票用紙の場合は 160 枚以内，はがきの場合は 50 枚以内にしてください（用紙ガイドの赤線以内にセットしてください）。
	用紙づまりになっています。	つまった用紙を取り除いてください。
	リリースレバーが“開”になっています。	リリースレバーを用紙の種類に合わせて，“閉”または“ハガキ”にしてください。
	プリンター装置の連帳／単票切替レバーが，「連帳」になっています。	連帳／単票切替レバーを「単票」側にしてください。
複数枚の用紙が同時に送られてしまう（ダブルフィード）。	用紙を十分にさばいていません。	用紙を十分にさばいてセットしてください。
	単票用紙セットで，リリースレバーが“ハガキ”になっています。	リリースレバーを“閉”にしてください。
	用紙が薄すぎます。 用紙に折れ，曲がりがあります。	仕様にあった用紙を使用してください。
	左右の用紙ガイドの間隔に狭すぎるか広すぎます。	用紙ガイドを用紙幅に合わせてください。
	カットシートフィーダーに用紙が不揃いの状態でセットされています。	用紙をカットシートフィーダーに正しくセットしてください。
	種類の異なった用紙が混在しています。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
紙づまりが起きる。	左右の用紙ガイドの間隔が狭すぎるか広すぎます。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	仕様以外の用紙を使っています。 用紙に折れ，曲がりがあります。	仕様にあった用紙を使用してください。
	種類の異なった用紙が混在しています。	用紙の種類は一種類にしてカットシートフィーダーへセットしてください。
	カットシートフィーダーにセットした用紙の枚数が多すぎます。	用紙の枚数を単票用紙の場合は 160 枚以内，はがきの場合は 50 枚以内にしてください（用紙ガイドの赤線以内にセットしてください）。

現象	原因	処置
紙づまりが起きる。	カットシートフィーダー内の用紙が不揃いの状態でセットされています。	用紙をカットシートフィーダー内に正しくセットしてください。
	プリンター装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていません（狭い）。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてセットしてください。
	給紙ローラー、プリンター装置の用紙送りプラテンと用紙がすべっています。	給紙ローラー、プリンター装置の用紙送りプラテンを清掃してください。
用紙が極端にかたむく。	用紙不良です。	新しい用紙を使ってください。
	左右の用紙ガイドの間隔が広すぎます。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	カットシートフィーダー内の用紙が不揃いの状態でセットされています。	用紙をカットシートフィーダー内に正しくセットしてください。
	プリンター装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていません（狭い）。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてください。
	リリースレバーの位置が正しくセットされていません。	リリースレバーを用紙の種類に合わせて“閉”または“ハガキ”にセットしてください。
行間隔が極端につまる。	プリンター装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていません（狭い）。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてセットしてください。
	給紙ローラー、プリンター装置の用紙送りプラテンと用紙がすべっています。	給紙ローラー、プリンター装置の用紙送りプラテンを清掃してください。
用紙が正常に排出されない。	スタッカーに用紙が一杯になりました。	スタッカーの用紙を取り除いてください。
	仕様以外の用紙を使っています。	仕様にあった用紙を使用してください。
	プリンター装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていません（狭い）。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてください。

■　エラー表示と対処方法

エラー発生時に点滅するランプによりアラーム内容が識別できます。
その場合の処置方法を説明します。

ランプ名 / アラーム名	用紙切れ	高速	モード	書体	オンライン	ランプの点滅回数	原　因	対処方法
LES アラーム	●		●			３回	印字キャリアホームポジション検出に失敗しました。	1. プリンターの電源を切って印字を中止してください。 注）印字を中止しない場合、正しく印字されないことがあります。 2. プリンター(給紙口、内部、排出部)の用紙を取り除いてください。 3. 印字ヘッドが冷えていることを確認し印字ヘッドを手で、両端まで動くことを確認してください。異物があった場合は、取り除いてください。 4. 電源を入れて、再度印字し直してください。
オーバーロードアラーム	●	●		●		２回	電源電圧の異常を検出しました。	1. プリンターの電源を切って印字を中止してください。 注）印字を中止しない場合、正しく印字されないことがあります。 2. 電源を入れて、再度印字し直してください。
低電圧アラーム	●	●		●		３回		
過電圧アラーム	●	●				２回		
ROM/RAM アラーム	●	●	●	●		２回	ROM/RAM の異常を検出しました。	

⚠注意

使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。
温度が下がるまで触らないでください。

お願い

対処方法の通りに処置を行っても復旧しない場合は、当社 プリンター相談窓口にご相談ください。

テスト印字をする

テスト印字は、単票及び連帳のどちらでも行えます。
ここでは、連帳用紙を使用した場合のテスト印字の手順を説明します。

1　連続帳票用紙をセットする

用紙のセットのしかたは「第 3 章 用紙のセット」（47 ページ）を参照してください。

2　電源を切る

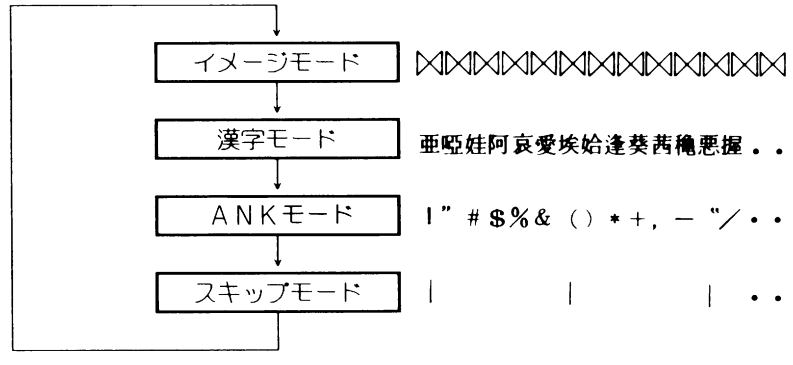
（電源スイッチが（○）側に倒れた状態になります。）

3　改行スイッチを押しながら電源を入れ、テストパターンを印字する

印字が始まる前に改行スイッチから手を離すと、連続して印字します。

● **テストモードを切り替えるとき**

印字中に印字ヘッドが左端または右端に移動したときに改ページスイッチを押すと、次の順序でテストモードが切り替わります。



【ESC/P エミュレーション】

・ 漢字モードのとき、

→ 非漢字 → 第一水準漢字 → 第二水準漢字 ┐
└──────────────────────────┘

の印字を繰り返します。

・ ANK モードのとき、高品位文字を印字します。

【FM エミュレーション】

・ 漢字モードのとき、

→ 非漢字 → 第一水準漢字 → 第二水準漢字 ┐
└──────────────────────────┘

の印字を繰り返します。

・ ANK モードのとき、ドラフト文字を印字します。

● 印字モードを切り替えるとき

高速スイッチを押します。
スイッチを押すたびに、高速印字モードと標準印字モードが交互に切り替わります。高速印字モードのときは、「高速」ランプが点灯します。

4 テスト印字中にオンラインスイッチまたは改 行スイッチを押し、テスト印字を終了する

清掃のしかた

プリンターを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

注意

一般的禁止

- 清掃の際は、必ず電源を切ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。
  プリンターの表面が変質したり、変形したりする恐れがあります。
- プリンターの内部を濡らさないでください。
  電気回路がショートする恐れがあります。
- プリンターに潤滑油を補給しないでください。
  プリンターの故障の原因となる場合があります。
  潤滑油の補給が必要な場合は、当社 プリンター相談窓口にご連絡ください。

清掃は、次の手順で行います。

1 **プリンターの電源を切り、電源コンセントを抜く**

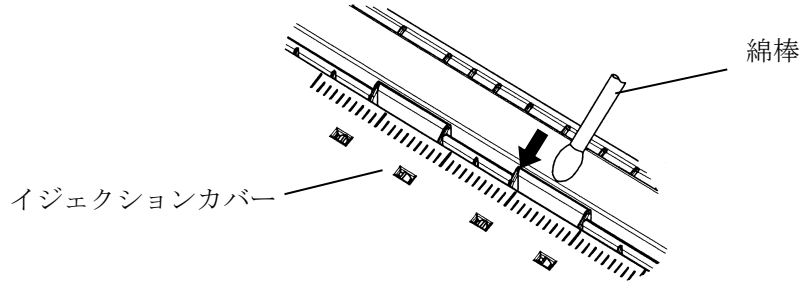
2 **リアカバーを取り外し、フロントカバーを開ける**

3 **プリンター内部を拭く**

中性洗剤を薄めた水に、清潔な柔らかい布を浸し、よく絞って、プリンター内部やフロントカバーの内側を拭きます。

但し、プラテンなどのゴムローラーは乾拭きをしてください。

また、排紙用ローラーは下図のように乾いた綿棒などで清掃してください。



排紙用ローラーの清掃のしかた

4 **リアカバーを拭く**

5 **リアカバーを取り付けて、電源を入れる**

プリンターを輸送するとき

プリンターを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。

1. プリンターの電源を切る
   （電源スイッチが（○）側に倒れた状態になります。）
2. 用紙を取り去り、リアカバーを取り外す
3. プラグを電源コンセントから抜いて、プリンターケーブルをプリンターから取り外す
4. リボンカセットを取り外す（93ページ参照）
5. リアカバーを包装する
6. 印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける
7. 用紙厚調節レバーを、“D”目盛りに設定する
8. プリンターを衝撃から守るため、梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れる

プリンタードライバーの入手方法

プリンタードライバーは、当社ホームページからダウンロードすることができます。当社ホームページではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。

下記に示した URL よりプリンタードライバーをダウンロードしてください。

https://www.fujitsu.com/jp/group/fit/

ガイド

- 上記 URL は、本マニュアル発行時現在のものです。
- 当社ホームページをご利用になる際は、Web ブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
- 添付の CD-ROM には、製品出荷時での最新版プリンタードライバーが収められており、当社ホームページからダウンロードできるものと同一の可能性があります。
  お使いのプリンタードライバーのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

消耗品の廃却について

使用済みの消耗品は、法令・条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします。
お客様が処理業者に処理を委託する場合で、（財）日本産業廃棄物処理振興センターが発行する伝票（産業廃棄物マニュフェスト）への記載が必要となった場合に、下記に本消耗品の種類・特性などを示しますので、伝票記載時の参考にしてください。

産業廃棄物処理マニュフェスト情報

消耗品内訳	マニュフェスト情報			
名称	種類	形状	重金属等有無	特性
リボンカセット	廃プラスチック	固形	無し	―

アフターサービス

- 本製品に添付されている『**お客様登録カード**』にご記入の上、必ずご返送ください。ご返送くださったお客様に「保証書」を送付いたします。
- 「保証書」をお持ちのお客様には、保証書の規定による本製品の**無償修理サービス**（お買い上げ日より６ヶ月間に限ります。詳細につきましては、「保証書」をご覧下さい。）を実施させていただきます。
- プリンターのご使用にあたっては、純正サプライ用品の使用をお奨めします。非推奨品の使用が原因で不具合や故障が発生した場合は、無償保証期間内や保守契約期間内であっても有償修理となりますので、ご注意ください。
- 補修用部品の保有期間は製造打ち切り後５年です。
- 操作および機能についての不明な点や修理については、以下へご相談ください

富士通アイソテック株式会社　プリンター相談窓口

〒960-0695　福島県伊達市保原町東野崎 135

TEL (024)574-2263　　FAX (024)574-2382

https://www.fujitsu.com/jp/group/fit/

お問い合わせ電話番号	お問い合わせ受付時間
故障・修理に関するお問い合わせ 0120-106-722	月曜日 － 金曜日　9：00 － 17：00 土、日、祝祭日、夏季、年末年始は休ませていただきます。 （当社都合により、これら以外に休ませていただく場合がございます。）
その他（保守サービス申込を含む）のお問い合わせ 024-574-2263 024-574-2382（FAX）	

第 6 章

オプション

この章では、オプションの取付け、取外しおよび使用方法について説明します。

オプションの概要 ····· 116
カットシートフィーダー使用上のご注意 ····· 117
カットシートフィーダーの搭載方法 ····· 118
カットシートフィーダー仕様 ····· 120
LANカードのご使用方法 ····· 121
LANカード搭載方法 ····· 122
LANカードの取り外し ····· 124

オプションの概要

◆ カットシートフィーダー

fit3250 プリンターオプションである別売のカットシートフィーダーは、セットした単票用紙を１枚ずつプリンターへ送り出し、印字した用紙をスタッカーへ排出するユニットです。
更に，A3 横長サイズまでの用紙を，手挿入口からプリンターの印字位置まで手差しでセットして，一枚ずつ印字することもできるようになっています。
このプリンターでは、カットシートフィーダーを取り付けたまま、連続帳票用紙を使用できます。ただし、この場合は、連続帳票用紙を先にセットしておくことをおすすめします。連続帳票用紙を使用するときは，リリースレバーを“開”にしてください。

品　名	型　名	備　　考
カットシートフィーダー	FIT3200CSF	カットシートフィーダーをプリンターに取り付けると､複数枚の単票用紙がセットできます。

⚠注意

一般的禁止

カットシートフィーダーを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。

⚠注意

一般的注意

カットシートフィーダーの上部を手で押さないでください。
強く押すと、プリンターが倒れることがあります。

◆ LAN カード(PR-LN1)

100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境に対応した LAN カードです。
プリンターの側面に取り付けて使用します。
LAN カードは、fit3250 のみ使用可能です。

⚠ 警告

感　電　オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
感電・火災または故障の原因となります。

カットシートフィーダー使用上のご注意

1）カットシートフィーダーを使用して「逆改行コマンドおよび，それに類するコマンド（用紙を逆方向へ送るコマンドおよび，逆方向送り動作が含まれるコマンド）」で印字した場合は，用紙送りの精度が悪くなるばかりでなく，用紙の送り不良になることがあります。
2）設置は，直射日光の当たる場所を避けてご使用ください。
3）用紙は，温度，湿度などの影響を受け易く，安定した用紙送りへ悪影響を及ぼすため，保管も含め常温常湿のもとでご使用ください。

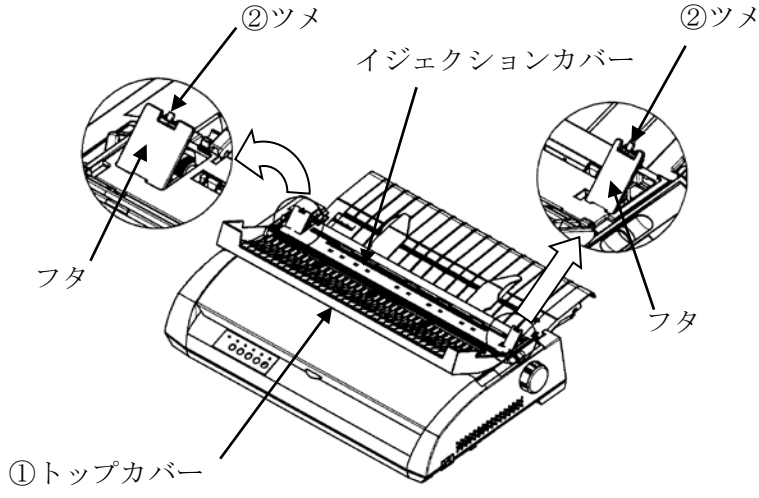
カットシートフィーダーの搭載方法

カットシートフィーダーの搭載は、次の手順で行います
なお、カットシートフィーダーの組立および装着手順は、カットシートフィーダーの取扱い説明書を参照してください。

1　プリンター装置の電源が OFF になっていることを確認する

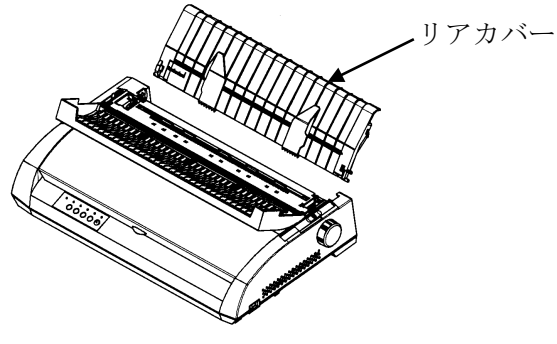
2　プリンターのイジェクションカバーの左右のフタを取り外す

① トップカバーを開けます。
② イジェクションカバー左右のフタを後側からツメを押しながら上部へ取り外します。（イジェクションカバー左右のフタは，カットシートフィーダーを取り外した時に再び使用するのでなくさないようにしてください。）



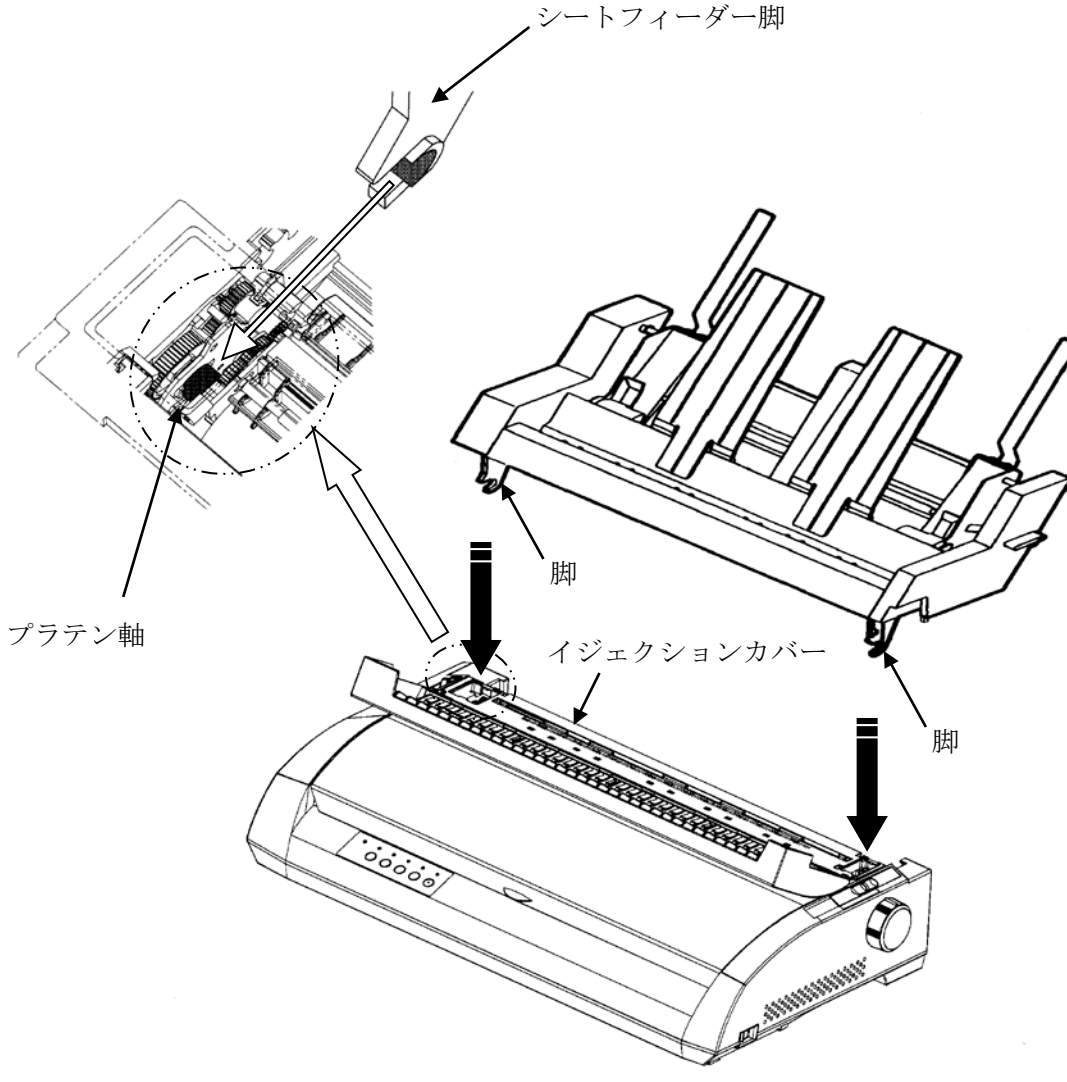
3　リアカバーを外す

リアカバーを手前に起こしながら外します。



4 カットシートフィーダーをプリンターに搭載する

イジェクションカバーの穴部にカットシートフィーダーの脚を差し込み、プラテン軸に挟み込みます。　カットシートフィーダーをやや手前に傾けて差し込み，脚が軸に載ったら水平に戻します。

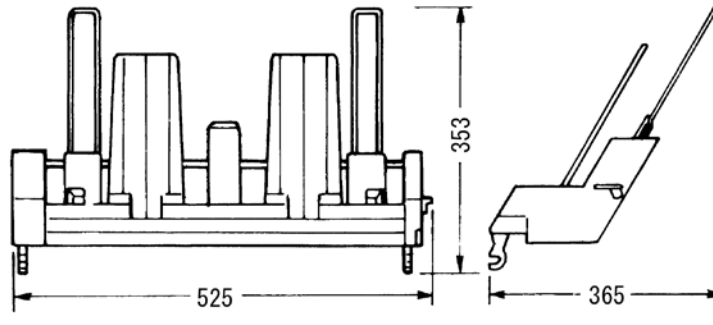


カットシートフィーダー仕様

		カットシート フィーダー (FIT3200CSF)
使用可能用紙サイズ 注 1)	用紙幅	182～364mm
	用紙長	182～364mm
用紙収容量 注 2)	給紙側	160 枚
	スタッカー側	160 枚
外形寸法		525(W)×365(D)× 353(H)mm
重量　(非梱包状態)		2.4Kg

注1) 詳細は、第 4 章「用紙について」(71 ページ)を参照してください。
注2) A4 サイズ連量 55Kg の未印字用紙の場合です。
注3) FIT3200CSF1 と FIT3200CSF2 を装着した場合の寸法です。

（２）装置外観図



LAN カードのご使用方法

別売の LAN カードをプリンター側面にとりつけて使用することにより、100BASE-TX/10BASE-T の高速ネットワーク環境でのプリンター共有が可能になります。
LAN カード搭載時は、パラレルインターフェイスおよびUSB インターフェイスとの同時接続はできません。
LAN カードは、fit3250 のみ使用可能です。

品　名	型　名	備　　考
LAN カード	PR-LN1	プリンターに取り付けると、ネットワーク環境で直接印字できます。

⚠注意

LAN カードを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。

⚠注意

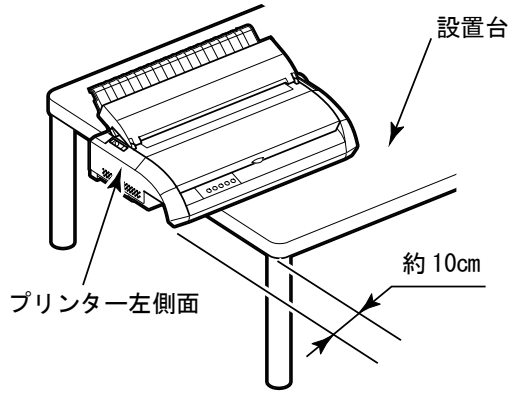
LAN カードを取り付け/取り外しするときに、LAN カード取り付け用ネジ以外は緩めたり取り外したりしないでください。

LAN カード搭載方法

LAN カードの搭載は次の手順で行います。
なお、取り付け後のネットワーク接続については、LAN カードのオンラインマニュアルを参照してください。

1　プリンター装置の電源が OFF になっていることを確認する

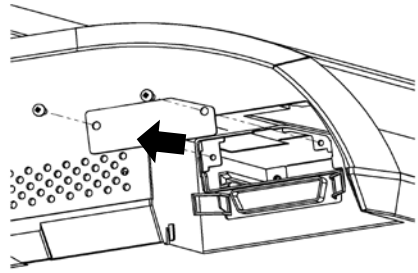
2　下図のように設置台の端からプリンターの左側面部を 10cm ほどはみ出す位置にプリンターの位置を移動する



シャッターの取り外し、取り付けは、15 ページの「シャッターの取り外し・取り付け」を参照してください。

3　プリンターのオプションインターフェイスカバーを外す

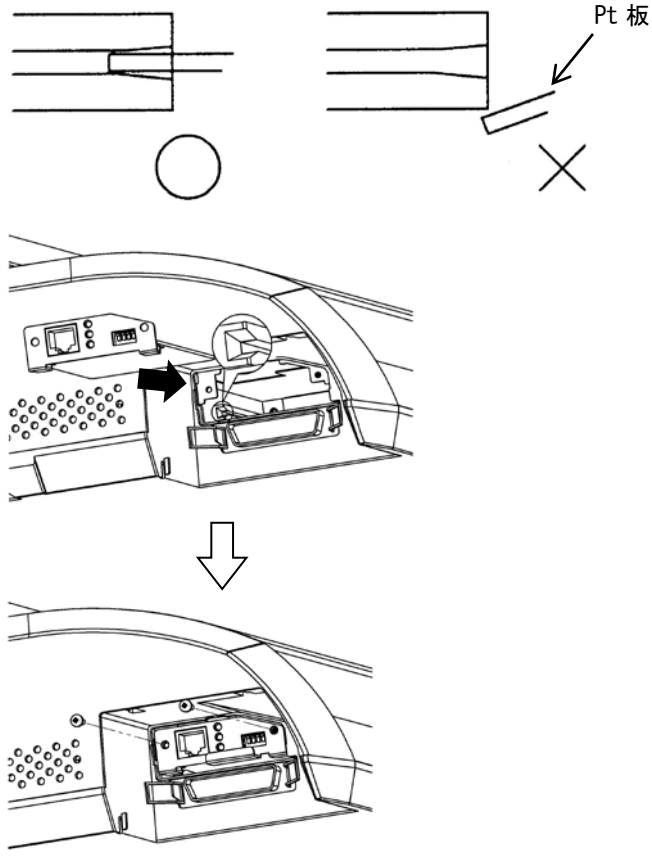
固定ネジの取り付けはプラスドライバーにて行ってください。
取り外したオプションインターフェイスカバーは、保管しておいてください。



⚠注意

ネジやインターフェイスカバーを、プリンター内部に落さないでください。

4　取り付け口のガイドに従って、LAN カードを差し込み、取り付ける。



5　プリンターの電源が OFF になっていることを確認し、電源コードを差し込む

6　LAN ケーブルを接続して、プリンターを元の位置に戻す

⚠注意

プリンター本体の基板の一部が高温になっていることがありますので注意してください。
また、故障の原因になりますので基板には手を触れないでください。

LAN カードの取り外し

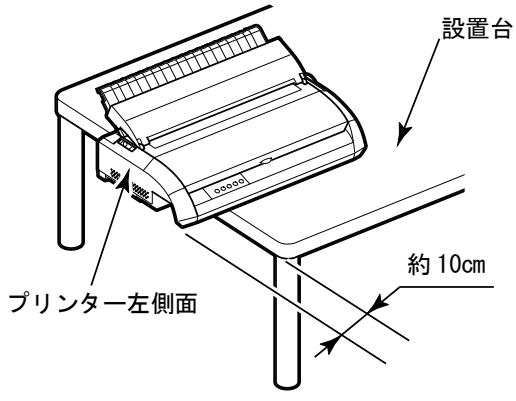
LAN カードの取り外しは次の手順で行います。

⚠注意

電源が入っている状態で LAN カードを取り外すと、故障の原因になることがあります。

1　プリンター装置の電源が OFF になっていることを確認する

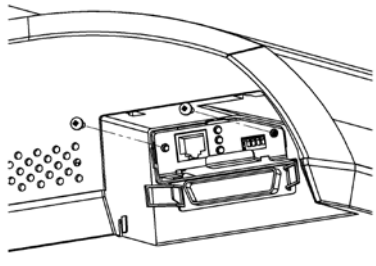
2　下図のように設置台の端からプリンターの左側面部を 10cm ほどはみ出す位置にプリンターの位置を移動する



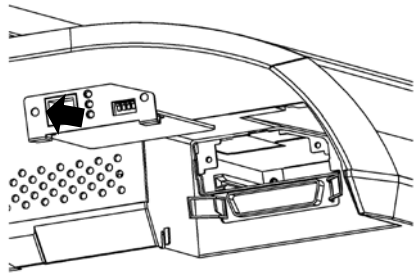
シャッターの取り外し、取り付けは、15 ページの「シャッターの取り外し・取り付け」を参照してください。

3　LAN カードの固定ネジを外す

固定ネジの取り外しはプラスドライバーにて行ってください。

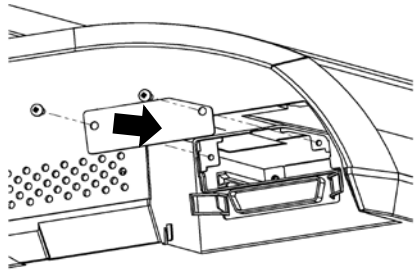


4　下図矢印付近を持って、本製品を取り外す



5　プリンターのオプションインターフェイスカバーを取り付ける

固定ネジの取り外しはプラスドライバーにて行ってください。



6　プリンターを元の位置に戻す

⚠注意	高温注意	プリンター本体の基板の一部が高温になっていることがありますので注意してください。 また、故障の原因になるので基板には手を触れないでください。

⚠注意	一般的注意	ネジやインターフェイスカバーを、プリンター内部に落さないでください。

付 録

プリンターの概略仕様 ····· 128
外観図 ····· 131
　標準外観図 ····· 131
　カットシートフィーダー（オプション）
　　取付け時の外観図 ····· 132
テスト印字サンプル ····· 133
　ESC/Pモード ····· 133
　FMモード ····· 134
インターフェイス仕様 ····· 135
　パラレルインターフェイス ····· 135
　USBインターフェイス ····· 142
ESC/Pモードの制限事項 ····· 143
初期状態 ····· 144
　ESC/Pエミュレーションモード ····· 144
　FMエミュレーションモード ····· 147
コマンド一覧表 ····· 149
　ESC/Pモードコマンド一覧表 ····· 150
　FMモードコマンド一覧表 ····· 155
　バーコード指定コマンド ····· 163
　バーコードスペース幅微調整コマンド ····· 170
文字コード一覧表 ····· 171
　ESC/Pモード文字コード一覧表 ····· 171
　FMモード文字コード一覧表 ····· 173
非漢字一覧表 ····· 174
JIS-90第一水準漢字一覧表 ····· 179
JIS-90第二水準漢字一覧表 ····· 182
　ご注意 ····· 185

プリンターの概略仕様

● **印字方式**　24 ワイヤドットマトリックス

● **印字速度**

単位：文字／秒

印字モード	印字速度
漢字（27/180 インチ）	75
漢字高速（27/180 インチ）	149
ANK レギュラー（パイカ）	112
ANK レギュラー（エリート）	134
ANK レギュラー高速（パイカ）	224
ANK レギュラー高速（エリート）	268
ANK ドラフト（パイカ）	360
ANK ドラフト（エリート）	432

注）ANK ドラフトは ESC/P モードでフォントを指定する事で選択可能

● **ドット径**　0.2mm

● **ドットピッチ**　1／180 インチ（縦、横共）

● **印字桁数**

	fit3150	fit3250
漢字全角	53（文字／行）	90（文字／行）
半角文字	106（文字／行）	180（文字／行）
ANK（パイカ）	80（文字／行）	136（文字／行）
ANK（エリート）	96（文字／行）	163（文字／行）
縮小文字	144（文字／行）	244（文字／行）

● **文字構成**

漢字全角　：24(横)×24(縦)ドット
半角文字　：12(横)×24(縦)ドット
ANK（FM）　：13(横)×19(縦)ドット
ANK（ESC/P）：36(横)×24(縦)ドット
縮小文字　：　7(横)×19(縦)ドット

● **印字動作**　両方向最短距離印字

● **イメージ印字**

		fit3150	fit3250
FM モード	行ドット数	1440	2448
	最小縦・横ドット間隔	180 ドット/インチ	
	改行	180 ドット/インチ×n	
ESC/P モード	行ドット数	2880	4896
	最小縦・横ドット間隔	360 ドット/インチ	
	改行	360 ドット/インチ×n	

注）n はプログラム設定による

● **用紙送り**　用紙送り方式 ： 押込みトラクター方式 連続帳票用紙）
フリクション方式(単票用紙)
改行間隔 ： 1／180 インチ×n (FM モード時)
1／360 インチ×n (ESC/P モード時)
(n はプログラム設定による)
改行速度 ： 約６０ｍｓ以下(1/6 インチ改行時)

● **使用環境**　温　度 ： 稼働時　5～35℃
非稼働時　－15～60℃
湿　度 ： 稼働時　30～80%RH
非稼働時　5～95%RH
（ただし、結露しないこと。
湿度勾配 30%RH／日以下）

● **インターフェイス**　IEEE1284 双方向パラレルインターフェイス
USB2.0 インターフェイス

● **電源仕様**　入力電源種別 ： 商用単相
電源電圧 ： AC100V±10%
電源周波数 ： 50／60±1Hz ＋2%,－4%

● **消費電力**

	fit3150	fit3250
平均	70W	
最大	180W	
待機時	10W 以下	28W 以下
電源 OFF 時	0W	

● **外形寸法**　fit3150 ：415mm (幅) ×330mm (奥行) ×120mm (高)
fit3250 ：570mm (幅) ×330mm (奥行) ×120mm (高)

● **重量**　fit3150 ：約 7.5 kg
fit3250 ：約 9.7 kg

● **稼働音**　50dB(A)

● **リボン**

種　類　：エンドレスリボンカセット
（リボンカセットインク補給型）

リボン寿命　：黒リボン
500 万字（ANK ドラフト文字）
80 万字（漢字印字）

注）上記の寿命は、製造後 2 年以内ものを下記の環境で保存した場合に保証する値です。
温度　－10～50℃
湿度　20～90%RH

● **耐用期間**

プリンター装置　：　５年
（電源の通電条件：８時間/日以内）
または、５００万改行
（いずれか早い方）

・耐用期間はプリンターの設置環境、使用頻度により大幅に変動します。
・24 時間通電による運用の耐用期間は 1/3 に減少します。

印字ヘッド　：3 億打／ピン

注）黒率の高い印字を連続して行うと、印字ヘッドの寿命を縮める原因となります。

● **制限事項**

連続改行　LF モータ劣化防止のため、連続改行、連続改ページ動作は 3 分間以上行なわないでください。

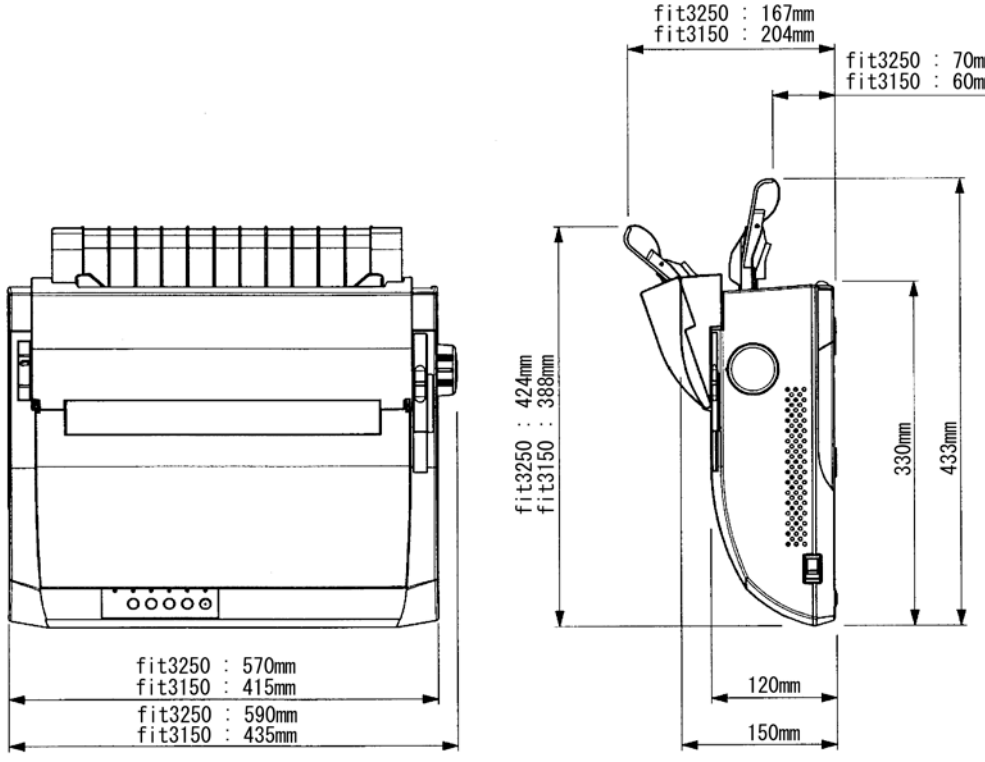
スペース動作　スペースモータ劣化防止のため、5 桁以下（パイカピッチ）の連続印字または、スペース動作は 5 分間以上行わないでください。

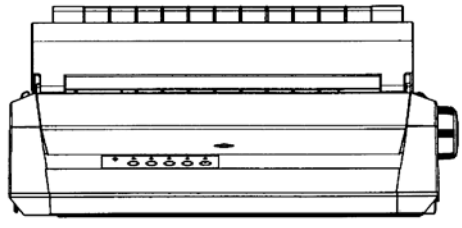
連続印字動作　印字ヘッド劣化防止のため、50%デューティー以上のパターン印字は、5 分間以上行わないでください。

逆改行動作　単票用紙での下端 16mm 以内及び連続帳票用紙での下端 85mm 以内での逆改行は行わないでください。

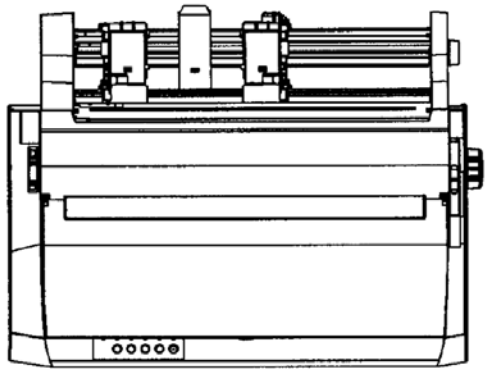
外観図

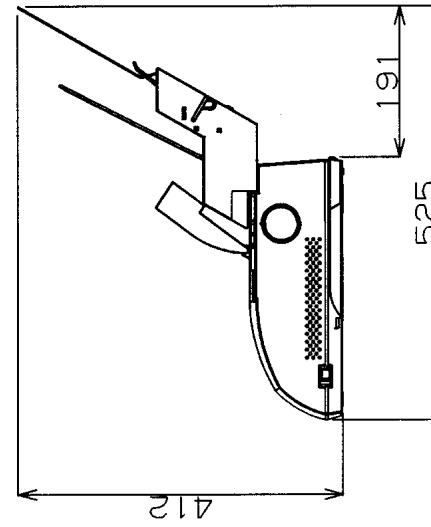
■　標準外観図

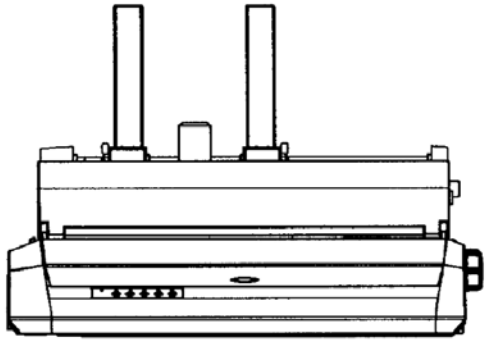

fit3250 : 167mm
fit3150 : 204mm
fit3250 : 70mm
fit3150 : 60mm
fit3250 : 424mm
fit3150 : 388mm
330mm
433mm
fit3250 : 570mm
fit3150 : 415mm
fit3250 : 590mm
fit3150 : 435mm
120mm
150mm



■　カットシートフィーダー（オプション）取付け時の外観図







テスト印字サンプル

■ ESC/P モード

```
726-518601A     20040309

LOG ; 32 00 00 00 00 00 00

00 00 00 00 02 02 02 00 00 00 00 00 00 00 00 00 01 01 03 01
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 01 00 01 00 00
03 03 04 03 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 01 01 00 00 00 00
00 00 00 00 00 06 05 00 01 01 02 00 00 00 00 55 55 DC DC 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 B8 32 00 00 00 00 00 00 03 63 00
FA FB FB 00 08 06 06 00 00 00 00 00 FE 00 00 00
00 00 08 06 06 00 00 00 47 62 00 00
```

```
、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ
〃 仝 々 〆 〇 ― ― ／ ＼ ～ ‖ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔
〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ － ± × ÷ ＝ ≠
＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％ ＃ ＆ ＊ ＠ §
☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ ￣
                ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩
                ∧ ∨ ¬ ⇒ ⇔ ∀ ∃                         ∠
⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≒ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬                         Å
‰ ♯ ♭ ♪ † ‡ ¶             ○
                0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
W X Y Z                 a b c d e f g h i j k l
m n o p q r s t u v w x y z             ぁ あ ぃ い
 !"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_｀
"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_｀a
#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_｀ab
$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_｀abc
%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_｀abcd
```

■ FM モード

```
726-518601A      20040309

LOG ; 32 00 00 00 00 00 00

00 00 00 00 01 01 02 00 00 00 00 00 00 00 00 00 01 01 03 01
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 01 00 01 00 00
03 03 04 03 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 01 01 00 00 00 00
00 00 00 00 00 06 05 00 01 01 02 00 00 00 00 55 55 DC DC 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 BA 32 00 00 00 00 00 00 07 DF 00
FA FB FB 00 08 06 06 00 00 00 00 00 FE 00 00 00
00 00 08 06 06 00 00 00 47 62 00 00
```

```
、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ
〃 仝 々 〆 〇 ― ― ‐ ／ ＼ ～ ∥ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔
〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ － ± × ÷ ＝ ≠
＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％ ＃ ＆ ＊ ＠ §
☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ ￣ ― ｜
┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼ ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩
∧ ∨ ¬ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∠
⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≒ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å
‰ ♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
W X Y Z a b c d e f g h i j k l
m n o p q r s t u v w x y z ぁ あ ぃ い
 !"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`
"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`a
#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`ab
$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`abc
%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcd
```

インターフェイス仕様

■ パラレルインターフェイス

◆ 基本仕様

IEEE 1284 に準拠した双方向パラレルインターフェイス

◆ インターフェイスコネクター

プリンター側　：レセプタクル　アンフェノール(DDK)57-40360 相当
ケーブル側　　：プラグ　　アンフェノール(DDK)57-30360 相当

◆ インターフェイスケーブル

素　材　　：7/φ0.12（AWG28 相当)以上
タイプ　　：シールド
長　さ　　：ツイストケーブル：1.5m 以下

◆ 信号レベル

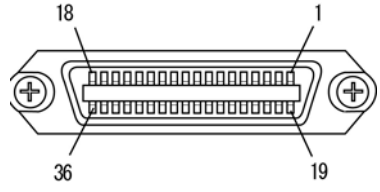
LOW　　：0.0V～＋0.4
HIGH　　：＋2.4V～＋5.0V

◆ データ転送方式

8 ビットパラレル

◆ コネクターピン配列

インターフェイスコネクター（36 ピン）



※ パソコンの BIOS 設定

本プリンターを接続するパソコンのパラレルポート設定は、必ず「Bidirectional（双方向）」にしてご使用ください。確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを参照してください。

● ESC/P モード

ピン No.	信　号	ピン No.	信　号
1	*STROBE	19	*STROBE-RET
2	DATA1	20	DATA1-RET
3	DATA2	21	DATA2-RET
4	DATA3	22	DATA3-RET
5	DATA4	23	DATA4-RET
6	DATA5	24	DATA5-RET
7	DATA6	25	DATA6-RET
8	DATA7	26	DATA7-RET
9	DATA8	27	DATA8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INIT-RET
13	SLCT	31	*INIT
14	*AUTO FEED XT	32	*ERROR
15	NC	33	SG
16	SG	34	NC
17	FG	35	NC
18	+5V	36	*SLCT IN

注 1）-RET 信号は、すべて SG に接続されています。
注 2）“*”は、負論理信号であることを示します。

・ 入力信号の説明

DATA1～8　　プリンターの受信データです。
“H”で信号あり、“L”で信号なしです。

*STROBE　　DATA1～8 を読み込むためのパルス信号です。
定常状態では“H”です。“H”から“L”になるとき、データを読み込みます。

*INIT　　プリンターを初期状態にする信号です。
初期状態については、144ページを参照してください。
“L”になるとプリンターは初期状態になります。

*SLCT IN　　DC1/DC3 を無効にする信号です。
電源投入時に“L”になっていると、DC1/DC3 コードが無効になります。

*AUTO FEED XT　　復帰改行する信号です。
“L”になっていると、CR コードを受信して復帰改行します。

・ 出力信号の説明

*ACKNLG　　*STROBE に対する応答信号です。
データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。

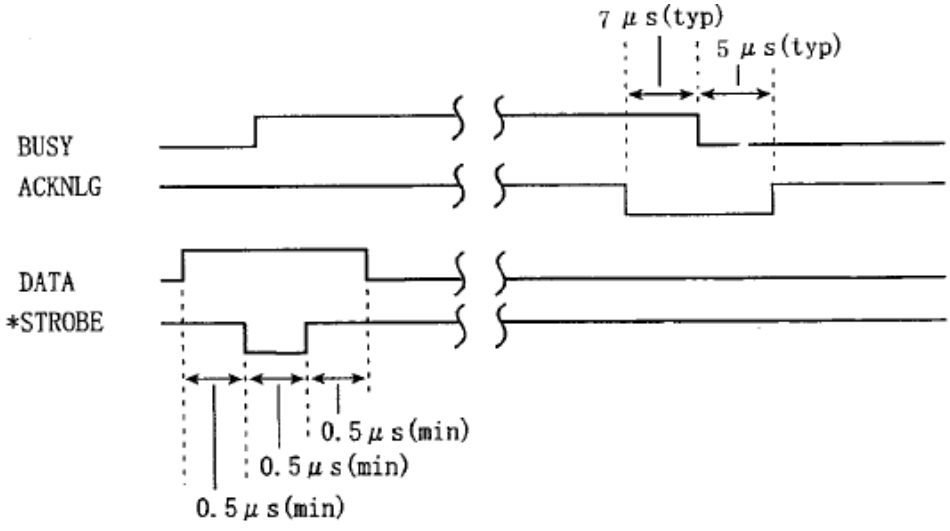
PE　　用紙切れを通知する信号です。
用紙が残り少なくなると、この信号は“H”になり、「用紙切れ」ランプが点灯します。

BUSY　　プリンターのビジー状態を通知する信号です。
この信号が“H”のとき、プリンターはビジー状態で、データは受信できません。
以下の状態のとき、この信号は“H”です。
- 受信データ処理中
- アラーム状態
- オフライン状態
- 電源投入時または*INIT 信号を受信しての初期化動作中

SLCT　　常に“H”です。

*ERROR　　アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。
この信号が“L”のときは、アラーム状態、オフライン状態です。

・ タイミングチャート



● FM モード

ピン No.	信　号	ピン No.	信　号
1	*DSTB	19	*DSTB-RET
2	DATA 1	20	DATA 1-RET
3	DATA 2	21	DATA 2-RET
4	DATA 3	22	DATA 3-RET
5	DATA 4	23	DATA 4-RET
6	DATA 5	24	DATA 5-RET
7	DATA 6	25	DATA 6-RET
8	DATA 7	26	DATA 7-RET
9	DATA 8	27	DATA 8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INPRM-RET
13	SLCT	31	*INPRM
14	±0V(RINF1)	32	*FAULT
15	OSCXT(RINF2)	33	LD(RINF3)
16	SG	34	*EXPRM
17	FG	35	NC
18	+5V	36	SG

注 1）-RET 信号は、すべて SG に接続されています。
注 2）（　）内の信号は、ステータス出力です。
注 3）“*″ は、負論理信号であることを示します。

・ 入力信号の説明

DATA1～8　　プリンターの受信データです。
“H” で信号あり、“L” で信号なしです。

DSTB　　DATA1～8 を読み込むためのストローブ信号です。
定常状態では “H” です。“H” から “L” になるとき、データを読み込みます。

*INPRM　　プリンターを初期状態にする信号です。
初期状態については、147ページを参照してください。
実行中の動作が終了した後、プリンターの初期化を行います。
定常状態では “H” です。“H” から “L” になるとき、実行中の動作を正常終了し、“L” から “H” になるとき、初期化します。
*EXPRM との相違点は、実行中の動作が終了した後初期化を行うことと、外字登録が保持されることです。

*EXPRM　　プリンターを初期状態にする信号です。
外字登録データはすべてクリアされます。
動作中でもプリンターの初期化を行います。
初期状態については、147ページを参照してください。
定常状態では“H”です。“H”から“L”になるとき、実行中の動作を中断し、“L”から“H”になるとき、初期化を開始します。

・ 出力信号の説明

*ACKNLG　　*DSTB に対する応答信号です。
データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。

PE　　用紙切れを通知する信号です。
用紙が残り少なくなると、この信号は“H”になり、「用紙切れ」ランプが点灯します。
オンライン状態のときに、プリンター内に用紙がなくなり、プリンター動作コマンドを受信すると、動作終了後、オフライン状態になり、ブザーが鳴動します。
上記の状態で用紙を新しくセットすると、この信号は“L”になり、「用紙切れ」ランプが消灯します。
このとき、DC1 コードは無効です。
この後、オンラインを押すと、オンライン状態に戻ります。(エラーが無い場合)

BUSY　　プリンターのビジー状態を通知する信号です。
この信号が“H”のとき、プリンターはビジー状態で、データは受信できません。ただし、DC3 コードによるオフライン状態のときは、DC1 コードを受信できます。
以下の状態のとき、この信号は“H”です。
- 受信データ処理中
- プリンターエラー状態
- オフライン状態

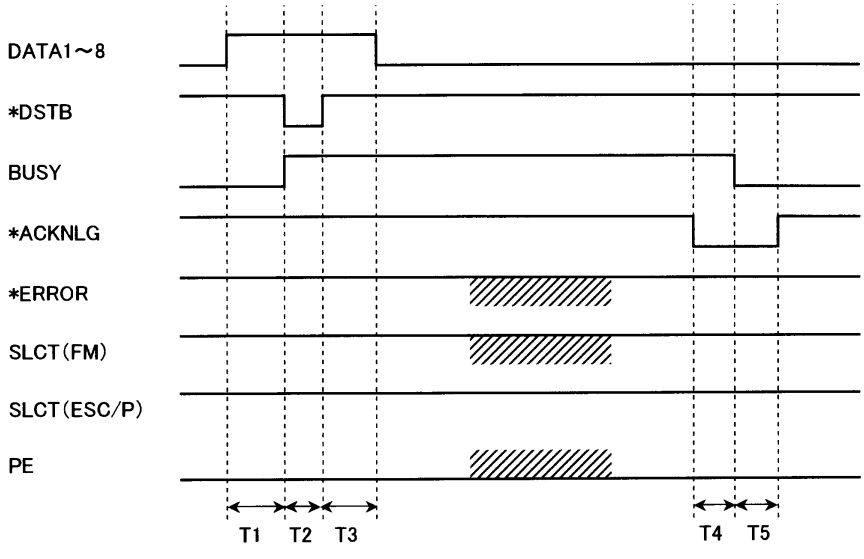
SLCT　　プリンターのオンライン、オフライン状態を通知する信号です。
この信号が、“L”のときはオフライン状態を、“H”のときはオンライン状態を示します。
次の動作で、オフライン状態になります。
・ オンライン状態でオンラインを押したとき、または DC3 コードを受信したとき
・ 電源投入、または*EXPRM, *INPRM コマンド受信により、初期動作中にアラーム、用紙無しを検出したとき
・ 印字動作中に、用紙無し、スペースエラーを検出したとき

次の動作で、オンライン状態になります。
・ オフライン状態で オンライン を押したとき
・ 電源投入、または*EXPRM, *INPRM コマンド受信による初期化動作が終了した後、アラームでなく用紙がセットされているとき
・ オフライン状態で DC1 コードを受信したとき
（ただし、 オンライン 押下、および用紙無し、スペースエラーを検出してオフライン状態になったときは無効です）

*FAULT　　アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。この信号が“L”のときは、アラーム状態、オフライン状態です。

*±0V(RINE1)
OSCXT(RINF2)
LD(RINF3)　　プリンターのエラー状態を通知する信号です。

・ タイミングチャート



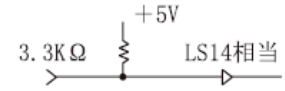
1μsec ≦ T1
1μsec ≦ T2
1μsec ≦ T3
0μsec ≦ T4 ≦ 1μsec
T5 ＝ 4±1μsec

注1）　は、途中でPE等が発生した場合は変化します。

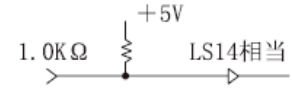
◆　インターフェイス回路

・ 入力回路

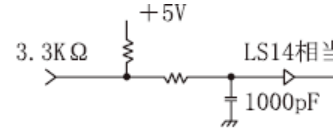
ピン No.	信号 (ESC/P モード)
2～9	DATA1～8



ピン No.	信号 (ESC/P モード)
14	*AUTOFEED XT

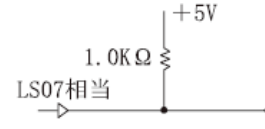


ピン No.	信号 (ESC/P モード)
1	*STROBE
31	*INIT
34	NC



・ 出力回路

ピン No.	信号 (ESC/P モード)
10	*ACKNLG
11	BUSY
12	PE
13	SLCT
15	NC
32	*ERROR
33	SG

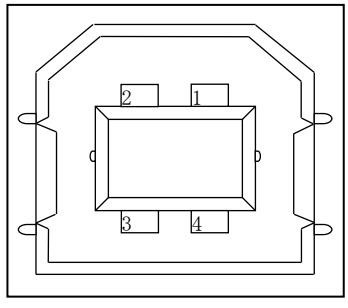


■ USB インターフェイス

◆ ケーブル

仕様　　：ＵＳＢ２．０
タイプ　：シールドタイプ
長さ　　：５ｍ以下

◆ コネクターピン配列



ピンNo.	信号線名称	機能
1	vbus	電源
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

◆ コネクター仕様

プリンター側　：　ｔｙｐｅＢレセプタクル（メス）
　　アップストリームポート
ケーブル側　　：　ｔｙｐｅＢプラグ（オス）

◆ 仕　様

基本仕様　　：　ＵＳＢインターフェイス準拠
　　注）　全てのUSBデバイスとの接続を保証するものではありません。
電力制御　　：　セルフパワーデバイス
伝送モード　：　フルスピード（最大１２Ｍｂｐｓ＋０．２５％）

ESC/P モードの制限事項

ここでは、このプリンターを ESC/P モードで運用するときの制限事項について説明します。

注 1)　このプリンターは、ESC/P モードと FM モードの２種類のプリンターモードに対応しています。
プリンターの動作モードは、機能設定で、ESC/P モードと FM モードに設定することができます。(31 ページ参照)

◆　サポートコマンド

このプリンターは、ESC/P 24-J84 に準拠していますが、印字方式、解像度の違いによりサポートしていないコマンドがありますので注意してください。
(「ESC/P モードコマンド一覧表」150ページ参照)

初期状態

■ ESC/P エミュレーションモード

設定値	・電源投入 ・*EXPRM ・*INIT	・リセットスイッチ ・*INPRM	リセットコマンド ESC @	エミュレーション切換えコマンド (FM⇒ESC/P)
ホストインターフェイス識別	行う	行わない	⇦	⇦
印字ヘッドセンタリング	行う	⇦	行わない	⇦
印刷バッファー	クリア	⇦	⇦	印字する
受信バッファー	クリア	⇦	保持	⇦
送信バッファー	クリア	⇦	保持	⇦
スイッチによる高速指定	解除	保持	⇦	解除
ページ先頭位置	現在の位置	⇦	⇦	⇦
単票残行管理	電源投入時はクリア その他は保持する	保持する	⇦	⇦
連帳残行管理	電源投入時はクリア その他は保持する	保持する	⇦	⇦
右マージン設定	136 桁目	⇦	⇦	⇦
左マージン設定	1 桁目	⇦	⇦	⇦
水平タブ位置設定	8 文字毎	⇦	⇦	⇦
ページ長設定	セットアップ (11 インチ)	⇦	⇦	⇦
ミシン目スキップ設定	セットアップ（0 インチ）	⇦	⇦	⇦
改行量設定	セットアップ (1/6 インチ)	⇦	⇦	⇦
垂直タブ位置設定	無し	⇦	⇦	⇦
VFU チャネル選択	0 チャネル	⇦	⇦	⇦
VFU タブ位置設定	無し	⇦	⇦	⇦
ANK 文字ピッチ	セットアップ（10CPI）	⇦	⇦	⇦
プロポーショナル指定	解除	⇦	⇦	⇦
国際文字選択	セットアップ（日本）	⇦	⇦	⇦
スーパー／サブスクリプト指定	解除	⇦	⇦	⇦
文字品位選択	セットアップ（LQ）	⇦	⇦	⇦
書体選択	セットアップ（クーリエ）	⇦	⇦	⇦
文字コード表選択	セットアップ（カタカナ）	⇦	⇦	⇦
文字間スペース量設定	0	⇦	⇦	⇦
縮小指定	セットアップ（解除）	⇦	⇦	⇦

設定値	・電源投入 ・*EXPRM ・*INIT	・リセット スイッチ ・*INPRM	リセット コマンド ESC @	エミュレーション 切換えコマンド (FM⇒ESC/P)
アンダーライン指定／解除	解除	⇦	⇦	⇦
縦倍拡大指定／解除	解除	⇦	⇦	⇦
自動解除付倍幅拡大指定	解除	⇦	⇦	⇦
倍幅拡大指定／解除	解除	⇦	⇦	⇦
強調指定	解除	⇦	⇦	⇦
二重印字指定	解除	⇦	⇦	⇦
一括指定	解除	⇦	⇦	⇦
イタリック指定	解除	⇦	⇦	⇦
文字スタイル選択	通常文字	⇦	⇦	⇦
位置揃え選択	左寄せ	⇦	⇦	⇦
縦書き指定	解除	⇦	⇦	⇦
半角縦書き 2 文字指定	解除	⇦	⇦	⇦
4 倍角指定／解除	解除	⇦	⇦	⇦
漢字アンダーライン 指定／解除	解除	⇦	⇦	⇦
漢字一括指定	解除	⇦	⇦	⇦
漢字モード指定	解除	⇦	⇦	⇦
半角文字指定	解除	⇦	⇦	⇦
1/4 角文字指定	解除	⇦	⇦	⇦
漢字書体選択	セットアップ（明朝体）	⇦	⇦	⇦
全角文字スペース量設定	左＝０　　右＝３	⇦	⇦	⇦
半角文字スペース量指定	左＝０　　右＝２	⇦	⇦	⇦
半角文字スペース量補正	解除	⇦	⇦	⇦
漢字高速印字指定／解除	解除	⇦	⇦	⇦
ビットイメージ ESC+”K”	8 ドット単密度	⇦	⇦	⇦
ビットイメージ ESC+”L”	8 ドット倍密度	⇦	⇦	⇦
ビットイメージ ESC+”Y”	8 ドット倍速倍密度	⇦	⇦	⇦
ビットイメージ ESC+”Z”	8 ドット 4 倍密度	⇦	⇦	⇦
ビットイメージ変換	上記ビットイメージ	⇦	⇦	⇦
ダウンロード文字セット 指定/解除	内蔵文字	⇦	⇦	⇦
ダウンロード文字定義	解除	保持	⇦	⇦
文字セットコピー	解除	保持	⇦	⇦
外字定義	解除	保持	⇦	⇦
カットシートフィーダー制御	1 ビン選択	⇦	⇦	⇦
上位側コントロールコード 制御	解除	⇦	⇦	⇦

設定値	・電源投入 ・*EXPRM ・*INIT	・リセットスイッチ ・*INPRM	リセットコマンド ESC @	エミュレーション切換えコマンド (FM⇒ESC/P)
単方向指定／解除	セットアップ（解除）	⇦	⇦	⇦
MSB=1 指定	解除	⇦	⇦	⇦
MSB=0 指定	解除	⇦	⇦	⇦
用紙吸入量設定	セットアップ（8.5mm）	⇦	⇦	⇦
オートティアオフ実行可否情報	禁止	⇦	保持	禁止
1 インチカット送り出し情報	電源投入時クリア その他は保持する	保持	⇦	クリア

■ FM エミュレーションモード

設定値	・電源投入 ・*EXPRM ・*INIT	・リセットスイッチ ・*INPRM	リセットコマンド RSI/RBS	エミュレーション切換えコマンド (ESC/P⇒FM)
ホストインターフェイス識別	行う	行わない	⇦	⇦
印字ヘッドセンタリング	行う	⇦	⇦	行わない
印刷バッファー	クリア	⇦	⇦	印字する
受信バッファー	クリア	⇦	保持	⇦
送信バッファー	クリア	⇦	保持	⇦
スイッチによる高速指定	解除	保持	⇦	解除
ページ先頭位置	現在の位置	⇦	⇦	⇦
単票残行管理	電源投入時はクリア その他は保持する	保持する	⇦	⇦
連帳残行管理	電源投入時はクリア その他は保持する	保持する	⇦	⇦
片方向印字指定	セットアップ（両方向）	⇦	⇦	⇦
高速印字指定(コマンド)	クリア	⇦	⇦	⇦
行組：右端	終端	⇦	⇦	⇦
行組：左端，左端1，左端2	始端	⇦	⇦	⇦
イメージ転送モード	解除	⇦	⇦	⇦
ページ長	11 インチ	⇦	⇦	⇦
スキップパーフォレーション行	0	⇦	⇦	⇦
改行ピッチ	1/6 インチ	⇦	⇦	⇦
ANK 文字ピッチ	1/10 インチ	⇦	⇦	⇦
アンダーライン指定	クリア	⇦	⇦	⇦
ANK 文字サイズ指定	標準	⇦	⇦	⇦
スーパー／サブスクリプト指定	クリア	⇦	⇦	⇦
ANK 書体	ドラフト	⇦	⇦	⇦
漢字書体(コマンド)	セットアップ（明朝体）	⇦	⇦	⇦
プロポーショナル指定	クリア	⇦	⇦	⇦
プロポーショナル空白幅指定	1/10 インチ	⇦	⇦	⇦
漢字指定	解除	⇦	⇦	⇦
漢字文字ピッチ	3/20 インチ	⇦	⇦	⇦
アンダーライン指定	クリア	⇦	⇦	⇦
漢字縦書き指定	横書き	⇦	⇦	⇦
漢字縦書き指定2	パターン無意識	⇦	⇦	⇦
半角縦書き時	2 文字ペア	⇦	⇦	⇦
漢字縦倍角時の基準	上端合わせ	⇦	⇦	⇦

設定値	・電源投入 ・*EXPRM ・*INIT	・リセット スイッチ ・*INPRM	リセット コマンド RSI/RBS	エミュレーション 切換えコマンド (ESC/P⇒FM)
漢字文字サイズ指定	標準	⇦	⇦	⇦
罫線接続指定	非接続	⇦	⇦	⇦
漢字未定義コード	■印字	⇦	⇦	⇦
1バイト半角文字指定	クリア	⇦	⇦	⇦
外字登録文字の半角扱い	全角漢字	⇦	⇦	⇦
外字登録文字	クリア	保持	⇦	⇦
外字登録領域指定	クリア	⇦	⇦	⇦
タブセット（水平，垂直）	クリア	⇦	⇦	⇦
CSF 自動ビン選択指定	解除	⇦	⇦	⇦
用紙吸入量設定	セットアップ（22.0mm）	⇦	⇦	⇦
1インチカット送り出し情報	電源投入時クリア その他は保持する	保持	⇦	クリア

コマンド一覧表

本プリンターで使用できるコマンドについて、簡単に説明します。

お願い

本プリンターでは、1インチ以上の逆改行を行わないでください。
これを行うと、印字が乱れたり、用紙づまりの原因になったりします。

◆ 表の見方

・＜　　＞$_{16}$内の文字は16進表記です。

・コマンド欄の記号は、次のコードを意味します。

ESC＝＜1B＞$_{16}$　CSI＝＜1B＞$_{16}$＋＜5B＞$_{16}$　FS＝＜1C＞$_{16}$

CEX＝＜1C＞$_{16}$　PU1＝＜1B＞$_{16}$＋＜51＞$_{16}$

・␣は、スペース（空白〈20〉$_{16}$）を示します。

・Pa、P_1、P_2、…、Pnはパラメーターを示します。

■ ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

機能名称		名　称	コマンド	機　能
書式設定・実行	印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC＋C＋Pa	行単位でページ長を設定します。
		インチ単位ページ長設定	ESC＋C＋NUL＋Pa	インチ単位でページ長を設定します。
		ミシン目スキップ設定	ESC＋N＋Pa	ページ長下端からのミシン目スキップ位置を設定します。
		ミシン目スキップ解除	ESC＋O	ミシン目スキップ設定を解除します。
		右マージン設定	ESC＋Q＋Pa	右マージン位置を桁数で設定します。
		左マージン設定	ESC＋ l ＋Pa	左マージン位置を桁数で設定します。
	改行量設定	1/8 インチ改行量指定	ESC＋0	改行量を 1/8 インチに設定します。
		1/6 インチ改行量指定	ESC＋2	改行量を 1/6 インチに設定します。
		n/180 インチ改行量指定	ESC＋3＋Pa	改行量を Pa/180 インチに設定します。
		n/60 インチ改行量指定	ESC＋A＋Pa	改行量を Pa/60 インチに設定します。
		n/360 インチ改行量指定	ESC＋ ＋ ＋Pa	改行量を Pa/360 インチに設定します。
	タブ設定	垂直タブ位置設定	ESC＋B＋P_1＋P_2＋…Pn＋NUL	ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
		水平タブ位置設定	ESC＋D＋P_1＋P_2＋…Pn＋NUL	左マージン位置からの水平タブ位置を設定します。
		VFU チャネル選択	ESC＋/＋Pa	チャネル番号を指定します。
		VFU タブ位置設定	ESC＋ b ＋Pa＋P_1＋…Pn＋NUL	Pa で指定されたチャネル番号に対して、ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
	印字・紙送り	印字復帰	CR	バッファー内のデータを印字後、受信位置を同一行の左マージン位置にします。
		改行	LF	バッファー内のデータを印字後、現在の改行ピッチに従って受信位置を次行の左マージン位置にします。
		改ページ	FF	バッファー内のデータを印字後、設定されているページ長にしたがって改ページします。
		n/180 インチ順方向紙送り	ESC＋J＋Pa	1/180 インチ単位で、受信位置を現在位置からの移動量で指定します。

機能名称			名　称	コマンド	機　能
書式設定・実行	印字位置設定		水平タブ実行	HT	受信位置を同一行の次の水平タブ位置へ移動します。
			垂直タブ実行	VT	バッファー内のデータを印字後、受信位置を次の垂直タブ位置の左マージン位置へ移動します。
			後退	BS	受信位置を直前の文字の文字ピッチに従って1文字分左へ移動します。
			絶対位置指定	ESC＋＄＋P_1＋P_2	受信位置を左マージン位置からの移動量で指定します。
			相対位置指定	ESC＋￥＋P_1＋P_2	受信位置を現在位置からの移動量で指定します。
テキスト処理	ANK文字	文字セット	12CPI指定	ESC＋M	ANK文字のピッチを12CPIに設定します。
			10CPI指定	ESC＋P	ANK文字のピッチを10CPIに設定します。
			15CPI指定	ESC＋g	ANK文字のピッチを15CPIに設定します。
			プロポーショナル指定/解除	ESC＋p＋Pa	プロポーショナル印字の指定、解除を行います。
			国際文字選択	ESC＋R＋Pa	各国別の文字セットを選択します。
			スーパー/サブスクリプト指定	ESC＋S＋Pa	ANK文字のスーパー/サブスクリプトを指定します。
			スーパー/サブスクリプト解除	ESC＋T	スーパー/サブスクリプトの指定を解除します。
			文字品位選択	ESC＋x＋Pa	ANK文字の文字品位を指定します。
			書体選択	ESC＋k＋Pa	ANK文字の書体を指定します。
			文字コード表選択	ESC＋t＋Pa	ANK文字のコード表を選択します。
		文字定義	ダウンロード文字セット指定/解除	ESC＋％＋Pa	ANK文字のダウンロード文字セットの指定、解除を行います。
			ダウンロード文字定義	ESC＋＆＋NUL＋P_1＋P_2＋｛Pa_1＋Pb_1＋Pc_1＋D_1～Dn｝×n	ダウンロード文字を定義するコードを指定し、定義開始コードおよび定義終了コードを指定します。
			文字セットコピー	ESC＋：＋NUL＋P_1＋P_2	ダウンロード文字セットへコピーする書体を選択します。

機能名称			名　称	コマンド	機　能
テキスト処理	ANK 文字	文字ピッチ調整	文字間スペース量設定	ESC＋␣＋Pa	ANK 文字幅に付加するスペース量を指定します。
		位置揃え選択	位置揃え選択	ESC＋ａ＋Pa	文字の印字位置の揃えかたを指定します。
		装飾	縮小指定	SI	ANK 文字の縮小印字を指定します。 どちらのコマンドも同一内容の ANK 文字縮小印字をします。
			縮小指定	ESC＋SI	
			縮小解除	DC2	ANK 文字の縮小印字指定を解除します。
			アンダーライン指定/解除	ESC＋－＋Pa	ANK 文字のアンダーラインの指定、解除を行います。
			縦倍拡大指定/解除	ESC＋ｗ＋Pa	ANK 文字の縦倍拡大の指定、解除を行います。
	共通	装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
			自動解除付き倍幅拡大指定	ESC＋SO	
			自動解除付き倍幅拡大解除	DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
			倍幅拡大指定/解除	ESC＋W＋Pa	ANK および漢字文字の倍幅拡大の指定、解除を行います。
			強調指定	ESC＋E	ANK および漢字文字の強調文字を指定します。
			強調解除	ESC＋F	ANK および漢字文字の強調文字指定を解除します。
			二重印字指定	ESC＋G	ANK および漢字文字の二重印字を指定します。
			二重印字解除	ESC＋H	ANK および漢字文字の二重印字指定を解除します。
			自動解除付き倍幅拡大指定	FS＋SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
			自動解除付き倍幅拡大解除	FS＋DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
			一括指定	ESC＋！＋Pa	ANK 文字および漢字の文字修飾を一括指定します。

機能名称			名　称	コマンド	機　能
テキスト処理	共通	装飾	イタリック指定	ESC＋4	ANK および漢字文字のイタリック印字を指定します。
			イタリック解除	ESC＋5	ANK および漢字文字のイタリック印字指定を解除します。
			文字スタイル選択	ESC＋ｑ＋Pa	ANK および漢字文字の文字スタイルを選択します。
	漢字	装飾	縦書き指定	FS＋J	漢字文字の縦書きを指定します。
			横書き指定	FS＋K	漢字文字の横書きを指定します。
			半角縦書き2文字指定	FS＋D	漢字文字2文字の半角組み文字を指定します。
			4倍角指定/解除	FS＋W＋Pa	漢字文字の4倍角の指定、解除を行います。
			漢字アンダーライン指定/解除	FS＋－＋Pa	漢字アンダーラインの指定、解除を行います。
			漢字一括指定	FS＋！＋Pa	漢字文字および ANK 文字の文字修飾を一括指定します。
		文字セット	漢字モード指定	FS＋＆	漢字モードを指定します。
			漢字モード解除	FS＋.	漢字モード指定を解除します。
			半角文字指定	FS＋SI	漢字文字の半角印字を指定します。
			半角文字解除	FS＋DC2	漢字文字の半角印字指定を解除します。
			1/4角文字指定	FS＋ｒ＋Pa	漢字文字の1/4角文字の印字を指定します。
			漢字書体選択	FS＋ｋ＋Pa	漢字文字の書体を選択します。
		文字定義	外字定義	FS＋2＋P_1＋P_2＋D_1～D_{72}	外字登録コード、登録パターンを指定します。
		文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS＋S＋P_1＋P_2	漢字全角文字に付加するスペース量を指定します。
			半角文字スペース量設定	FS＋T＋P_1＋P_2	漢字半角文字および 1/4 角文字に付加するスペース量を指定します。
			半角文字スペース量補正	FS＋U	漢字半角文字のスペース量を 2 文字ごとに補正します。
			半角文字スペース量補正解除	FS＋V	漢字半角文字のスペース量補正の指定を解除します。

機能名称		名　称	コマンド	機　能
イメージ処理		8 ドット単密度 ビットイメージ	ESC＋K＋P_1＋P_2 ＋D_1～Dn	8 ビット単密度のビットイメージを指定します。
		8 ドット倍密度 ビットイメージ	ESC＋L＋P_1＋P_2 ＋D_1～Dn	8 ビット倍密度のビットイメージを指定します。
		8 ドット倍速倍密度 ビットイメージ	ESC＋Y＋P_1＋P_2 ＋D_1～Dn	8 ビット倍速倍密度のビットイメージを指定します。
		8 ドット 4 倍密度 ビットイメージ	ESC＋Z＋P_1＋P_2 ＋D_1～Dn	8 ビット 4 倍密度のビットイメージを指定します。
		ビットイメージ選択	ESC＋＊＋Pa＋ P_1＋P_2＋D_1～Dn	ビットイメージのモードおよびカラム数を指定します。
		ビットイメージ変換	ESC＋？＋P_1＋ P_2	8 ビット系のビットイメージ(ESC＋K,ESC＋L,ESC＋Y,ESC＋Z)のビットイメージを変換します。
補助機能	初期化	初期化	ESC＋@	プリンターを初期状態にします。
	キャリッジ制御	単方向印字指定/解除	ESC＋U＋Pa	単方向印字の指定、解除を行います。
		漢字高速印字指定/解除	FS＋ｘ＋Pa	漢字高速印字の指定、解除を行います。
		リターンホーム	ESC＋＜	プリントヘッドを左端まで移動します。
	データ入力制御	デバイスコントロール 1	DC1	プリンターを選択状態にします。
		デバイスコントロール 3	DC3	プリンターを非選択状態にします。
		1 文字削除	DEL	直前のデータを 1 文字クリアします。
		データ抹消	CAN	バッファー内のデータをクリアします。
	CSF 制御	カットシートフィーダー制御	ESC＋EM＋Pa	プリンターの給紙方法を選択します。
	ブザー	ブザー	BEL	ブザーを鳴動させます。

■ FM モードコマンド一覧表

このプリンターは、基本ピッチが 1/180 インチです。FM モードでは 180dpi モードで動作します。
また、このプリンターのドット位置は次のとおりです。
始端：1 ドット
終端：1440 ドット（fit3150）
　　2448 ドット（fit3250）

FM モードのコマンドは、下表のとおりです。

※ 欄の記号は次の意味を表します。
○：本プリンターで使用できる
×：本プリンターではサポートしていない

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
装置制御	リセット	RIS	リセット	ESC+c	プリンターを初期状態にします。 初期状態については「初期状態」(147ページ)を参照してください。	○
		RBS	リセット	CEX+]		
	動作モード設定	DCH	解像度変更指定	PU1+Pa+!+A	解像度を変更します。	×
	装置制御	DC1	デバイス・コントロール1	$\langle 11 \rangle_{16}$	オンライン状態にします。	○
		DC3	デバイス・コントロール3	$\langle 13 \rangle_{16}$	印字後、オフライン状態にします。	
		PDIR	印字方向指定	PU1+Pa+␣+`	印字方向を指定します。 Pa＝　0　両方向印字指定 　　(初期値) 　　1　片方向印字指定	○
		HSPR	高速印字指定	PU1+Pa+␣+−	高速印字を指定します。 Pa　＝0　通常印字 　　(初期値) 　　1　高速印字	
		BEL	ベル	$\langle 07 \rangle_{16}$	ブザーが鳴ります。 装置機能設定の「ブザー」の設定が「鳴動しない」に設定してある場合は無効です。	○
		CAN	抹消	$\langle 18 \rangle_{16}$	バッファー内のデータをクリアします。	
		DEL	削除	$\langle 7F \rangle_{16}$	1 文字削除します。	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
ページ制御	用紙制御	CSF	カットシートフィーダー制御	PU1+Pa+␣+[	カットシートフィーダーの動作（吸入・排出）、吸入する用紙の種類と吸入口を指定します。 Pa＝　0　用紙を吸入 1　用紙を排出 10　一般紙 （上端余白約22.0mm） （注1） 11　はがき縦 （上端余白約12.7mm） 12　はがき横 （上端余白約9.7mm） 20　第1ビン 21　第2ビン 22　無効	○
		CSF2	カットシートフィーダー制御2	PU1+Pa+␣+¥	カットシートフィーダーの自動給紙を指定します。 Pa＝　0　自動給紙を解除 3　自動給紙を指定	
	印字領域	SPF	自動改ページ指定	PU1+Pa+␣+K	スキップパーフォレーション行を指定します	○
		LMRG	左端指定	PU1+P_1+;+P_2+␣+Q	左端位置を指定します。	
	ページ長設定	PGL1	ページ長指定1	PU1+Pa+␣+A	行単位でページ長を指定します。	○
		PGL2	ページ長指定2	PU1+Pa+␣+B	インチ単位でページ長を指定します。	
印字位置制御	基本制御	CR	復帰	$\langle 0D \rangle_{16}$	印字後、受信位置を同一行の左端にします。	○
		BS	後退	$\langle 08 \rangle_{16}$	印字後、受信位置を1文字分後退します。	
		LF	改行	$\langle 0A \rangle_{16}$	印字後、受信位置を次の行の左端にします。	
		NEL	復改	ESC+E		
		NEL	復改	CEX+@		
		FF	改ページ	$\langle 0C \rangle_{16}$	印字後、受信位置を次のページの左端にします。	

注1）上端余白とは、用紙の上端から印字開始行の文字上端までのことを言います。

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
印字位置制御	ピッチ制御	CP	漢字文字ピッチ指定	CEX+$+Pa	漢字文字ピッチを指定します。	○
		LP	改行ピッチ指定	CEX+%+Pa	改行ピッチを指定します。	
		LP2	改行ピッチ指定2	PU1+P_1+;+P_2+␣+G	P1/P2インチで改行ピッチを指定します。	
		SPI	改行ピッチ/ANK文字ピッチ指定	CSI+P_1+;+P_2+␣+G	改行ピッチおよびANK文字ピッチを指定します。	
	タブ位置設定	HTS	水平タブセット	ESC+H	現在位置に水平タブストップを設定します。	○
		SCT	水平タブセット	CEX+F		
		STF	水平タブ位置指定	CEX+#+P_1+…+Pn	水平タブストップを指定します。	
		HTSA	水平タブ位置指定	CSI+P_1+;+…+Pn+␣+N		
		VTS	垂直タブセット	ESC+J	現在行に垂直タブストップを設定します。	
		SLT	垂直タブセット	CEX+H		
		VTSA	垂直タブ位置指定	PU1+P_1+;+…+Pn+␣+@	垂直タブストップを指定します。	
	タブ位置解除	RCT	水平タブリセット	CEX+G	現在位置の水平タブストップを解除します。TBCでPa=0を指定したときと同じです。	○
		RLT	垂直タブリセット	CEX+I	現在行の垂直タブストップを解除します。TBCでPa=1を指定したときと同じです。	
		TBC	タブクリア	CSI+Pa+g	タブストップを解除します。 Pa=　0　現在位置の水平タブストップを解除 (RCTと同じ) (初期値) 1　現在行の垂直タブストップを解除 (RLTと同じ) 3　すべての水平タブストップを解除 4　すべての垂直タブストップを解除	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
印字位置制御	タブ移動	HT	水平タブ	$\langle 09 \rangle_{16}$	受信位置を、次の水平タブストップに進めます。	○
		CHBT	水平逆タブ	CEX+D	印字後、受信位置を手前の水平タブストップにします。	
		HPA	絶対水平タブ	CSI+Pa+␣	受信位置を指定した位置にします。	
		HPA2	絶対水平タブ２	PU1+Pa+␣+P	受信位置を指定します。	
		HPR	相対水平タブ	CSI+Pa+a	受信位置を指定した分だけ進めます。	
		PS	指定間隔	CEX+!+Pa		
		HPB	相対水平逆タブ	CSI+Pa+j	同一行内で、指定した分だけ受信位置を戻します。	
		VT	垂直タブ	$\langle 0B \rangle_{16}$	印字後、受信位置を次の垂直タブストップにします。	
		VPA	絶対垂直タブ	CSI+Pa+d	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。	
		VPR	相対垂直タブ	CSI+Pa+e	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。	
		SAP	動作位置指定	CEX+″+P_1+P_2	印字後、受信位置を指定した位置にします。	
		HVP	動作位置指定	CSI+P_1+;+P_2+f		
	行組み	LC	行組み指定	CEX+)+P_1+P_2+P_3+P_4	右端、左端１、左端２を指定します。	○
		KNL1	漢字復改１	CEX+A	印字後、受信位置を次の行の左端１にします	
		KNL2	漢字復改２	CEX+B	印字後、受信位置を次の行の左端２にします	
		NPH	段落	CEX+C	印字後、受信位置を次の行の左端から漢字１文字分進めます。	
文字印字制御	漢字/ANK	SCS	漢字指定	ESC+$+@	JIS-78 漢字モードを指定します。	○
				ESC+$+B	JIS-83 漢字モードを指定します。	
			ANK 指定	ESC+(+H	ANK モードを指定します。	

<table>
<tr><th colspan="2">機能名称</th><th colspan="2">名　称</th><th>コマンド</th><th>機　能</th><th>※</th></tr>
<tr><td rowspan="7">印字位置制御</td><td rowspan="2">漢字/ANK</td><td>TF</td><td>書体指定</td><td>CEX+(+P_1+P_2</td><td>ANK 文字と漢字文字の書体を指定します。
・レギュラー文字はドラフト文字より印字速度が低下します。
・レギュラー文字で文字ピッチを 1/10 インチ未満にすると文字の右側が欠けることがあります。
<table><tr><td></td><td>P_1=0
(ANK)</td><td>P_1=1
(漢字)</td><td></td></tr><tr><td>P_2=0</td><td>ドラフト</td><td>明朝</td><td>←
初期値</td></tr><tr><td>P_2=1</td><td>レギュラー</td><td>ゴシック</td><td></td></tr></table></td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>HSS2</td><td>半角指定 2</td><td>PU1+Pa+␣+｜</td><td>1 バイト半角文字を指定します。
Pa=　0　標準文字（ANK 文字）
（初期値）
1　半角文字</td></tr>
<tr><td rowspan="2">プロポーショナル</td><td>SPS</td><td>欧文ピッチ処理開始</td><td>CEX+T</td><td>プロポーショナル印字を指定します。</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>EPS</td><td>欧文ピッチ処理終了</td><td>CEX+U</td><td>プロポーショナル印字を解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">上つき/下つき文字</td><td>SSP</td><td>上つき文字開始</td><td>CEX+N</td><td>上つき文字を指定します。</td><td rowspan="4">○</td></tr>
<tr><td>ESP</td><td>上つき文字終了</td><td>CEX+O</td><td>上つき文字を解除します。</td></tr>
<tr><td>SSB</td><td>下つき文字開始</td><td>CEX+P</td><td>下つき文字を指定します。</td></tr>
<tr><td>ESB</td><td>下つき文字終了</td><td>CEX+Q</td><td>下つき文字を解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">拡大/縮小</td><td>KGM</td><td>漢字拡大印字指定</td><td>CEX+’+P_1+P_2</td><td>漢字文字の拡大（縮小）印字のサイズを指定します。
SFC コマンドのスケーラブル指定が無効の場合
P_1, P_2 の範囲 50, 100, 200%
SFC コマンドのスケーラブル指定が有効の場合
P_1, P_2 の範囲 1～999%</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>GSM</td><td>ANK 倍幅拡大印字指定</td><td>CSI+P_1+;+P_2+␣+B</td><td>ANK 文字の倍幅拡大印字を指定します。
縦方向に 100%、横方向に 100、200%を指定できます。</td></tr>
</table>

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
文字印字制御	拡大/縮小	SFC	スケーラブル文字制御	PU1+P_1+;+P_2+;+P_3+;+P_4+;+P_5+!+Q	スケーラブル文字を制御します。 P_1＝　0　スケーラブル無効（初期値） 　　1　スケーラブル有効 P_2＝　0　ドットフォント優先 　　1　アウトラインフォント優先 P_3＝　0　固定 P_4＝　0　固定 P_5＝　0　200%拡大時にアウトラインフォント使用 　　1　200%拡大時にドットフォント使用	×
	強調	HL	カラー/漢字アンダーライン指定	CEX+*+Pa	漢字アンダーラインを指定します。 Pa＝　0　通常印字（初期値） 　　4　漢字アンダーライン 　　10, 13, 15, 16　無効	○
		SGR	カラー/ANKアンダーライン指定	CSI+Pa+m	ANKアンダーラインを指定します。 Pa＝　0　通常印字（初期値） 　　4　ANKアンダーライン 　　30, 33, 35, 36　無効	
	縦書き横書き	VWF	漢字縦書き指定	CEX+J	漢字の縦書きを指定します。	○
		VWF2	漢字縦書き指定2	PU1+Pa+␣+q	漢字縦書き時の文字の回転の扱いを指定します。 Pa＝　0　物理的に90度回転（初期値） 　　1　パターンによる最適変換	
		HWF	漢字横書き指定	CEX+K	漢字の横書きを指定します。	
		HVWF	半角文字縦書き指定	PU1+Pa+␣+p	漢字縦書き時の半角文字の扱いを指定します。 Pa＝　0　2文字ペア　（初期値） 　　1　1文字中心	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
文字印字制御	その他	KC	罫線接続指定	PU1+Pa+␣+t	罫線接続を指定します。 Pa　＝0　接続しない　(初期値) 　　1　接続する	○
		KUDC	漢字未定義コード	PU1+Pa+␣+x	漢字未定義コードの扱いを指定します。 Pa　＝0　■印字（初期値） 　　1　漢字スペース	
		TSS	スペース幅指定	CSI+Pa+␣+E	プロポーショナル文字のときの、スペースコードの幅を指定します。	
イメージデータ印字	イメージ処理	NIMG	イメージ転送	PU1+Pa+␣+W+データ	イメージを印字します。	○
		SIMG	単密度倍幅 イメージ転送	PU1+Pa+␣+V+データ	単密度倍幅イメージを印字します。	
		DIMG	倍幅イメージ転送	PU1+Pa+␣+X+データ	倍幅イメージを印字します	
外字登録	外字登録	CPT	外字登録	CEX+2+0+P_1+P_2+D_1+…+D_{144}	24×24 ドットの、ユーザー定義文字を登録します。	○
		CPT2	外字登録 2	CEX+2+1+P_1+P_2+D_1+…+D_{576}	48×48 ドットの、ユーザー定義文字を登録します。	×

【非推奨コマンド】

以下のコマンドは逆改行動作を伴います。

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
非推奨コマンド	逆改行タブ	LBT	垂直逆タブ	CEX+E	印字後、受信位置を手前の垂直タブストップの左端にします。	○
		VPB	相対垂直逆タブ	CSI+Pa+k	印字後、指定した行だけ逆改行して受信位置を左端にします。	
	印字位置	KSM	漢字モードセット	CEX+－+t	文字中心合わせを指定します。	○
		KRM	漢字モードリセット	CEX+.+t	文字下端合わせを指定します。	
		KUPF	漢字基準線指定	PU1+Pa+␣+d	文字中心/下端/上端合わせを指定します。	

■　バーコード指定コマンド

本プリンターでは、バーコードの選択、およびバーコード印字を指定することができます。
バーコードコマンドは、ESC/P エミュレーションモード時のみ有効です。
本コマンドは、位置揃え選択コマンドが解除（左寄せ）されている時のみ有効です。
位置揃え選択コマンドで、中央寄せ，右寄せ，両揃えのいずれかが指定されている時は、ESC+DC4 と以降の m バイトのデータを受け捨てます。
バーコード印字は、片方向印字となります。

◆　書式

ESC ＋ DC4 ＋ m ＋ R ＋ c ＋ w ＋ h

$\langle 1B \rangle_{16}$　$\langle 14 \rangle_{16}$　$\langle 94 \rangle_{16}$　$\langle 52 \rangle_{16}$　$\langle D2 \rangle_{16}$

＋ a ＋ ch1 ＋ … ＋ chn

◆　パラメーター範囲

m　=　（次ページを参照してください。）

c　=　31h , 32h , 33h , 34h , 35h , 36h , 37h , 41h , 42h , 45h , B1h , B2h , B3h , B4h , B5h , B6h , B7h , C1h , C2h , C5h

w　=　00 ≦ w ≦ 256

h　=　00 ≦ h ≦ 256

a　=　00 ≦ a ≦ 256

注）各パラメーター(m , c , w , h , a)の MSB は無視します。
各パラメーターの有効範囲については、次ページを参照してください。

パラメーター m の有効範囲は、バーコードの種類（パラメーター c, a の値）により以下のようになります。

パラメーター c の値	パラメーター a の bit0	m の有効範囲
31h , B1h	-	7≦m≦72 , 135≦m≦200
32h , B2h	0	m = 18 , 146
	1	m = 19 , 147
33h , B3h	0	m = 13 , 141
	1	m = 14 , 142
34h , B4h	0	7≦m≦69 , 135≦m≦197
	1	7≦m≦70 , 135≦m≦198
35h , B5h	0	7≦m≦69 , 135≦m≦197
37h , B7h	1	7≦m≦70 , 135≦m≦198
36h , B6h	0	7≦m≦69 , 135≦m≦197
	1	7≦m≦70 , 135≦m≦198
41h , C1h	0	m = 17 , 145
	1	m = 18 , 146
42h , C2h	0	7≦m≦72 , 135≦m≦200
	1	7≦m≦72 , 135≦m≦200
45h , C5h	0	m = 13 , 17 , 141 , 145
	1	m = 14 , 18 , 142 , 146

◆ 機能

ch1～chn のキャラクターコードを、パラメーター（c , w , h , a）で指定されたバーコードで、ラインバッファーに展開します。

- 本コマンド受信で印字起動はかかりません。
- 本コマンド受信により、右マージン位置を越えた場合、ESC ～ chn までを受け捨て、受信位置は本コマンド受信時の位置に戻ります。(m-6)バイトのキャラクターデータをデータ数（n）とし、バーコードに変換します。

ESC + DC4 + m + R + c + w + h + a + ch1 + ···· + chn

m-6 バイト

m バイト

- m がパラメーター有効範囲以外の場合、ESC+DC4 と以降の m バイトのデータを受け捨てます。
  (m が 0 の時は、ESC+DC4+0 の 3 バイトを受け捨てます)

第 4 バイトが”R”以外ならば、ESC+DC4 と以降の m バイトのデータを受け捨てます。
パラメーター c で印字するバーコードの種類を指定します。

パラメーター c	バーコードの種類
31h , B1h	Codabar (NW-7)
32h , B2h	EAN 13 (JAN 13)
33h , B3h	EAN 8 (JAN 8)
34h , B4h	Code 3 of 9
35h , B5h	Industrial 2 of 5
36h , B6h	Interleaved 2 of 5
37h , B7h	Matrix 2 of 5
41h , C1h	UPC type A
42h , C2h	Code 128
45h , C5h	UPC type E

・ c がパラメーター有効範囲以外の場合、ESC+DC4 と以降の m バイトのデータを受け捨てます。
パラメーター w で印字するバーコードのナローバーの幅を 1/1440 インチ単位で指定します。

・ ナローバーの幅は、印字したい「**理論値**」を指定してください。
［1/1440 インチ単位］

・ 実際の印字： プリンターは 1/180 インチ単位で以下の幅で印字します。

パラメーター w	ナローバーの幅
0 ～ 19	2 ドット (2/180 インチ)
20 ～ 27	3 ドット (3/180 インチ)
28 ～	4 ドット (4/180 インチ)

パラメーター h で印字するバーコードの高さを、ナローバーの幅を基準にして 1/1440 インチ単で指定します。

・ バーコードの高さ≒（パラメーター w）×（パラメーター h）
［1/1440 インチ単位］

・ 実際の印字は以下のようになります。

(1) 『バーコードの高さ ＜ 192/1440 インチ（24/180 インチ）』の時は、ナローバーの幅、バーコードの種類により、以下の高さとなります。

ナローバーの幅	EAN 13 UPC(type A , E) Code 128	EAN 8	その他
2 ドット (16/1440 インチ)	162 ドット (1296/1440 インチ)	130 ドット (1040/1440 インチ)	108 ドット (864/1440 インチ)
3 ドット (24/1440 インチ)	234 ドット (1872/1440 インチ)	187 ドット (1496/1440 インチ)	135 ドット (1080/1440 インチ)
4 ドット (32/1440 インチ)	312 ドット (2496/1440 インチ)	249 ドット (1992/1440 インチ)	162 ドット (1296/1440 インチ)

注) 1 ドット = 1/180 インチ　　(　　)は 1/1440 インチ単位での換算値です。
これらの値は、それぞれのバーコードの標準の高さです。
（標準でよいときには、高さ<24/180 となるような値を入力してください）

(2) 『バーコードの高さ ＞ 15840/1440 インチ（11 インチ）』の時は、バーコードの高さを強制的に 11 インチ（15840/1440 インチ）にします。

(3) バーコードの高さが(1),(2)以外の時は、
バーコードの高さ＝（パラメーター w)×(パラメーター h)
÷（1440/180）……（1/180 インチ）
となります。（余りは切り捨て）

パラメーター a の Bit2～0 で、チェックキャラクター及び OCR キャラクターにする設定を選択します。

Bit	指　定　内　容	値	設 定 値
0	チェックキャラクター付加指定 *1	0	付加する
		1	付加しない
1	OCR キャラクターの印字指定　*2 (OCR-B で印字)	0	印字する
		1	印字しない
2	フラグキャラクターの印字位置 *3	0	バーコードの中央
		1	バーコードの左下

注1) Codabar の時は、指定に関係なく常に非付加モードが選択されます。
注2) OCR キャラクターを印字する場合は、第一ドット目からバーコード展開位置までの間に 26/180 ドット以上のスペースが必要です。(26/180 ドット以上のスペースが無い場合には、フラグキャラクターが印字されません)
注3) EAN(EAN 13), UPC(type A , E)に対してのみ、指定が有効になります。
未定義のビットは、無視されます。

ch1 ～ chn は、バーコードで印字するキャラクターコードを指定します。
データ数および印字可能な文字セットは下記を参照してください。

バーコードの種類	使用可能な文字セット	データ数　(n)
Codabar	数字： 0～9 記号： + - . $ / : スタート，ストップ： A, a, B, b, C, c, D, d, T, t, N, n, *, E, e	1≦n≦66 スタート，ストップを含む
EAN 13	数字： 0～9	チェックキャラクター付加モード n = 12 固定 チェックキャラクター非付加モード n = 13 固定
EAN 8	数字： 0～9	チェックキャラクター付加モード n = 7 固定 チェックキャラクター非付加モード n = 8 固定
Code 3 of 9	数字： 0～9 アルファベット： A～Z 記号： + - / % $. SPACE スタート，ストップ： *	チェックキャラクター付加モード 1≦n≦63 チェックキャラクター非付加モード 1≦n≦64
Industrial 2 of 5 Matrix 2 of 5	数字： 0～9	チェックキャラクター付加モード 1≦n≦63 チェックキャラクター非付加モード 1≦n≦64
Interleaved 2 of 5	数字： 0～9	チェックキャラクター付加モード 1≦n≦63 チェックキャラクター非付加モード 1≦n≦64
UPC type A	数字： 0～9	チェックキャラクター付加モード n = 11 チェックキャラクター非付加モード n = 12
Code 128	ASCII： 128 文字すべて スタートコード： A (set A) B (set B) C (set C)	チェックキャラクター付加モード 1≦n≦117 チェックキャラクター非付加モード 1≦n≦119
UPC type E	数字： 0～9	チェックキャラクター付加モード n = 7 or 11 チェックキャラクター非付加モード n = 8 or 12

・ 入力データのチェックは、以下のように行います。

(1) 全バーコード共通

・ 規定のデータ数及び使用可能な文字セット以外を検出した時は、ESC+DC4 と以降の m バイトのデータを受け捨てます。

(2) Codabar の場合

・ スタート，ストップコードのチェックは行わず、入力データ通りに印字します。
・ スタート，ストップコードは、使用者が選択し、データとして入力するものとします。
・ スタート，ストップコードのアルファベットは、大文字・小文字のどちらも可とします。
ただし、OCR-B 文字は、大文字で印字します。

(3) Code 3 of 9 の場合

・ アルファベットは、大文字のみとします。
・ スタート，ストップコード（*）は、プリンター側で入力データの前後に付加します。
・ 付加されたスタート，ストップコード（*）は、OCR-B 文字の印字対象となります。

(4) Interleaved 2 of 5 の場合

・ バーコードの構成上、印字データ数は偶数でなければなりません。従って、入力データが奇数の場合は、データの先頭に”0”を付加して印字します。
・ 付加された”0”は、OCR-B 文字の印字対象となります。

(5) UPC type E の場合

・ データ数（n）が 7，8 の時は、type E 用に圧縮されたデータ形式であると判断し、プリンター側でのデータ圧縮は行いません。
・ データ数（n）が 11，12 の時は、type A 用のデータ形式であると判断し、プリンター側でデータ圧縮を行い、type E 用のデータ形式に変換します。

(6) Code 128 の場合

・ データの 1 文字目はスタートコードと判断するため、A，B，C 以外のキャラクターが 1 文字目にある場合は、ESC+DC4 と以降の m バイトのデータを受け捨てます。

Code 128 について

(1) Code 128 は、set A, set B, set C という 3 つのデータ群を持っています。

・ Code 128 で送るデータの先頭には、データ群を選択するためのスタートキャラクターが必要です。

データ群	スタートキャラクター
set A を選択する	“A”（41h）
set B を選択する	“B”（42h）
set C を選択する	“C”（43h）

(2) １つのバーコードデータ内でも、コードキャラクター（CODE A,B, C），シフトキャラクター（Shift）により、途中からデータ群を変更することが可能です。

コードキャラクター	データ群
CODE A	以降のデータは、set A のデータ群になる
CODE B	以降のデータは、set B のデータ群になる
CODE C	以降のデータは、set C のデータ群になる
Shift	Shift 直後のデータのみ set A（set B）に変更する

(3) set C のデータ群は、1 つのデータを 2 バイトのキャラクターで指定します。
そのため、データ中に set C を含む時と含まない時とで、有効なデータ数（n）が異なります。
また、set C の入力データが奇数の場合は、データの先頭に”0”を付加して印字します。

バーコードデータ	データ数（n）の有効範囲
Set C のデータ群を含まない時 (set A, set B のみ)	チェックキャラクター付加モード 1≦n≦59 チェックキャラクター非付加モード 1≦n≦60
Set C のデータ群を含む時	チェックキャラクター付加モード 1≦n≦117 チェックキャラクター非付加モード 1≦n≦119

■　バーコードスペース幅微調整コマンド

本コマンドにより、バーコードのスペース幅（間隔）を微調整することができます。
本コマンドは、ESC/P エミュレーションモード時のみ有効です。

◆　書式

ESC	＋	e	＋	X	＋	Pa
$\langle 1B \rangle_{16}$		$\langle 65 \rangle_{16}$ $\langle E5 \rangle_{16}$		$\langle 58 \rangle_{16}$		

◆　パラメーター範囲

a　=　$\langle 00 \rangle_{16}$，　$\langle 01 \rangle_{16}$，$\langle 02 \rangle_{16}$，$\langle 03 \rangle_{16}$，　$\langle FD \rangle_{16}$，
　　$\langle FE \rangle_{16}$，$\langle FF \rangle_{16}$
Pa　=　-3 ≦ Pa ≦ 3

◆　機能

パラメーター Pa でスペース幅の調整値を指定します。
（マイナスの指定は、負値（2 の補数）で指定します）

パラメーター Pa	調整量
-3　$\langle FD \rangle_{16}$	-3/360 インチ
-2　$\langle FE \rangle_{16}$	-2/360 インチ
-1　$\langle FF \rangle_{16}$	-1/360 インチ
0　$\langle 00 \rangle_{16}$	0（デフォルト）
1　$\langle 01 \rangle_{16}$	1/360 インチ
2　$\langle 02 \rangle_{16}$	2/360 インチ
3　$\langle 03 \rangle_{16}$	3/360 インチ

- 微調整とは、バーコードのスペース幅を上記の表に定められた値分、変化させることです。
  （マイナスは、スペース幅を狭くすることを意味します）
- スペース幅とは、ナロースペース，ワイドスペース，キャラクター間ギャップの全てのスペースのことです。
- 本コマンドによる指定は、電源投入、*EXPRM、*INPRM、*INIT、リセットコマンド受信によりデフォルトに戻ります。
- 本コマンドによる指定は、それ以降に受信するバーコード指定コマンドに対して有効となります。

文字コード一覧表

■ ESC/P モード文字コード一覧表

ESC/P モードの文字コードは以下のとおりです。

◆ カタカナコード

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	'	p	_	┴		ー	タ	ミ	ニ	×
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▁	┬	。	ア	チ	ム	ヒ	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▂	┤	「	イ	ツ	メ	ヰ	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▃	├	」	ウ	テ	モ	ヨ	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▄	─	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▅	│	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▆	┘	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	▇	┐	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	◆	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|	▋	┌	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		−	=	M	]	m	}	■	┐	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	■	└	ョ	セ	ホ	゛	／	▦
F	SI		／	?	O	_	o		┼	┘	ッ	ソ	マ	゜	＼	

注 1）$\langle 15 \rangle_{16}$ を除く、$\langle 00 \rangle_{16}$〜$\langle 7F \rangle_{16}$ はカタカナコード、拡張グラフィックスコードに共通です。

注 2）$\langle 23 \rangle_{16}$、$\langle 24 \rangle_{16}$、$\langle 40 \rangle_{16}$、$\langle 5B \rangle_{16}$〜$\langle 5E \rangle_{16}$、$\langle 60 \rangle_{16}$、$\langle 7B \rangle_{16}$〜$\langle 7E \rangle_{16}$ のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

コード 16進 / 国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ü	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅰ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	|	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅱ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

◆　拡張グラフィックスコード

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	Ç	É	ā	▒	└	╨	α	≡
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╥	ß	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	ē	Æ	ó	▒	┬	╤	Γ	≥
3		DC3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╘	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╒	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	ā	ò	Ñ	╡	┼	╓	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╔	µ	÷
7	BEL		'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╠	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╦	┘	θ	∙
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╬	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	î	£	¼	╝	╨	▄	∞	ⁿ
D	CR		−	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╪	▐	∈	■
F	SI		／	?	O	_	o		Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	SP

注 1）〈15〉$_{16}$を除く、〈00〉$_{16}$〜〈7F〉$_{16}$はカタカナコード、拡張グラフィックスコードに共通です。

注 2）〈23〉$_{16}$、〈24〉$_{16}$、〈40〉$_{16}$、〈5B〉$_{16}$〜〈5E〉$_{16}$、〈60〉$_{16}$、〈7B〉$_{16}$〜〈7E〉$_{16}$ のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

国 / コード 16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	)	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	)	~
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅰ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	)	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	)	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅱ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

■ FM モード文字コード一覧表

FM モードの文字コードは以下のとおりです。

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	ニ	×
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▬	┬	。	ア	チ	ム	┣	円
2			"	2	B	R	b	r	▬	┤	「	イ	ツ	メ	╋	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▬	├	」	ウ	テ	モ	┫	月
4			$	4	D	T	d	t	▬	━	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	■	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	■	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	■	┃	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▌	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT		)	9	I	Y	i	y	▌	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▌	└	ェ	コ	ハ	レ	◆	区
B	VT	ESC	+	;	K	〔	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	CEX	,	<	L	¥	l	|	▌	┌	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		−	=	M	〕	m	}	▌	┐	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E			.	>	N	^	n	‾	■	└	ョ	セ	ホ	゛	／	▩
F			／	?	O	_	o	DEL	＋	┘	ッ	ソ	マ	゜	＼	

非漢字一覧表

モードによって、コードが割り当てられている文字が異なるものがありますので、注意してください。

◆ ESC/P モードおよび FM モード共通文字コード一覧表

JIS コードはすべて 16 進形式

区＼点	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																															
21	1	㽙	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	ｰ	―	‖	＼	～	″	〃	仝	々	〆	○	―	―	‐	／
22	2	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	―	｜	｢	｣	｢	｣	｢	｣	｢	｣	＋	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э

区＼点	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																															
21	1	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩								∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃													∠	⊥	⌒	∂
23	3		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ				
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н

区＼点	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																														
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∫∫							Ａ	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					○
23	3		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ			
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん										
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ							
26	6																														
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я												

注 1）　区点コードは点の部分を加算して求めます。
　　％の区点コードは 0180＋03 で 0183 となります。
　　区点コードは 10 進数です。例えば、％の JIS コードは 2173 と読みます。
　　実際の使用には、“&H”をつけて、「&H2173」とします。

注 2）　コード表の空白部分を印字させますと、何らかの文字が出力される場合があります。

◆ ESC/P モード文字コード一覧表

区＄	点＄	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28	8	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂
74	80	堯	槇	遙	瑤	凜	熙																										

区＄	点＄	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28	8	╋																															

区＄	点＄	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2D	13	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ		

区＄	点＄	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	mm	cm	km	mg	kg	cc	㎡									平成

区＄	点＄	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
2D	13	〃	〃	No.	KK.	TEL	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	明	大	正	昭	和	≒	≡	∫	∮	Σ	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪

外字登録領域

点＄	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区＄	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
77 87	※																															
78 88	※																															

点＄	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区＄	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
77 87																																
78 88																																

点＄	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
区＄	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
77 87																																※
78 88																																※

注）　※部（7720,777F,7820,787F）は登録できません。

◆ FM モード文字コード一覧表

JIS-78 モード外字登録領域

点＄	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区＄	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28 8	※																															
29 9	※																															

点＄	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区＄	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28 8																																
29 9																																

点＄	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
区＄	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
28 8																																※
29 9																																※

注）　※部(2820,287F,2920,297F)は登録できません。

JIS-83 モード

追加文字

点＄	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区＄	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28 8	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂

点＄	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区＄	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28 8	┼																															

点＄	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区＄	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
74 84			堯	槇	遙	瑤	凜	熙																								

外字登録領域

区＼点	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
29 9	※																															
2A 10	※																															

区＼点	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
$	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
29 9																																
2A 10																																

区＼点	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
$	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
29 9																																※
2A 10																																※

注 1）　※部（2920,297F,2A20,2A7F）は登録できません。
注 2）　JIS^{-83} の 2A21～2A7E と JIS^{-78} の 2821～287E は同一エリアです。

半角漢字

区＼点	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2D 13		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	−	.	／	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
2E 14		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
2F 15		▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	▌	▐	▛	▜	▝	▘	▙	▟	┼	┴	┬	┤	├	━	─	│	▐	┌	┐	└	┘	◠	◡	◡

区＼点	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
$	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
2D 13	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	〔	¥	〕	^	_
2E 14	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
2F 15																																

区＼点	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
$	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
2D 13	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾
2E 14	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	／	＼	×	円	年	月	日	時	分	秒	〒	市	区	町	村	人	▩
2F 15																															

JIS-90 第一水準漢字一覧表

JIS コードはすべて 16 進形式

区＼点	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																															
21	1	亜	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	：	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	○	―	―	‐	／
22	2	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	＝													∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9																															
2A	10																															
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																															
2F	15																															
30	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鷗	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	20		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	22		供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	27		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	31		抵	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	33		誓	逝	臆	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	34		狙	疏	醸	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	36		胆	蛋	歩	断	弾	暖	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	帳	貼	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	37		沈	珍	賃	鎮	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栓	擲	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	38		点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	鍍	砥	都	度	土	奴	怒	倒	党	冬	凍	刀
47	39		唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	董	蕩	藤
48	40		討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳	涜
49	41		特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瑞	噸	吞	屯	鈍	丼	豚	頓	貪	内	奈	南	軟	難	二
4A	42		尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乗	倍	伯	悔	梅	買	媒	賠	白	箔	舶	薄	迫	曝	爆	縛	莫	飛	広	非	日	俵
4B	43		袋	彼	悲	扉	費	非	被	髭	彦	膚	百	氷	表	俵	標	苗	秒	浜	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
4C	44		府	怖	扶	敷	浮	婦	符	富	普	腐	敦	膨	分	噴	墳	憤	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	平	兵	別	辺	変	偏	遍
4D	45		飽	鳳	麻	槙	松	牧	菊	雅	巻	正	加	正	清	生	青	靖	清	静	性	睛	精	誠	製	西	声	星	晴	切	帝	歴	簡
4E	46		顔	鴨	僧	侍	慈	持	時	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱
4F	47		執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実	蔀	関	関	容	善	帆	座	捨	浪	漏	茫	狼	篭	廊	郎	六	麓	禄	肋	録	

注）　「茜」の JIS コードは 302B と読みます。実際の使用には、“&H”をつけて、「&H302B」とします。

区＼点		40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
$		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																																
21	1	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	＋																															
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	㍼	㍽	㍾	㍿	㌍	㌔	㌢	㌍	㎜	cm	km	mg	kg	cc	㎡									稜
2E	14																																
2F	15																																
30	16	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	17	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	果	架	纜	歌	河	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	笥	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	18	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	19	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	20	汗	漢	潤	瀧	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諫	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	21	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	22	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	23	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	24	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	25	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	絃	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	瞰	鋼	閤	降
3A	26	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	27	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	28	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屢	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	29	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	30	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	31	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	32	菅	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	33	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	34	太	汰	詫	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	35	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	36	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	嬬	紬	爪	吊
45	37	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	38	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	39	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	40	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	41	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鯖	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	42	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	43	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	44	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	45	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	46	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	47	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	椀	湾	碗	腕													

区＼点		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
$		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					○
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9																															
2A	10																															
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	〃	〃	№.	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍻	〽	㍾	㍿	≒	≡	∫	∮	Σ	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪	
2E	14																															
2F	15																															
30	16	亜	衣	謂	遠	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	19	楷	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駐	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	28	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	32	澄	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栓	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	34	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到
46	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	難	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	萊	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F	47																															

JIS-90 第二水準漢字一覧表

区＼点		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
$		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
50	48		弌	丐	丕	个	丈	丞	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	49		僉	儘	儔	儚	僖	僞	僥	僭	僭	僮	價	僵	儉	僞	儡	儁	儕	儔	儕	儡	儺	儷	儼	儀	兄	兀	兒	兌	兔	兢	競
52	50		辨	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勤	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	51		咫	哂	咤	唪	峇	峩	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哢	哨	哮	哨	哇	聊	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	唧	喙	喀	咯	喊
54	52		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圪	圭	圻	址	坏	坩	堗	垂	垈	垤	垉	垣	垢	垳	垵	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埇
55	53		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娉	娼	娠	婁	婢	婚	婢	婁	婚	媚	媾	嫋	嫂	媽
56	54		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屍	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岷	峀	帕	帙	崎	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵩	嵬
57	55		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廊	廰	廳	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弓	弩	弭	弼	彌	彈	彌	彎	彎	彎
58	56		徜	徙	悖	悛	悒	悧	悋	惡	悼	惠	慇	慇	慄	慈	愴	愀	愼	愾	愕	愚	愁	愉	愧	愚	愛	愽	愆	惷	愁	愍	慇	慥
59	57		戛	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	抬	擡	抉	抉	抒	抓	抖	拔	抹	抄	抄	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	58		據	擒	擅	擇	撻	擊	擂	攔	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攪	攜	攜	攘	攘	攝	攝	攝	攜	攢	攤	攀	攫	攴	攵	攷	攻
5B	59		暉	暸	曖	曖	曠	昿	曦	曼	曰	曳	曷	朏	朕	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩
5C	60		楷	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棧	楡	楢	楤	楨	楫	楔	楊	楫	楔	楷	楠	楔	楸	楓
5D	61		楳	葉	艦	櫃	欄	棹	沔	檬	檬	檬	檬	檬	檬	檬	櫻	檸	檸	檸	檸	檸	檸	檸	檸	檸	檸	檸	檸	檸	檸	檸	檸	檸
5E	62		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	浹	浙	洵	洶	洒	洌	浣	涓	淤	淩	淩	淩	淩	淩	淩	淩	淩	淩	淩	淩	淩	淩
5F	63		溱	滿	滷	澆	澤	潛	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠
60	64		熨	櫂	櫟	櫨	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	犧	犢	犧	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙
61	65		甑	甦	瓦	瓩	瓮	甕	瓶	瓶	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
62	66		癲	癶	癸	發	皂	皃	皈	皐	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皺	皺	皺	皺	皺	皺	皺	皺	皺	皺	皺	皺	皺	皺	皺	皺	皺	皺
63	67		碩	磚	磽	磴	礪	礫	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
64	68		篋	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵
65	69		紂	紜	紲	紊	絅	紘	紮	紲	紿	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
66	70		緯	罌	罍	羃	羅	罔	罕	罔	罘	罔	罠	罹	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩	罩
67	71		隋	隕	脾	脾	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膩	膠	膕	膤	膠	膕	膤	膣	膣	膕	膩	膰	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾
68	72		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莊	莖	莢	莽	莫	莫	莠	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊
69	73		尊	蒙	蓆	蓊	蘆	蔭	蔣	蔦	蓿	蒜	蓆	蓊	蔣	蔡	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣	蔣
6A	74		蝓	蝦	蝸	蝿	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐	蟐
6B	75		襦	襤	覦	覆	覩	覲	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽	覽
6C	76		譟	譬	譯	譫	讀	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓
6D	77		蹇	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠
6E	78		邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉
6F	79		鑄	錢	錚	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣	錣
70	80		陝	陟	陣	陲	陬	隍	隘	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕	隕
71	81		顰	顰	顧	風	飆	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛
72	82		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏
74	84		堯	槇	遙	瑤	凜	熙																										
75	85																																	
76	86																																	
77	87																																	
78	88																																	
79	89																																	
7A	90																																	
7B	91																																	
7C	92																																	
7D	93																																	
7E	94																																	

区＼点 $		40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
$		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
50	48	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	�	俑	俚	俐	俤
51	49	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	罔	冢	冒	冪	冫	決	冱	冬	冰	倪	曳	凋	凉	凜	几	處	凧	凭
52	50	刄	刑	划	刷	卍	準	卞	卩	卮	夘	卻	冶	夷	夥	肬	屢	厥	厮	厰	厭	厦	參	喬	嘆	嗷	嚢	叮	叨	營	嘴	嘶	嚀
53	51	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	噬	嚠	噁	噂	噈	噎	噁	噤	噬	噴	噸	噪	噤	噦	噸	噯	噓	噎	噐	營	墟	壑	壓	壑
54	52	埒	垈	垤	垪	卒	埝	埽	堝	埠	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堙	壅	壥	塢	墟	墮	壞	墻	墻	墮	壞	歷	壓	壞	壘	壙	壘
55	53	媽	婿	媼	嫦	嫩	嫖	嫺	嬾	嬌	嬋	嬖	嬲	嫗	嬪	嬶	嬾	孃	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	
56	54	寀	崛	崑	崔	崢	峻	崚	崙	嶄	嵒	嵩	嵬	嵎	嵋	嵬	嵳	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶷	巉	巖	巒	巒	巒	巒	巒	巒	巒	巛
57	55	丑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悉	悲	悋	悅
58	56	愍	愾	慤	愧	慊	愿	愼	愈	慇	慊	愽	慂	慄	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憘	憩	憬	憚
59	57	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掄	捫
5A	58	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敎	斂	斃	斐	斡	斟	斷	斯	斟	斟	斟	方	旁	旄	旌	旋	旗	旛	旙	无	无	旱	杲	昊	昃
5B	59	灸	杼	杪	枌	枋	枦	研	枡	柳	柯	枴	柩	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柚	枹	柎	柢	柱	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C	60	梳	榜	棟	棺	椪	椈	榮	槐	槿	樹	槁	槇	樛	樣	樹	橋	樞	機	櫻	櫻	櫻	櫻	榕	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴
5D	61	歃	歇	歟	歐	歡	歸	歹	殁	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殯	殯	殲	殱	殷	殷	殼	殼	殿	毋	毓	毛	毬	毫	毬
5E	62	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渟	湛	渙	湲	渾	渣	湫	渠	渺	湶	渟	湃	渺	面	渤
5F	63	瀆	漑	溟	溟	瀋	瀑	瀑	瀁	瀏	瀘	瀛	瀚	瀟	瀝	瀘	瀟	瀟	瀾	瀾	灑	灣	炙	炒	炯	炯	獸	炬	炸	炳	炮	烟	烋
60	64	烈	烽	狢	狼	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猶	猶	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61	65	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	畳	疋	疚	疝	疥	疣	痍	痔	瘀	痙	瘧	瘟	瘧	瘡	瘢	瘻	瘴	瘹	瘻	瘻	癧	癌	癈	癆
62	66	眥	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	睜	睇	睚	睿	瞑	瞞	瞑	瞑	瞑	瞑	瞑	瞑	瞑	瞑	瞑	瞑	瞑	瞑	瞼	瞼	瞼	瞼	瞼	瞼
63	67	秬	秘	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穉	穡	穢	穩	龍	穴	窈	窕	窶	窸	窮	窰	窰	窰	窰	窰	窰
64	68	篝	篩	篌	篏	篥	篠	篭	篝	篩	篥	篠	篝	篩	篥	篠	篝	篩	篥	篠	篝	篩	篥	篠	篝	篩	篥	篠	篝	篩	篥	篠	篝
65	69	綾	綟	綢	綯	綵	綸	綟	綰	緘	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝
66	70	羆	羈	翅	翠	翊	翕	翔	翡	翼	翩	翳	翹	翻	翼	翹	翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼
67	71	臉	臍	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳
68	72	萱	萸	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菁	萇	萇	菲	萍	菴	前	莽	莫	菱	萩	萩	萼	萼	蒄	葷	葫	蒭	蒭	蒂	葩	葆	萬	萬
69	73	蘋	蘋	蘭	蘆	蘿	蘚	蘰	蘿	虍	虍	虔	虢	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蛄	蛄	蛆	蛆	蛇	蛉	蠣	蛇	蛔	蛞	蛩	蛬
70	74	蟯	蠢	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠻	衂	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	袒	袙	袵	袂	袂	袗	袒	袮	袖	袢	袍	袤	裘	裋
71	75	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詠	詢	詬	詵	誅	誨	誠	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諫	諫	諧	諧
72	76	貔	貔	貌	貌	貶	貪	貽	貲	貳	貳	貶	賈	賈	賈	賓	賚	賚	賺	賺	賚	贊	贊	贈	贈	贈	贈	贈	贈	贈	贈	贈	贈
73	77	贏	贏	贏	軋	軛	典	軼	軻	軫	軾	軽	格	輕	輒	輒	輙	輙	輔	輔	輩	輳	輻	輻	輹	輹	輹	轄	轄	轄	轄	轄	轄
74	78	鄒	鄙	鄙	鄰	酊	酖	酸	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醪	醪	醪	醪	醪	釉	釋	釐	釖	釜	釣	釖	釖
75	79	鐺	鐐	鐶	鐶	鐵	鐵	鐙	鐵	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鑪	鑪	鑪	鑪	鑪	鑪	鑪	鑪	鑪	閂	閉	閉	閉	閉	閉	閘
76	80	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霧	霧	霹	靂	靈	靈	靄	靈	靈	靈	靜	靠	靤	靦	靨	靭	靭	靭	靭	鞅	鞐	鞁	鞆	鞆	鞄	鞏
77	81	鐵	鐵	饌	饑	旭	馘	馥	馭	馮	馭	駟	駛	駝	駘	駕	駭	駭	駱	駲	駱	駲	駲	駲	駲	駲	駲	駲	駲	駲	駲	駲	駲
78	82	鮴	鮴	鯊	鮹	鮪	鮮	鮮	鮪	鯣	鯉	鯉	鯔	鯏	鯉	鯔	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉
79	83	鶚	鶴	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麑	麒	麟	麗	麝	麥	麩	麦	麪	麪	麪	麪	麪	麪	麪	麪	麪	麪	麪	麪	麪	麪	麪
74	84																																
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区＼点	$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
50	48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伛	倘	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偗	偬	偷	傀	傲	傅	傴	傲
51	49	僳	冂	函	刄	刋	剃	劄	刼	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劓	劒	剱	劈	劑	辨
52	50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呪	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	51	噫	噤	哺	噬	噪	噤	噂	噀	噉	噓	噂	噴	嘶	嬰	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囑	囑	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	圈
54	52	壓	壤	壅	壯	壺	壹	壻	壺	壽	夂	夊	夐	夏	夢	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	53	它	宦	宸	寃	寇	寇	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尨	尅	將	專	對	尓	尠	尤	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屑
56	54	巫	巳	巵	帋	帝	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幣	幇	干	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	55	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恢	恪	恣	恤	恂	協	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悚	悚
58	56	悛	悒	悶	惟	擇	擽	應	懷	懈	懃	懆	憺	憘	憊	羅	懷	懦	懶	懺	懺	懿	懺	攝	攝	懾	戈	戊	戍	戍	戔	戛
59	57	摀	摠	撕	揀	揆	揣	揉	揣	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	58	旻	旻	杳	昵	昶	昂	晏	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晏	晢	晰	異	暈	暎	暉	暗	暘	暝	曖	暹	曉	暾	暼
5B	59	梳	桙	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梟	梯	械	條	梛	梟	梃	棧	桿	梺	椏	椁	椏	椁	棟	椈	棘	椢	椦	棡	椄	棍
5C	60	棍	棊	棘	椋	椎	椦	棧	棣	椔	椎	棟	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽	椽
5D	61	麼	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	沺
5E	62	泐	泑	泳	渝	溪	溘	溉	溷	涸	澤	溥	潮	潰	溲	滔	滕	溥	滂	熨	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	63	熔	焉	烽	焜	焙	煥	熙	熙	熙	熨	煌	煖	煬	熏	煙	熄	熒	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	64	玻	珀	珥	璃	珞	璃	琅	瑯	琥	琣	琺	瑕	琿	瑟	瑠	瑠	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	65	甍	畠	疾	痺	痲	痲	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	皰	瘡	瘢	皴	瘤	瘻	癇	癒	癆	癧	癩	癡	癲	癲	癲	癲	癲	癲	癲
62	66	皚	皤	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	磐	硼	碾	碣	碣	碣	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔
63	67	褒	竅	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄	竄
64	68	篇	籠	籟	粃	粃	粤	粭	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲	粲
65	69	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉	纉
66	70	聳	聲	聰	聶	聾	聽	聿	肆	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冒	肬	胛	胥	胙	胃	胚	胖	脉	胯	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛
67	71	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮	舮
68	72	蔣	蔦	蒿	蓊	蓋	蓋	蒿	蒻	蓮	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒙	蔡	蓿	蓐	蔗	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈	蕈
69	73	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜀	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻
6A	74	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃	裃
6B	75	諤	諱	諢	諠	諢	諢	諛	諢	諤	齊	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡	諡
6C	76	赭	赴	趙	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	踈	踉	跾	踝	踝	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐	踐
6D	77	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辶	逑	逡	逅	迢	迪	迯	邂	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鐵	銜	銘	銜	銖	銓	銛	鋤	銳	銷	鋪	鋐	鋐	鋺	鋼	錮
6F	79	閨	閏	閖	閨	閼	閻	閹	閼	閼	閻	閹	閼	閼	閻	閹	閼	閼	閻	閼	閼	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	80	鞏	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韃	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韻	頌	頌	頌	頤	頡	頡	頡	頡	頡	頡	頡	頡	頡	頡
71	81	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	骯	肝	髀	髏	髓	體	髑	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟
72	82	鯡	鯉	鰲	鱆	鰾	鮠	鮟	鱇	鱧	鱸	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬
73	83	鶲	鷹	鷲	鶚	鶯	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴
74	84																															
75	85																															
76	86																															
77	87																															
78	88																															
79	89																															
7A	90																															
7B	91																															
7C	92																															
7D	93																															
7E	94																															

■　ご注意

このプリンターが印字する漢字は JIS C6226-1983（情報交換用漢字符号系）に準拠していますが、JIS C6234-1983（ドットプリンター用 24 ドット字形）は採用していません。したがって、パソコンの表示画面の文字および記号なども必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。JIS C6234-1983 の字体との違いはおおむね次の表の通りです。

JIS コード（区点）	プリンター	JIS	JIS コード（区点）	プリンター	JIS	JIS コード（区点）	プリンター	JIS
3022(1602)	啞	唖	3979(2589)	甑	甑	4578(3788)	禱	祷
303B(1627)	飴	飴	3A67(2671)	榊	榊	4642(3834)	瀆	涜
306E(1678)	溢	溢	3A74(2684)	柵	柵	4654(3852)	瀞	静
3135(1721)	欝	鬱	3B2A(2710)	鯖	鯖	466A(3874)	楢	楢
3139(1725)	厩	厩	3B2C(2712)	錆	錆	4729(3909)	禰	禰
313D(1729)	噂	噂	3B39(2725)	珊	珊	4739(3925)	嚢	嚢
3142(1734)	餌	餌	3C48(2840)	屢	屢	482E(4014)	潑	溌
316B(1775)	焔	焔	3D2B(2911)	繡	繡	4830(4016)	醱	醗
322A(1810)	鷗	鴎	3D36(2922)	酋	酋	4B4B(4343)	頬	頬
327A(1890)	恢	恢	3E55(3053)	蔣	蔣	4B70(4380)	鱒	鱒
336B(1975)	葛	葛	3E5F(3063)	醬	醤	4C4D(4445)	麺	麺
337A(1990)	嚙	噛	3F2A(3110)	蝕	蝕	4C5F(4463)	餅	餅
3442(2034)	潤	潤	4066(3270)	蟬	蝉	4D32(4518)	猷	猷
3540(2132)	祇	祇	4139(3325)	噌	噌	4D69(4573)	萊	莱
3622(2202)	俠	侠	4169(3373)	痩	痩	4E7B(4691)	煉	煉
362A(2210)	卿	卿	424D(3445)	驒	騨	4F31(4717)	榔	榔
366D(2277)	軀	躯	4263(3467)	黛	黛	4F39(4725)	蠟	蝋
367B(2291)	櫛	櫛	432E(3514)	樽	樽	5622(5402)	屏	屏
3737(2323)	祁	祁	433D(3529)	簞	箪	5960(5764)	捩	捩
3771(2381)	倦	倦	444F(3647)	摑	掴	5A39(5825)	攢	攢
377E(2394)	捲	捲	4522(3702)	鄭	鄭	6546(6938)	綟	綟
3834(2420)	鹸	鹸	4536(3722)	塡	填			
396D(2577)	麹	麹	453F(3731)	顚	顛			

◆　第一水準と第二水準が入れ替わった文字

コード（区点）	新第1水準	新第2水準	コード（区点）	コード（区点）	新第1水準	新第2水準	コード（区点）
3083 (1619)	鯵	鰺	724D (8245)	4128 (3308)	賤	賤	6C4D (7645)
3229 (1809)	鴬	鶯	7274 (8284)	445B (3659)	壷	壺	5464 (5268)
3342 (1934)	蛎	蠣	695A (7358)	4557 (3755)	砺	礪	626A (6674)
3349 (1941)	撹	攪	5978 (5788)	456E (3778)	梼	檮	5B6D (5977)
3376 (1986)	竃	竈	635E (6762)	4573 (3783)	涛	濤	5E39 (6225)
3443 (2035)	潅	灌	5E75 (6285)	4676 (3886)	迩	邇	6D6E (7778)
3452 (2050)	諌	諫	6B5D (7561)	4768 (3972)	蝿	蠅	6A24 (7404)
375B (2359)	頚	頸	7074 (8084)	4930 (4116)	桧	檜	5B58 (5956)
395C (2560)	砿	礦	6268 (6672)	4B79 (4389)	侭	儘	5056 (4854)
3C49 (2841)	蕊	蘂	6922 (7302)	4C79 (4489)	藪	薮	692E (7314)
3F59 (3157)	靭	靱	7057 (8055)	4F36 (4722)	篭	籠	6446 (6838)

◆　第二水準に追加された文字

コード（区点）	追加文字	コード（区点）	追加文字
7421 (8401)	堯	7424 (8404)	瑤
7422 (8402)	槇	7425 (8405)	凜
7423 (8403)	遙	7426 (8406)	熙

索 引

E

ESC/Pモード
　制限事項 143

J

JIS-90第一水準漢字一覧表..... 179
JIS-90第二水準漢字一覧表..... 182

L

LANカード
　ご使用方法 121
　搭載方法 122
　取り外し 124

あ

アフターサービス 114

い

イジェクションカバー 8
印字位置がページによってズレる..... 105
印字位置の問題点 105
印字開始位置について 69
印字開始位置の微調整（行方向）..... 69
印字桁数..... 128
印字結果の問題点 104
印字速度..... 128
印字中の問題点 103
印字動作..... 128
印字ヘッド..... 8
印字ヘッド昇温検出 42
印字方式..... 128
印字領域
　カットシートフィーダー..... 84
　単票用紙 81
　はがき（手差しで使用する単票用紙） 85
　はがき(連続帳票用紙)..... 78
　連続帳票用紙..... 76
インターフェイス 129
インターフェイス仕様 135

う

うまく動かないとき 100

え

エラー表示と対処方法..... 108

お

オプションの概要 116
「オンライン」スイッチ..... 25
オンラインマニュアル
　—の使いかた..... xiii
「オンライン」ランプ..... 24

か

カードガイド 8
外観図..... 131
　カットシートフィーダー(オプション)
　　取付け時..... 132
　標準..... 131
「改行／書体」スイッチ..... 25
外形寸法 129
「改ページ」スイッチ..... 25
各部のはたらき 9
各部の名称 8
カットシートフィーダー..... 116
　仕様..... 120
　使用時の不具合..... 106
　使用上のご注意..... 117
　搭載方法..... 118
カットシートフィーダー（オプション）
　で使用できる用紙..... 82
稼働音 129

き

機能設定
　変えかた..... 28
　種類..... 31
機能設定を変える 28
行間ズレを直す 38

こ

交換
　リボンカセット..... 93
「高速」ランプ 24
コマンド一覧表
　ESC/Pモード..... 150
　FMモード..... 155

さ

サブカセットの交換のしかた 94

し

自動給紙印字
　用紙のセット..... 58
自動検出機能..... 42
シャッターの取り付け・取り外し..... 15
重量..... 129
仕様
　カットシートフィーダー..... 120
　プリンターの概略仕様..... 128
使用環境..... 129
使用上のお願い..... 6
消耗品の廃却について 113
「書体」ランプ..... 24

す

スイッチ..... 25

せ

清掃のしかた..... 111
製品の内容..... 5
接続
　電源コードの接続..... 16
　パソコンとの接続..... 13
設置する..... 10
設置手順..... 10
設置場所について 6

そ

操作パネル..... 8
操作パネルの機能 24

た

耐用期間..... 130
単票用紙..... 79
　用紙の構成枚数..... 79
　用紙の寸法 79
単票用紙がつまったとき 98
単票用紙吸入時の不具合 101
単票用紙のセット 55

て

テスト印字..... 109
テスト印字サンプル 133
手挿入印字
　用紙のセット..... 62
手挿入用紙
　ご使用時の注意点..... 63
電源コードの接続 16
電源コネクター 8
電源仕様..... 129
電源スイッチ 8
電源投入時の不具合 100
電源について 6
「電源」ランプ 24
電源を入れる 20
電源を切る 21

と

特長..... 4
とじ穴の開けかた 85
ドット径..... 128
ドットピッチ 128
トップカバー 8

は

はがき..... 85
　連続帳票用紙..... 78
パソコンのBIOS設定 7

ひ

非漢字一覧表 174
微小改行..... 27
微小逆改行スイッチ 27
微小正改行スイッチ 27

ふ

プラテン..... 8
プラテンノブ 8
プリンターがうまく動かないとき..... 100
プリンターケーブルコネクター..... 8
プリンタードライバーの入手方法..... 113
プレプリント用紙を使用するとき..... 86
フロントカバー 8

へ

ヘビーデューティー検出..... 42

も

「モード」ランプ 24
文字構成..... 128

文字コード一覧表
ESC/Pモード 171
FMモード 173

ゆ

輸送するとき 112
輸送用固定材の取り外し 11

よ

用紙
吸入量の調整..... 27
セット 48
カットシートフィーダー搭載時..... 58
自動給紙印字..... 58
手挿入印字..... 62
取扱い上のご注意..... 88
用紙厚調整レバー 8
用紙厚の調整..... 67
用紙送り 129
用紙送りトラクター 8
用紙ガイド..... 8
「用紙カット／高速」スイッチ..... 26
「用紙切れ」ランプ 24
用紙サイズ
はがき（手差しで使用する単票用紙） 85
はがき(連続帳票用紙)..... 78
「用紙セット」スイッチ 26
用紙づまりのとき
単票用紙 98
連続帳票用紙..... 96
用紙無し検出..... 42
用紙のとじかた
複写用紙..... 80, 83
連続帳票用紙..... 74

ら

ランプ 24

り

リアカバー 8
リアカバーの取り付け・取り外し..... 12
リアカバーフタ 8
リセットスイッチ 27
リボン 130
リボンカセットの交換..... 93
リボンカセットの種類..... 93
リボンカセットを取り付ける..... 17

れ

連続帳票用紙 72
置きかた..... 53
後退動作..... 54
セット..... 48
つまったとき..... 96
ミシン目の入れ方 75
用紙の構成枚数..... 73
用紙の寸法..... 72
用紙のとじかた..... 74
連帳・単票切替えレバー..... 8
連帳用紙吸入時の不具合..... 102

ドットインパクトプリンター
fit3150/fit3250
オンラインマニュアル

発 行 日　　2022 年 06 月 第 13 版
発行責任　　富士通アイソテック株式会社

● このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
● 無断転載を禁じます。